

令和6年度 滋賀県立陶芸の森 年報

The Shigaraki Ceramic Cultural Park
Annual Report 2024



公益財団法人 滋賀県陶芸の森

目 次

県民に親しまれる施設運営に関する事業

公園機能の充実

公園機能の充実・陶芸作品の野外設置	1
-------------------	---

陶芸作品の野外設置	2
-----------	---

地域の観光拠点としての集客促進事業

しがらき学ノススメ！	2
------------	---

イベントの開催・誘致

第 18 回 信楽作家市 in 陶芸の森の誘致	4
-------------------------	---

第 29 回 信楽セラミック・アート・マーケット in 陶芸の森の開催	6
-------------------------------------	---

2024 わくわくウォーキング in 陶芸の森の開催	6
----------------------------	---

利用者拡大に向けた情報の発信	7
----------------	---

施設の管理	8
-------	---

陶芸文化の発信事業

展覧会開催事業

「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界

ークラシックな名作とともに」展 ・・・ 9

特別企画シリーズ・やきもの×グルメⅠ「シェフ イチ推しの、Shigaraki Style」	24
---	----

特別展「躍動するアジア陶磁ー町田市立博物館所蔵の名品から」	30
-------------------------------	----

特別企画シリーズ・やきもの×グルメⅡ

「ー近江の古陶磁を味わう…湖国の料理とともにー」・・・ 39

陶芸館ギャラリー企画展

ヨーロッパの風 結城美恵子展	46
----------------	----

コレクション展 Part2

「華開く近代京都の陶芸ー富本憲吉と河井寛次郎」展	48
--------------------------	----

世界をみつめてーシンクロする信楽の感性	51
---------------------	----

夏休み企画 子どもたちの土の造形展	54
-------------------	----

森で生まれた東南アジアの美	55
---------------	----

A I R 企画展「李承熙：似是而非 Subtle difference」	57
---------------------------------------	----

甲賀市歴史民俗資料館での陶芸の森コレクション展	73
-------------------------	----

陶芸の森「陶芸館 3D デジタルアーカイブ」	80
------------------------	----

収蔵品収集・管理事業・博物館実習	82
------------------	----

陶磁ネットワーク会議の開催調査研究活動	83
収蔵品貸出実績・特別観覧実績	85

創作事業

アーティスト・イン・レジデンス事業	88
スタジオ・アーティストの受け入れ	88
ゲスト・アーティストの招へい	91
オープンスタジオ、陶芸館ギャラリー展覧会の開催	93
国内外のレジデンス機関との連携	95
国別・年度別アーティスト滞在回数	96
種別・年度別アーティスト滞在回数	97
つちっこプログラムー子どもやきもの交流事業ー	
本物と出会うー総合学習プログラム	98
世界にひとつの宝物づくり	99

産業の振興に関する事業

信楽窯業技術試験場との連携事業	101
人材育成事業	103
滋賀県立信楽高等学校への支援事業	103
若手陶器産業後継者への支援事業（デザイン活性化事業）	104

信楽産業展示館運営事業

展覧会の開催	106
企画展　ギャラリー展示	106

その他の事業

陶芸の森ミュージアムショップ6センス	107
--------------------	-----

資　料

収蔵品収集実績	108
2024（令和6）年度　収蔵作品一覧	109
施設利用実績	
陶芸の森　年度別・月別入園者数	110
陶芸館　年度別・月別観覧者数	110
陶芸館展覧会別観覧者数	111

収蔵品展・特別企画展など	
信楽産業展示館 年度別・月別観覧者数	114
信楽ホール・会議室利用件数	
沿革と記録	115
組織・名簿	118
組 織	118
公益財団法人滋賀県陶芸の森評議員名簿	119
公益財団法人滋賀県陶芸の森理事および監事名簿	120

県民に親しまれる施設運営に関する事業

令和5年4月から施行された改正博物館法において、博物館登録制度が見直され、博物館に期待されていた文化の発展に資する役割が、これまで以上により明確化され、地域の活力向上に向け関係機関と連携する博物館が求められることになりました。

陶芸の森では、今回の法改正による新たな手続きを行い、令和6年12月19日付（記号番号第19号）で、滋賀県内の美術館等では第1号となる「新登録博物館」として文化庁により登録されました。



公園機能の充実

令和5年度から、県が部局横断で新たに取組を進めている「THEシガパーク」プロジェクトを踏まえ、桜の植栽や滋賀県材を活用したベンチの設置など、太陽の広場などの公園機能の充実を図り、来園者に快適な空間の提供とサービスの向上に努めた。また県と連携して11月3日に開催された「THEシガパークフェスタ」に参加し、陶芸の森のPR発信などにも努めました。



そうした中で、令和6年度の入園者数は、「リサ・ラーソン展」が大変好評だったこともあり、目標値の35万人を上回る35万2千人余となりました。（令和5年度：382,274人）



陶芸作品の野外設置

レジデンス作家の作品を野外展示し、陶芸の森という名にふさわしい自然の中で鑑賞を楽しむことができる空間づくりの一環として、下記の寄贈作品を設置しました。

また、現在設置されている作品の洗浄作業を実施するとともに、劣化が激しいものを1点撤去しました。

R5 年度ゲスト・アーティスト

ちうあこ（カプチャあさみ&サンドロ）

ペルー／Peru

題：INGENUO（インヘヌオ）

場所：産業展示館駐車場ロータリー横



陶芸の森ボランティアの活動

来園者に対するサービス向上と陶芸文化の普及活動のため、連携授業補助、園内の案内およびPR活動、園内園芸作業など、ボランティアによる活動を推進し、利用者へのきめ細やかなサービスを提供しました。

・令和6年度登録者数 3人（令和7年3月31日現在）

延べ活動人数 5人（3回）

地域の観光拠点としての集客促進事業

陶芸の森は滋賀県南部地域の観光拠点として、地域資源を活かしながら新規来園者やリピーターをつくることを目的とし、やきものファンに信楽をより知ってもらうために、陶芸体験講座として「しがらき学ノススメ」や一般参加型のイベントを甲賀市やびわこビジターズビューロー、観光協会等と連携し、陶芸の森の魅力発信をおこない、誘客促進に努めました。

しがらき学ノススメ！

陶芸初心者から経験者まで、多くの方々に陶芸の魅力を体感していただくことを目的にした事業です。地元信楽の陶芸家を講師に迎え、薪窯の魅力に触れる「穴窯・登り窯講座」や個別技法を専門的に学ぶ「技法別講座」を開講。講師の行き届いた指導とニーズに即した幅広いメニューで参加者の作陶をサポートしました。

① 技法別講座

やきものについて広く学ぶことができるよう手びねりによる器づくりや、ミニ窯づくりなど、初心者向

けの講座から、一步踏み込んだ高度な技術を伴う講座まで開催しました。

開催日	テーマ	講 師	参加者数
5月26日(日)	ラク焼の茶碗をつくる	奥田 英山	15人
6月2日(日)	練り込みのうつわをつくる	村田 彩	17人
6月23日(日)	食卓を彩るうつわをつくる	細川 政巳	13人
6月30日(日)	生活を彩るうつわをつくる	高橋 燎	13人
2月16日(日)	ミニ窯をつくる	越沼 信介	14人
2月23日(日)	ラク焼の茶碗をつくる	神崎 秀策	13人

② 穴窯講座

中世古窯信楽の伝統技術・穴窯焼成を学ぶ講座。参加者の習熟度に合わせて、初級・中級・上級・焼成の4クラスに分けて実施しました。

初級講座：2kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

中級講座：5kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

上級講座：10kgの粘土で大壺を制作

焼成講座：30kgの粘土で自由制作、窯詰から焼成、窯出しまでを体験

開催日	講座種別	テーマ	講 師	参加者数
9月29日(日)	中級	信楽焼の花器をつくる	飯山 園子	9人
10月19日(土) 20日(日)	上級	信楽大壺をつくる	篠原 希	15人
11月3日(日)	初級	信楽焼のうつわをつくる	五代 高橋楽斎	7人
11月10日(日)	初級	信楽焼の干支をつくる	八幡 満	11人
11月17日(日)	中級	信楽壺、蹲をつくる	藤本 秀	8人

穴窯焼成講座 参加者15人

焼成日：令和7年3月20日(木)～3月23日(日)

③ 登り窯講座

近世から近代における信楽焼の伝統技術のひとつ、登り窯焼成を学ぶ講座。火袋で作品を焼成しました。習熟度に合わせて、初級、中級、上級の3クラスに分けて実施しました。

初級講座：2kgの粘土を使用、自由制作

中級講座：5kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

上級講座：10kgの粘土で大壺を制作

開催日	講座種別	テーマ	講 師	参加者数
8月25日(日)	初級	登り窯で釉薬ものを焼こう	迫 能弘	12人
9月8日(日)	初級	信楽焼のうつわをつくる	大西 左朗	6人
9月14日(土) 15日(日)	上級	信楽大壺をつくる	神崎 継春	8人

開催日	講座種別	テーマ	講 師	参加者数
9月22日（日）	中級	信楽水指、茶碗をつくる	六代 上田直方	4人
一の間焼成講座 参加者8人				
焼成日：10月30日（水）～11月2日（土）				



イベントの開催・誘致

やきものをテーマにした展示即売会を開催・誘致し、県内各地で活躍する陶芸家の個性豊かな陶芸作品を広く県内外の人々に紹介するとともに、来園者と陶芸作家・窯元の交流や消費を結びつける機会を創出することにより、作家活動を支援しました。

第18回 信楽作家市 in 陶芸の森の誘致

■内容 5月の連休に実行委員会形式で開催。

陶芸関係者に陶芸作品販売の機会を、また来園者には「市」のにぎわいと雰囲気を提供することができ、好評を得ました。

■日時 5月2日（木）～5日（日・祝）＜4日間＞ 9時 ～ 17時

■主催 信楽作家市実行委員会

■出展者 陶芸家出展者 148件 飲食 21件

■来園者数 46,995 人（令和 5 年度：45,296 人）



パスカルズコンサート野外ミニマルシェの誘致

■内容 パスカルズのコンサートに合わせて、ミニマルシェを開催。カレー、コーヒーなどの飲食、手づくりのアクセサリなどを販売する場を提供しました。

■日時 5月25日(土) 10時～13時

■主催 信楽自然育児サークルなちゅらる・まま

野外音楽イベント「SIVEL WARS」の誘致

■内容 お盆に信楽に帰省した若者、家族や子どもからお年寄りまで楽しめるイベントをめざして、おこなわれました。紫香楽太鼓の演奏や、キッズダンスなどのパフォーマンスのほか、軽食、ドリンクの販売や、手作り雑貨、陶器などを販売する場所を提供しました。

■日時 8月11日(日) 9時～17時00分

■出展者 ステージイベント5件 物販ブース7件 飲食ブース13件

■来園者数 2,565 人



第29回 信楽セラミック・アート・マーケット in 陶芸の森の開催

- 内容 「作品に触れ作家に触れる」をテーマに滋賀県内の陶芸を中心とする工芸家が自ら制作した作品を販売する場を提供しました。
- 日時 10月4日（金）～6日（日）（3日間） 9時～17時00分（最終日は16時30分）
- 主催 陶芸の森
- 出展者 物販ブース131ブース 101件 飲食ブース11件
- 来園者数 16,072人 （令和5年度：19,541人）



コズミック・マウンテン・マーケットの誘致

- 内容 high vibes low impact(気分は高く、環境負荷は低く)をコンセプトに、自然のなかで楽しく、心も体も喜ぶecoマーケットを開催。オーガニックの野菜、手づくりのアクセサリ、洋服、陶器などを販売する場を提供しました。
- 日時 4月20日(土)、5月18日(土)、6月15日(土)、10月19日(土)、11月16日(土)、3月15日(土)
10時～15時
- 主催 コズミック・マウンテン・マーケット実行委員会

2024 わくわくウォーキング in 陶芸の森の開催

- 内 容 陶芸の森園内における散策路を利用した約4kmのウォーキングコースを設定し、多数の方々にご参加いただき、陶芸の森の豊かな自然を満喫していただきました。
- 日 時 12月1日(日) 9時～12時
- 主 催 公益財団法人滋賀県陶芸の森
- 協 力 ぽぽんた倶楽部（総合型地域スポーツクラブ）・甲賀市スポーツ推進員
- 参加者 60人



利用者拡大に向けた情報の発信

新聞広告等の有料媒体を始め、ウェブを中心とした無料媒体への情報提供や、パブリシティ、ホームページの充実を通じて積極的な情報発信を行いました。

○主な掲載・放送実績

- ・TV・ラジオ 12件 「滋賀プラスワン《岡本太郎展》」(BBC、アイコム甲賀、YouTube) 他
- ・新聞 22件 「京都新聞」「毎日新聞」「読売新聞」「中日新聞」 他
- ・雑誌 26件 「美術の窓」「関西ウォーカー 秋・2024冬」「ぴあMook」 他
- ・Webサイト 15件 「るるぶKids」「陶芸ネット」「スカルプターズ・ラボ」「週刊じゃらん」「JR西日本こどもおでかけ応援ポータルミライ」 他

○バーチャルミュージアムの充実

所蔵品や展示作品を3D・高精彩VR映像で紹介する専用サイト「陶芸館3Dデジタルアーカイブ」に、今年度開催した「躍動するアジア陶磁」展の出品作品の中で代表作品3点を、公開しました。また同時に、その映像を展示室内でも実物とともにQRコードで読み取って見られるように掲示。展示室では見られない作品の裏面などを360° 自由な角度から見られることで作品への理解を深めました。

信楽産業展示館多目的ホールの活用

県民の陶芸に対する理解と親しみを深めてもらい、陶芸に関する交流の場とするため、講演会や講座の開催など、各種事業を通じて多目的ホールの活用を図りました。

施設の管理

地域の産業振興や文化・観光の拠点として、また、来園者にとってくつろぎの場となるよう、公園内の適時樹木剪定や草刈り、落葉清掃、びわ湖材活用ベンチの新規設置など、適切な施設の維持管理に努めました。

花咲く公園整備

公益財団法人滋賀県緑化推進協会様を通じて、「ゴルフ緑化協力金事業」により、けやき 1 本（創作研修館中庭）とサクラ 6 本（園内歩道：第 3 駐車場付近）に植樹していただきました。

レジデンス研修生や来園者の方々に安らぎを与える景観づくりに努めました。

施設の維持修繕

県の長期保全計画に基づく建物や設備の保全工事を県および事業者と調整して実施するとともに、園内および各建物にかかる所用の修繕を行い、長期的な機能確保に努めました。



陶芸の森やきものの振興基金

陶芸の森がより一層充実した事業展開が図れるよう、「陶芸の森やきものの振興基金」への寄付について、各種事業実施時やホームページなどを通じて周知した。併せて、招待券の配布や内覧会への招待など、税控除制度以外の独自の特典を設けた「陶芸の森サポーター制度」を広くアピールし、企業、団体、個人からの幅広い支援に繋げました。

陶芸文化の発信事業

展覧会開催事業

Lisa Larson : Seen and Unseen

「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界ークラシックな名作とともに」展

■趣 旨

北欧スウェーデンで、温かみのある動物や人物をモチーフとした作品デザインで世界中の人々を魅了する陶芸家リサ・ラーソン。今年で 93 歳を迎えた現在も、自分のペースで楽しみながら一点物の作品（ユニークピース）を制作し続けていましたが、会期中の 3 月 11 日に逝去されました。

この展覧会は、「Seen and Unseen」をテーマに、お馴染みの名作と、スウェーデンの旧市街の家屋をモデルにした作品や未知なる動物たちガラスなど、これまで紹介されることのなかったリサ・ラーソンの作品で構成されました。そして、生涯にわたり影響しあったモダニズムの画家で夫のグンナル・ラーソンの作品を加え、リサ・ラーソンの知られざる創造の世界を紹介しました。

リサ・ラーソン～1931 年スウェーデン・スモーランド地方生まれ。スウェーデン・グスタフスベリ磁器工房で陶磁器デザイナーとして数多くの名作シリーズを生み出す。1980 年に独立。2022 年には芸術文化に貢献したことが評価され、スウェーデン政府より、イリス・クオルム金賞を受賞しています。

■展示構成 作品：250 点

1 リサ・ラーソンの名作たち／2 筆描きの妙／3 スウェーデンの家屋／4 丸形からのインスピレーション／5 マスメディアの中のリサ・ラーソン／6 初期の作品（学生時代のリサ・ラーソン）／7 レア&ユニーク／8 新しい素材への挑戦／9 リサとグンナルー芸術家同士の語らい

＊この展覧会は、リサ・ラーソンの全面的な協力のもと、長男マティアス・ラーソンとリアン・デザイン・ミュージアムの館長ルーヴェ・イオンソンが企画し作品選定。

■会 期 2024 年 4 月 2 日（火）～5 月 26 日（日）49 日間（令和 6 年度から継続）

※休館日 毎週月曜日

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■特別協力 リサ・ラーソン・デザイン A B、リアン・デザイン・ミュージアム

■後 援 スウェーデン大使館、滋賀県教育委員会、甲賀市、京都新聞

■協 力 フィンエアー、フィンエアーカーゴ、京セラ株式会社

■企 画 アートインプレッション、松屋

■企画協力 トンカチ

■観覧料 一 般 900 円（720 円）、大高生 680 円（540 円）

（ ）内は 20 名以上の団体、中学生以下無料

■入場者数 20,032 人（417 人/日） 48 日間 2024 年 4～5 月
28,007 人（378 人/日） 2024 年 3～5 月

■展覧会図録『リサ・ラーソン 知られざる創造の世界ークラシックな名作とともに』
〔サイズ／販売価格〕 A4 版変形（横開き） 148 頁／2,640 円
〔内容〕 ごあいさつ／「展覧会によせて」（リサ・ラーソン）／「メッセージ」（駐日
スウェーデン大使）／目次／文章／「考古学の発掘調査に匹敵するもの」（マティアス
・ラーソン）／「ある意味で必要だと、そう私が考えることを続けています。」（インタ
ビュー：リサ・ラーソン） カラー図版／リサ・ラーソン年譜
〔販売実績〕 4 月 2 日（火）～5 月 26 日（日） 48 日間・988 冊販売

■同時開催 陶芸館ギャラリー企画 コレクション展 Part1

ヨーロッパの風 結城美栄子展

〔日 時〕 2024 年 4 月 6 日（土）～21 日（日）

〔入場者数〕 7,328 人

陶芸館ギャラリー企画 コレクション展 Part 2

「花開く近代京都の陶芸－富本憲吉と河井寛次郎」展

〔日 時〕 2024 年 4 月 27 日（土）～5 月 26 日（日）

〔入場者数〕 19,699 人

■関連企画

(1) リサ・ラーソン展のラッピング列車が信楽の緑の中を走ります。

信楽高原鐵道／貴生川駅（JR 貴生川駅）～信楽駅

〔運行期間〕 2024 年 1 月 9 日（火）～5 月 26 日（日）

*列車時刻など詳しくは信楽高原鐵道（TEL:0748-82-3391）

・レール&ミュージアム／かわいくてお得な期間限定共通チケット

〔価格〕 1,580 円（税込）

(2) ギャラリートーク 申込不要・要入場券

〔日 時〕 2024 年 4 月 7 日（日）16:00～

〔参加者〕 14 人

〔日 時〕 2024 年 4 月 28 日（日）16:00～

〔参加者〕 14 名

〔日 時〕 2024 年 5 月 12 日（日）16:00～

〔参加者〕 16 名

(3) ミュージアムショップ／リサ・ラーソングッズが大集合

スウェーデンから届いた陶器や雑貨、展覧会限定グッズを販売。

(5) ここでも見られる！陶芸の森コレクション展～北欧の現代陶芸－うつわの造形美展

陶芸の森の創作研修館で制作されたフィンランド、スウェーデン、デンマー
クなど現代作家らの作品を展示しました。

〔会 期〕 2024 年 3 月 16 日（土）～5 月 22 日（水）

〔会 場〕 甲賀市水口歴史民俗資料館

〔入場者数〕 728 人

■団体案内

- 4月16日（火）信楽窯業試験場試験場産地向け研修会〈コトづくりセミナー〉
- 4月19日（金）京都新聞ツアー
- 4月25日（木）神姫バスツアー
- 5月1日（水）神姫バスツアー

■掲載記事・紹介番組等

(1) テレビ・ラジオ

- 5月中旬 美術手帖 Web「リサ・ラーソンの陶芸の魅力とは何か？」
- 5月中旬 BBC Web「Good Sign」リサ・ラーソン展
- 4月16日（火）・17日（水）陶芸の森桜映像
- 4月17日（水）・18日（木）あいコムこうか「ヨーロッパの風結城美栄子」展

(2) 新聞関係

- 4月28日（日） 滋賀民報「湖国のミュージアム 5月の企画展」

(3) 専門誌・雑誌など

- 4月～5月号 『甲賀フリモ』『イベントニュース』、『ギャラリー』
- 4月1日（月） 『陶業時報』『リサ・ラーソンの知られざる創造の世界』
- 4月28日（日） 『滋賀民報』『リサ・ラーソン』展
- 5月1日（水） 『陶説「リサ・ラーソンと信楽の関わり」』5月号他

(4) インターネット抜粋

OVO「特別展リサ・ラーソン展」/Web 集英社 LEE おでかけ部/関西ニュース「今月 92 歳で逝去…」/Mixi オリコンニュース「陶芸家リサ・ラーソンさん死去 92 歳 赤白の猫『マイキー』など日本でも人気」/楽天ブログ/信楽高原鐵道「リサ・ラーソン展開催に向けた、ラッピング列車運行のお知らせ」陶芸館展覧会（陶芸の森）/陶芸の森インスタグラム/陶芸の森ツイッター/陶芸の森フェイスブック/協同組合インフォメーションテクノロジー関西/共同通信社配信記事「美術話題・関西」/びわモニ/びわ湖放送 Web「Good Sign」リサ・ラーソン/Web 美術手帖「リサ・ラーソンの陶芸の魅力とは何か」他





(5) その他

2月29日（木）知事定例会見にて「リサ展開幕」発表

3月1日（金）報道機関向け事前説明会 13:30～15:00

参加報道機関 3社3人（あいコムこうか他）

3月4日（月）びわモニ YouTube 番組（出演）PR

■作品リスト （別紙）

■アンケート集計（別紙）

<リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界ークラシックな名作とともに>出品作品リスト

会場：滋賀県立陶芸の森陶芸館 会期：2024. 3. 2(土)～5. 26(日)

◆ Seen(1章～5章)

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
1章 リサ・ラーソンの名作たち Classics										
1	ヒルディング・オールソン	グスタフスベリ磁器工房で《日本女性》の原型作品を制作するリサ・ラーソン	写真	172	147			1957年		リサ・ラーソン蔵
2	リサ・ラーソン	ライオン（マキシ）/アフリカシリーズ	泥漿焼込、炆器	372	350	390		本モデルは1968年から製造。本作品は1968-1980年頃に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
3	リサ・ラーソン	ライオン（ミディアム）/アフリカシリーズ	泥漿焼込、炆器	140	120	150		本モデルは1965年から製造。本作品は1965-1980年頃に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
4	リサ・ラーソン	シロクマ/大きな動物園シリーズ	泥漿焼込、炆器	158	235	90		製造1958-1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
5	リサ・ラーソン	カバ/見世物小屋シリーズ	泥漿焼込、炆器	63	90	55		製造1966-1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
6	リサ・ラーソン	カバ/大きな動物園シリーズ	泥漿焼込、炆器	105	170	70		製造1966-1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
7	リサ・ラーソン	トラ/アフリカシリーズ	泥漿焼込、炆器	88	275	80		製造1965-1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
8	リサ・ラーソン	トラ	泥漿焼込、炆器	57	210	45		2000年代	セラミックスステューディオ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
9	リサ・ラーソン	トラのグレタ	泥漿焼込、炆器	85	150	50		製造2022年以降	セラミックスステューディオ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
10	リサ・ラーソン	ネコ/小さな動物園シリーズ	泥漿焼込、炆器	53	90	65		製造1956-1978年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
11	リサ・ラーソン	ネコ/小さな動物園シリーズ	泥漿焼込、炆器	120	70	50		製造1956-1978年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
12	リサ・ラーソン	立っているネコ/小さな動物園シリーズ	泥漿焼込、炆器	95	115	40		製造1956-1978年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
13	リサ・ラーソン	小さなネコ	泥漿焼込、炆器	100	65	60		製造1965年	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
14	リサ・ラーソン	ネコのマイ	泥漿焼込、炆器	100	175	95		製造2017年以降	セラミックスステューディオ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
15	リサ・ラーソン	ネコのモーセ	泥漿焼込、炆器	150	315	170		デザイン1985年頃	セラミックスステューディオ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
16	リサ・ラーソン	ネコのムレ	泥漿焼込、炆器	365	250	170		本モデルは1975年から製造。本作品は1990年代または1990年代以降に製造	セラミックスステューディオ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
17	リサ・ラーソン	ネコのマイキーの立体版原型作品（ユニークピース）	手びねり、炆器	43	113	25		2000年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
18	リサ・ラーソン	ネコ/大きな動物園シリーズ 現在の愛称：マックス	泥漿焼込、炆器	115	315	90		製造1958-1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
19	リサ・ラーソン	ネコのトラップ/トリップ・トラップ・トゥルルシリーズ	泥漿焼込、炆器	160	87	80		製造1972-1974年 (デザイン1968年)	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
20	リサ・ラーソン	ネコ（マキシ）/大きな動物園シリーズ 現在の愛称：ミア	泥漿焼込、炆器	350	240	220		本モデルは1966年から製造。本作品は1966-1980年頃に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
21	リサ・ラーソン	ブルドッグ/大きな動物園シリーズ	泥漿焼込、炆器	130	132	135		製造1960-1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
22	リサ・ラーソン	ブルドッグ/ケンネルシリーズ	泥漿焼込、炆器	140	130	170		製造1972-1987年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
23	リサ・ラーソン	ダックスフンド/小さな動物園シリーズ	泥漿焼込、炆器	45	145	35		製造1956-1978年	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
24	リサ・ラーソン	雄鶏/レグホーンシリーズ	泥漿焼込、炆器	380	280	160		本モデルは1968年から製造。本作品は1984年に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
25	リサ・ラーソン	雌鳥/レグホーンシリーズ	泥漿鑄込、炆器	295	265	140		製造1968年以降	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
26	リサ・ラーソン	ひとこぶラクダたち	泥漿鑄込、炆器	355	425	170		本モデルは1979年から製造。本作品は1980年に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
27	リサ・ラーソン	クマ/スカンセン北欧動物園シリーズ	泥漿鑄込、炆器	100	160	85		製造1977年以降	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
28	リサ・ラーソン	キツネ/スカンセン北欧動物園シリーズ	泥漿鑄込、炆器	80	155	135		製造1977年以降	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
29	リサ・ラーソン	ハリネズミ/危機に瀕した動物たちシリーズ	泥漿鑄込、炆器	103	160	120		製造1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
30	リサ・ラーソン	ハイイロアザラシ/危機に瀕した動物たちシリーズ	泥漿鑄込、炆器	114	185	108		製造1977年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
31	リサ・ラーソン	ヘラジカ/大きな動物園シリーズ	泥漿鑄込、炆器	256	73	220		製造1958-1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
32	リサ・ラーソン	はじめの一步 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	130	120	130		1959年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
33	リサ・ラーソン	ベアータ/ABC少女シリーズ	泥漿鑄込、炆器	98	94	195		本モデルは1958-1973年に製造。本作品は1962年に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
34	リサ・ラーソン	アマーリア/ABC少女シリーズ	泥漿鑄込、炆器	180	102	130		製造1958-1973年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
35	リサ・ラーソン	ドーラ/ABC少女シリーズ	泥漿鑄込、炆器	280	130	88		製造1958-1973年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
36	リサ・ラーソン	エンマ/ABC少女シリーズ	泥漿鑄込、クロモブリント、炆器	170	110	120		本モデルは1958-1973年に製造。本作品は1971年に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
37	リサ・ラーソン	シャルロッタ/ABC少女シリーズ	泥漿鑄込、炆器	165	100	105		製造1958-1973年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
38	リサ・ラーソン	日本女性	泥漿鑄込、炆器	270	120	130		製造1958-1973年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
39	リサ・ラーソン	マリン/ラーソン家の子どもたちシリーズ	泥漿鑄込、炆器	178	120	70		製造1962-1980年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
40	リサ・ラーソン	イブ/アダムとイブシリーズ	泥漿鑄込、炆器	250	80	80		製造1972-1980年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
41	リサ・ラーソン	アダム/アダムとイブシリーズ	泥漿鑄込、炆器	250	80	80		製造1972-1980年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
42	リサ・ラーソン	ローサ	泥漿鑄込、クロモブリント、炆器	103	115	140		製造1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
43	リサ・ラーソン	バックカス	泥漿鑄込、クロモブリント、炆器	167	180	160		製造1972年頃	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
44	リサ・ラーソン	社会討論 (大)	泥漿鑄込、クロモブリント、炆器	390	265	130		製造1969-1971年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
2章 筆描きの妙 Brushwork										
45	ヒルディング・オールソン	グスタフスベリ磁器工房で鉢に絵付けをするリサ・ラーソン	写真	225	174			1960年代初頭 (写真は1962年の雑誌に掲載)		リサ・ラーソン蔵
46	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	375			155	1968年頃	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
47	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	305	145	155		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
48	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	277			161	1968年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
49	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	133			95	1968年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
50	リサ・ラーソン	円筒型の花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	200			105	1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
51	リサ・ラーソン	円筒型の花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炔器	105			115	1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
52	リサ・ラーソン	ベアのブードル	泥漿鑄込、炔器	175	105	90		製造1964-1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
53	リサ・ラーソン	ベアのブードル	泥漿鑄込、炔器	175	105	90		製造1964-1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
54	リサ・ラーソン	グスタフスベリ社150周年記念の鉢	泥漿鑄込、炔器	65			117	製造1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
55	リサ・ラーソン	グスタフスベリ社150周年記念の鉢	泥漿鑄込、炔器	65			117	製造1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
56	リサ・ラーソン	グスタフスベリ社150周年記念の鉢	泥漿鑄込、炔器	65			117	製造1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
57	リサ・ラーソン	グスタフスベリ社150周年記念の鉢	泥漿鑄込、炔器	65			117	製造1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
58	リサ・ラーソン	カメ	泥漿鑄込、炔器	43	103	85		製造1963-1976年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
59	リサ・ラーソン	ミラーフレーム/マチルダシリーズ	泥漿鑄込、炔器、鏡	30			275	1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
60	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、炔器	60			205	1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
61	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、金彩、炔器	51			190	1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
62	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、金彩、炔器	85			265	1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
63	リサ・ラーソン	蓋付深鉢	泥漿鑄込、炔器	187	330	250		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
64	リサ・ラーソン	ボトル型の花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炔器	215	150	150		1964年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
65	リサ・ラーソン	ボトル型の花器/カロリンシリーズ	泥漿鑄込、炔器	143	104	104		製造1964-1971年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
66	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炔器	285	180	180		1968年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
67	リサ・ラーソン	皿/カロリンシリーズ	炔器	22			195	製造1964-1971年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
68	リサ・ラーソン	皿/カロリンシリーズ	炔器	22			195	製造1964-1971年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
69	リサ・ラーソン	文様のためのスケッチ	墨、紙	307	253			1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
70	リサ・ラーソン	文様のためのスケッチ	インク、紙	347	453			1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
3章 スウェーデンの家屋 Houses										
71	リサ・ラーソン	旧市街	泥漿鑄込、炔器	280	280	25		製造1963-1978年	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
72	リサ・ラーソン	ストックホルム旧市街のスケッチ	インク、紙	210	300			1960年代初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
73	リサ・ラーソン	茶色の家屋	泥漿鑄込、炔器	154	150	60		製造1987年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
74	リサ・ラーソン	黒と白の家屋	泥漿鑄込、炔器	150	95	65		製造1985年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
75	リサ・ラーソン	薄茶色の家屋	泥漿鑄込、炔器	180	72	50		製造1980年代-1990年代 初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
76	リサ・ラーソン	青の家屋	泥漿鑄込、炔器	161	110	75		製造1980年代後期または 1990年代初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
77	リサ・ラーソン	白の家屋	泥漿鑄込、炆器	246	180	80		製造1980年代後期または1990年代初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
77 bis	リサ・ラーソン	白の館	泥漿鑄込、炆器	246	192	80		製造1980年代後期または1990年代初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
78	リサ・ラーソン	木骨造りの家屋	泥漿鑄込、炆器	150	97	55		製造1986年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
79	リサ・ラーソン	灰色の家屋	泥漿鑄込、炆器	200	70	57		製造1984年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
4章 丸形からのインスピレーション Roundels										
80	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	114	114	40		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
81	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	104	104	37		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
82	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	104	104	37		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
83	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	117	120	55		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
84	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	105	105	50		1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
85	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	104	103	43		1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
86	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	107	107	40		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
87	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	115	110	39		1980年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
88	リサ・ラーソン	レリーフ(トリのモチーフ)/丸形シリーズ	泥漿鑄込、炆器	125	125	40		製造1969-1972年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
89	リサ・ラーソン	レリーフ(チョウのモチーフ)/丸形シリーズ	泥漿鑄込、炆器	125	125	40		製造1969-1972年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
90	リサ・ラーソン	大皿 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器			54	374	1993年	セラミックスステューディオ ン・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
91	リサ・ラーソン	大皿 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器			54	380	1993年	セラミックスステューディオ ン・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
92	リサ・ラーソン	大皿 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器			54	380	1993年	セラミックスステューディオ ン・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
93	リサ・ラーソン	大皿 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器			55	375	1993年	セラミックスステューディオ ン・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
94	リサ・ラーソン	ボードゲーム「ターン・ザ・ウィンド」 (ユニークピース)	炆器、木	35	325	325		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
95	リサ・ラーソン	黄色い紙に貼られたスケッチ	墨、紙	285	268			1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
96	リサ・ラーソン	緑色の紙に貼られたスケッチ	墨、紙	280	393			1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
97	リサ・ラーソン	緑色の紙に貼られたスケッチ	墨、紙	280	388			1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
5章 マスメディアの中のリサ・ラーソン Lisa Larson in the Public Eye										
98	撮影： マリアンヌ・リンドストローム	『フォルケット・イ・ビルド』誌 1960年13号		300	450 (見開き)			1960年		リサ・ラーソン蔵
99	撮影： ウーヴェ・ヴァーリオン	『ヒュースモーダン』誌 1961年28号		300	430 (見開き)			1961年		リサ・ラーソン蔵
100		裏表紙にグスタフスベリ社の広告が掲載された『フォルム』誌 1961年9号		274	210			1961年		個人蔵
101		裏表紙にグスタフスベリ社の広告が掲載された『フォルム』誌 1962年7号		274	210			1962年		個人蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
102		1962年にストックホルムで開催されたリサ・ラーソンの最初の個展批評が掲載された『フォルム』誌1962年8号		274	420 (見開き)			1962年		個人蔵
103	撮影者不詳	リサ・ラーソンとレディ・バード・ジョンソン(後の米国大統領リンドン・B. ジョンソン副大統領夫人)	写真	180	240			1963年9月5日		リサ・ラーソン蔵
104	撮影： ベングト・H. マルム クヴィスト	雑誌		290	425			1965年		リサ・ラーソン蔵
105		裏表紙にグスタフスベリ社の広告が掲載された『フォルム』誌1967年7号		274	210			1967年		個人蔵
106	撮影： ハインス・フォン・ステルネック	『フェーミナ』誌 1970年3号		290	215			1970年		リサ・ラーソン蔵
107	撮影： パール・ヴィークルンド	『ヴェツコシヨナーレン』誌(週刊誌)		295	210			1971年		リサ・ラーソン蔵
108	撮影者不詳	リサ・ラーソンとスウェーデン皇太子、後の国王カール16世グスタフ	写真	142	200			1970年代		リサ・ラーソン蔵
109	撮影者不詳	グスタフスベリ社のポスター		420	297			1970年代		リサ・ラーソン蔵
110	撮影者不詳	リサ・ラーソンの「世界の子どもたち」シリーズを宣伝するグスタフスベリ社の広告	写真	500	500			1970年代		リサ・ラーソン蔵
111	撮影： ナディア・エークマン	『ヴィー』誌 1995年21号	雑誌	280	466 (見開き)			1995年		リサ・ラーソン蔵

◆ Unseen(6章～9章)

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
6章 初期の作品(学生時代のリサ・ラーソン) Early Works										
112	リサ・ラーソン	文様のあるレリーフ状のミラーフレーム (ユニークピース)	陶器、鏡	540	435	40		1953年	ヨーテボリのデザイン工芸学校、スロイドフォレーニング校(現HDKヨーテボリデザイン工芸大学)	リサ・ラーソン蔵
113		ヨーテボリのデザイン工芸学校の年鑑		230	355 (見開き)			1953年		リサ・ラーソン蔵
114		ヨーテボリのデザイン工芸学校の年鑑		225	180			1952年		リサ・ラーソン蔵
115	トューレ・アルム	ヨーテボリのデザイン工芸学校の年鑑		230	177			1952年		リサ・ラーソン蔵
116	リサ・ラーソン	初期の人物像 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、陶器	182	79	79		1952年	ヨーテボリのデザイン工芸学校、スロイドフォレーニング校(現HDKヨーテボリデザイン工芸大学)	リサ・ラーソン蔵
117	リサ・ラーソン	立つ女性 (ユニークピース)	手びねり、陶器	193	85	80		1950年代初頭	ヨーテボリのデザイン工芸学校、スロイドフォレーニング校(現HDKヨーテボリデザイン工芸大学)	個人蔵
118	リサ・ラーソン	男性とロバ (ユニークピース)	手びねり、陶器	150	145	50		1954年	ヨーテボリのデザイン工芸学校、スロイドフォレーニング校(現HDKヨーテボリデザイン工芸大学)	リサ・ラーソン蔵
119	リサ・ラーソン	トリのレリーフ (ユニークピース)	陶器	136	266	11		1950年代初頭	ヨーテボリのデザイン工芸学校、スロイドフォレーニング校(現HDKヨーテボリデザイン工芸大学)	リサ・ラーソン蔵
120	リサ・ラーソン	ボートに乗る漁師 (ユニークピース)	手びねり、炆器	104	107	67		1955年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
121	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	57			200	1958年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
7章-1 レア&ユニーク：希少なユニークピースの数々 Rare and Unique: Miscellaneous										
122	リサ・ラーソン	枝付燭台 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、炆器	178	190	105		1966年	カリフォルニア大学パークレー校、アメリカ合衆国	リサ・ラーソン蔵
123	リサ・ラーソン	ウマに乗るカップルの枝付燭台 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、炆器	232	240	75		1972年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
124	リサ・ラーソン	燭台 (ユニークピース)	ろくろ成形、金彩、炆器	155	80	80		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
125	リサ・ラーソン	燭台 (ユニークピース)	ろくろ成形、金彩、炆器	209	119	119		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
126	リサ・ラーソン	枝付燭台 (ユニークピース)	ろくろ成形、釉薬、炝器	218	180	110		1965年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
127	リサ・ラーソン	枝付燭台 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炝器	480	300	300		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
128	リサ・ラーソン	青いトリ (ユニークピース)	エナメル、金属	356	480			1955年	グスタフスベリ磁器工房 ホーロー部門	個人蔵
129	リサ・ラーソン	ダブルウォールの正方形の鉢 (ユニークピース)	炝器	105	144	146		1984年	マグレヘムのリサ・ラーソン サマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
130	リサ・ラーソン	ダブルウォールの鉢 (ユニークピース)	炝器	94			155	1984年	マグレヘムのリサ・ラーソン サマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
131	リサ・ラーソン	ダブルウォールの四角形の台座付鉢 (ユニークピース)	炝器	163	132	132		1985年	マグレヘムのリサ・ラーソン サマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
132	リサ・ラーソン	三角の台座付花器 (ユニークピース)	炝器	162	130	130		1989年	マグレヘムのリサ・ラーソン サマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
133	リサ・ラーソン	乗馬 (ユニークピース)	手びねり、炝器	300	235	55		1950年代後期	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
134	リサ・ラーソン	花を持つ子ども (ユニークピース)	たたら、手びねり、炝器	188	86	81		1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
135	リサ・ラーソン	スケッチ	インク、紙	300	220			1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
7章-2 リア&ユニーク：動物たちは友達！ Rare and Unique: Our Friends the Animals										
136	リサ・ラーソン	トリの器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炝器	214	180	120		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
137	リサ・ラーソン	空想のトリ (ユニークピース)	手びねり、炝器	188	165	100		1985年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
138	リサ・ラーソン	フクロウ (ユニークピース)	炝器	225	190	110		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
139	リサ・ラーソン	フクロウ (ユニークピース)	炝器	225	190	110		1980年代?	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
140	リサ・ラーソン	青いウマ (ユニークピース)	手びねり、炝器	150	230	55		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
141	リサ・ラーソン	金のヒレを持つサカナ (ユニークピース)	炝器	90	115	30		1990年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
142	リサ・ラーソン	大きなサカナ (ユニークピース)	炝器	235	300	95		1990年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
143	リサ・ラーソン	吠える未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炝器	77	75	60		1990年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
144	リサ・ラーソン	首の長い未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炝器	150	110	40		2008年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
145	リサ・ラーソン	鼻の大きな未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炝器	95	150	85		1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
146	リサ・ラーソン	座る未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炝器	63	110	63		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
147	リサ・ラーソン	匂いを嗅ぐ未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炝器	77	170	75		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
148	リサ・ラーソン	角がある未知の動物 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炝器	99	155	85		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
149	リサ・ラーソン	均整の取れた未知の動物 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炝器	117	190	80		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
150	リサ・ラーソン	茶色の未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炝器	100	140	80		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
151	リサ・ラーソン	リスに似た未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炝器	105	180	95		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
152	リサ・ラーソン	微笑む未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	110	190	100		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
153	リサ・ラーソン	クマに似た未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	94	150	80		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
154	リサ・ラーソン	人喰いの大鷲トリコ	泥漿鑄込、炆器	127	100	50		2016年	セラミックスチューデイオン・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
7章-3 レア&ユニーク：ひとの器 Rare and Unique: Human Vessels										
155	リサ・ラーソン	陶芸家 (ユニークピース)	手びねり、炆器	98	65	50		1950年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
156	リサ・ラーソン	花の帽子をかぶった婦人の蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	90	72	72		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
157	リサ・ラーソン	鳥の帽子をかぶった男性の蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	105	55	50		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
158	リサ・ラーソン	紳士の蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	82	60	60		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
159	リサ・ラーソン	月桂冠をかぶった男性の蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	63	65	65		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
160	リサ・ラーソン	シェフの蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	100	70	60		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
161	リサ・ラーソン	「ダイビング中」蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	195	80	80		1981年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
162	リサ・ラーソン	「去ろうとする」蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	176	90	115		1981年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
163	リサ・ラーソン	「現れた」蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	202	100	98		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
164	リサ・ラーソン	「入浴中」蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	165	100	100		1972年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
165	リサ・ラーソン	ミイラ (ユニークピース)	たたら、手びねり、炆 器	497	170	130		1996年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
166	リサ・ラーソン	トルソー型の花器 (ユニークピース)	たたら、手びねり、一部 釉薬、炆器	368	95	60		1998年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
7章-4 レア&ユニーク：幼少期 Rare and Unique: Childhood										
167	リサ・ラーソン	スケッチ	インク、紙	340	310			1960年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
168	リサ・ラーソン	ハイハイする子ども (ユニークピース)	手びねり、炆器	75	43	83		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
169	リサ・ラーソン	親指姫 (ユニークピース)	手びねり、炆器	168	150	155		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
170	リサ・ラーソン	座る1歳の子ども (ユニークピース)	手びねり、炆器	138	70	70		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
171	リサ・ラーソン	2歳の子どもと子ネコ (ユニークピース)	手びねり、炆器	140	95	100		1989年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
172	リサ・ラーソン	姉と赤ん坊 (ユニークピース)	手びねり、炆器	168	130	100		1980年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
173	リサ・ラーソン	祖父の膝の上で (ユニークピース)	手びねり、炆器	192	140	125		1980年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
174	リサ・ラーソン	10代の頃のヨハンナ・ラーソンの肖像 (ユニークピース)	手びねり、炆器	308	195	145		1977年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
175	リサ・ラーソン	子どもの頃のマティアス・ラーソンの肖像 (ユニークピース)	手びねり、炆器	320	190	210		1977年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
7章-5 レア&ユニーク：瞑想 Rare and Unique: Contemplation										
176	リサ・ラーソン	思案する (ユニークピース)	手びねり、炆器	140	65	85		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
177	リサ・ラーソン	思索する (ユニークピース)	手びねり、炆器	166	80	80		1970年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
178	リサ・ラーソン	腕組み (ユニークピース)	手びねり、炆器	148	65	75		1974年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
179	リサ・ラーソン	ベッドの端で (ユニークピース)	手びねり、炆器	167	245	150		1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
180	リサ・ラーソン	フラミンゴ・マン (ユニークピース)	手びねり、クロモブリント(転写紙)、炆器	162	115	75		1960年代後期	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
181	リサ・ラーソン	クジャクの椅子 (ユニークピース)	手びねり、炆器	210	150	90		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
182	リサ・ラーソン	喜び (ユニークピース)	手びねり、炆器	210	150	90		2002年	マグレハムのリサ・ラーソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
183	リサ・ラーソン	座る人 (ユニークピース)	手びねり、炆器	133	95	100		1992年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
184	リサ・ラーソン	特等席 (ユニークピース)	手びねり、炆器	365	235	85		1967年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
185	リサ・ラーソン	気難しい人 (ユニークピース)	手びねり、クロモブリント(転写紙)、炆器	110	103	80		1960年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
7章-6 レア&ユニーク：ストレッチ Rare and Unique: Stretching										
186	リサ・ラーソン	戦士 (ユニークピース)	手びねり、炆器	300	465	130		2001年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
187	リサ・ラーソン	身体を折り曲げて (ユニークピース)	手びねり、炆器	98	75	95		1976年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
188	リサ・ラーソン	回転する (ユニークピース)	手びねり、炆器	170	145	80		1970-1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
189	リサ・ラーソン	逆立ち (ユニークピース)	手びねり、クロモブリント(転写紙)、炆器	260	115	95		2009年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
190	リサ・ラーソン	バランス (ユニークピース)	手びねり、炆器	164	130	60		1981年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
191	リサ・ラーソン	ダンサーたち	インク、紙	187	198			1990年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
192	リサ・ラーソン	ダンサーたち	インク、紙	250	360			2008年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
7章-7 レア&ユニーク：情景 Rare and Unique: Scenes										
193	リサ・ラーソン	家族 (ユニークピース)	炆器	278	355	40		1990年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
194	リサ・ラーソン	アダムとイブ (ユニークピース)	たたら、手びねり、炆器	210	210	55		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
195	リサ・ラーソン	愛情 (ユニークピース)	手びねり、炆器	193	170	75		1980年	マグレハムのリサ・ラーソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
196	リサ・ラーソン	親密な二人 (ユニークピース)	手びねり、炆器	180	160	120		1990年代	マグレハムのリサ・ラーソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
197	リサ・ラーソン	キス (ユニークピース)	手びねり、炆器	168	120	85		1996年	マグレハムのリサ・ラーソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
198	リサ・ラーソン	献身的愛情 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、炆器	115	114	114		1981年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
7章-8 レア&ユニーク：器の装飾 Rare and Unique: Surfaces										
199	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	98			140	1950年代後期	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
200	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	103			143	1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
201	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	223	195	195		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
202	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	265	110	110		1960年代	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
203	リサ・ラーソン	蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	123	125	125		1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
204	リサ・ラーソン	壺 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	140	130	130		1979年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
205	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	165			220	1980年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
206	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	炆器	285	130	130		1987年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
207	リサ・ラーソン	壺 (ユニークピース)	ろくろ成形、一部金 泥、炆器	250			280	1992年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
208	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	炆器	365	135	103		1995年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
209	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	344	250	270		1997年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
210	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	炆器	344	103	80		1998年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
211	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	炆器	175			345	1990年代	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
212	リサ・ラーソン	壺 (ユニークピース)	炆器	190	200	100		2001年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
213	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	294	260	170		2002年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
214	リサ・ラーソン	スケッチ	インク、水彩、紙	310	215			1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
215	リサ・ラーソン	スケッチ	インク、水彩、紙	320	233			1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
8章 新しい素材への挑戦 New Materials										
216	リサ・ラーソン	親指姫	緑青加工されたブロンズ	167	147	68		製造1978年	スカンディア・プレゼント 社、ギャラリースカンディ ア	リサ・ラーソン蔵
217	リサ・ラーソン	ティーンエイジャー	緑青加工されたブロンズ	266	90	70		製造1978年	スカンディア・プレゼント 社、ギャラリースカンディ ア	リサ・ラーソン蔵
218	リサ・ラーソン	瞑想/思想家	緑青加工されたブロンズ	131	45	55		製造1978年	スカンディア・プレゼント 社、ギャラリースカンディ ア	リサ・ラーソン蔵
219	リサ・ラーソン	子ども	緑青加工されたブロンズ	150	65	110		製造1978年	スカンディア・プレゼント 社、ギャラリースカンディ ア	リサ・ラーソン蔵
220	リサ・ラーソン	ボール	緑青加工されたブロンズ	150	77	123		製造1978年	スカンディア・プレゼント 社、ギャラリースカンディ ア	リサ・ラーソン蔵
221	リサ・ラーソン	偉大なる舟乗り	緑青加工されたブロンズ	105	73	114		製造1978年	スカンディア・プレゼント 社、ギャラリースカンディ ア	リサ・ラーソン蔵
222	リサ・ラーソン	ネコのジャマーレ、リキュールのデ カンター	型吹きガラス	225	115	90		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
223	リサ・ラーソン	フィルフン(酔っぱらったイヌ)、リ キュールのデカンター	型吹きガラス	114	242	75		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
224	リサ・ラーソン	男性とサカナ	鋳込ガラス	97	110	28		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
225	リサ・ラーソン	聞かザル/見ザル、聞かザル、言わ ザルシリーズ	鋳込ガラス	88	97	35		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
226	リサ・ラーソン	見ザル/見ザル、聞かザル、言わザ ルシリーズ	鋳込ガラス	88	97	35		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
227	リサ・ラーソン	言わザル/見ザル、聞かザル、言わ ザルシリーズ	鋳込ガラス	88	97	35		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
228	リサ・ラーソン	ネコ/自由な動物たちシリーズ	鑄込ガラス	204	206	45		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
229		リサ・ラーソンのガラス製品のためのロイヤル・クローナ社の 広告	プリントされた紙	210	297			1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
230	リサ・ラーソン	コスタガラス工房のガラス吹き工たち	鉛筆、紙	310	245			1954年	コスタガラス工房、スウェーデン	リサ・ラーソン蔵
231	リサ・ラーソン	コスタガラス工房のガラス吹き工たち	鉛筆、紙	310	245			1954年	コスタガラス工房、スウェーデン	リサ・ラーソン蔵
9章 リサとグンナル – 芸術家同士の語らい Lisa & Gunnar – An Artistic Dialogue										
232	グンナル・ラーソン	ガラス瓶	型吹きガラス	175	110	65		1970年代	スクルーフ社ガラス工房、スウェーデン	リサ・ラーソン蔵
233	グンナル・ラーソン	国境を越えて	テンペラ、キャンヴァス	1360	1250			1950年代	グンナル・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
234	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	270			280	1960年代初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
235	グンナル・ラーソン	無重力の中で上昇	グワッシュ、接着剤、紙	760	1400			1950年代	グンナル・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
236	リサ・ラーソン	大きな花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	315			265	1960年頃	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
237	グンナル・ラーソン	彫刻花器 (ユニークピース)	たたら、手びねり、炆器	350	130	120		1966年	カリフォルニア大学バークレー校、アメリカ合衆国	リサ・ラーソン蔵
238	リサ・ラーソン	彫文風景図花器花器 (ユニークピース)	手びねり、炆器	350			120	1970年代	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
239	グンナル・ラーソン	電信柱	インク、水彩、紙	500 (額なし350)	585 (額なし445)			1980年代	グンナル・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
240	グンナル・ラーソン	スコネ地方の風景	油彩、キャンヴァス	760	665			1980年代	マグレハムのグンナル・ラーソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
241	リサ・ラーソン	風景の中で座っている女性のレリーフ (ユニークピース)	たたら、手びねり、炆器	444	300	60		1980年代	マグレハムのリサ・ラーソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
242	グンナル・ラーソン	座る人	アクリル、顔料、キャンヴァス	940	920			1990年代	グンナル・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
243	グンナル・ラーソン	平原の少女	水彩、紙	445	375			2000年	グンナル・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
244	リサ・ラーソン	女性の顔のレリーフ (ユニークピース)	炆器	227	243	40		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
245	グンナル・ラーソン	有名人	アクリル絵具、キャンヴァス	1000	715			1980年代	グンナル・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
246	グンナル・ラーソン	角瓶 (ユニークピース)	たたら、炆器	278	157	105		1970年代	グンナル・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
247	グンナル・ラーソン	川	アクリル絵具、紙	675	524			1980年代	グンナル・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
248	グンナル・ラーソン	トリ (ユニークピース)	手びねり、炆器、木枠	175	263	105		1960年代	グンナル・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
249	グンナル・ラーソン	人物像 (ユニークピース)	手びねり、炆器	225	275	90		1967年	グンナル・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
250	グンナル・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	楽焼	104			120	1969年頃	マグレハムのグンナル・ラーソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
251	リサ・ラーソン	母親と子ども (ユニークピース)	楽焼	134	105	95		1969年	マグレハムのリサ・ラーソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵

特別展「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界ークラシックな名作とともに」
2024年3月2日(土)～5月26日(日)

■【アンケート集計結果】

入館者数	28,007 人		
回答者数	409人		
回 答 率	1.5%		
住 所	北海道・東北	2人	1%
	関東・甲信越	4人	1%
	首都圏	5人	1%
	北陸	6人	2%
	東海	78人	20%
	滋賀県	138人	35%
	京阪神	134人	34%
	奈良・和歌山	17人	4%
	中国	2人	1%
	四国	2人	1%
	九州・沖縄	0人	0%
	無回答	2人	1%
展覧会評価	大変満足	287人	71%
	満足	102人	25%
	普通	13人	3%
	やや不満	3人	1%
	不満	0人	0%
	無回答	1人	0%
再来館したいと 思いますか	思う	370人	96%
	思わない	12人	3%
	無回答	2人	1%
信楽に来た目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	327人	70%
	イベント(陶芸の森・町内)	24人	5%
	陶芸体験	14人	3%
	陶器の購入	8人	2%
	小旅行(ドライブ・ランチ)	44人	9%
	MIHO MUSEUM	10人	2%
	学校行事	12人	3%
	その他	26人	6%
	無回答	0人	0%

特別企画展シリーズ・やきもの×グルメ I シェフ イチ推しの、Shigaraki Style

■趣 旨

“食器は料理の着物” 食道楽から作陶の道に入り、類い希な感性で芸術的才能を発揮した北大路魯山人(1883-1959)が、「魯山人近作鉢の会」*に寄せた序文の言葉です。

山海の幸に恵まれた日本では、自然の美しさや季節の移ろいを表現した、感性で味わう食文化が育まれてきました。こうした伝統のなか、信楽でもとくに近代以降、模範工場や試験場を中心に、陶土や釉薬そしてデザインなど“うつわ”づくりの研究が進展しました。今日では多くの陶芸家の工房や製陶所が、現代の“Shigaraki Style”を追求しています。

ソーシャルメディア時代の到来と食事や健康への意識の高まりは、料理と生活の関係に大きな変化をもたらしています。今や“うつわ”へのこだわりは料理のプロだけでなく、〈おうちシェフ〉にまで広がりを見せています。本展では、穏やかな質感で料理の世界に注目されている信楽のうつわを中心に紹介、双方の関係を探りつつその魅力に迫りました。

*「近作鉢の会に一言」1936年3月(7-8日東京・星岡茶寮、21-22日大阪・星岡茶寮)

■内 容

現代の信楽のうつわと料理をテーマに、下記の展示構成で作品 81 件(198 点)と料理盛付作品パネルなどを展示。

- 〈プロローグ〉 食器は料理の着物
- 〈セクション1〉 特別なひと時を愉しむ
- 〈セクション2〉 気軽に集い楽しむ時間
- 〈セクション3〉 くつろぎの時間を彩る
- 〈セクション4〉 暮らしを彩る “おうち時間”
- 〈コラム〉 信楽の巨匠が愛した一品
- 〈エピローグ〉 シェフが挑む理想のうつわ

■会 期 令和 6 年(2024 年)6 月 15 日(土)～9 月 1 日(日) 68 日間
〔休館日〕月曜日 *7/15、8/12 は開館(7/16、8/13 振替休館)

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■後 援 滋賀県教育委員会 甲賀市 NHK 大津放送局 京都新聞

■協 力 京セラ株式会社

■観覧料 一般 750 円(600 円)／高大生 560 円(450 円)／中学生以下無料
*()内は 20 人以上の団体料金

■入場者数 3,739 人(55 人／日)

■関連企画

(1)ギャラリートーク 参加者 26 人

7 月 28 日(日)10 人、8 月 25 日(日)16 人 各日程とも 13 時 30 分～14 時 30 分

(2) 対話の森 ひさご寿し料理長・川西豪志×陶芸の森館長・松井利夫

モデレーター・副館長青田朋恵 参加者 36 人 7 月 21 日(日)14 時～15 時 30 分

(3) 特別講座「わたしイチョシの、うつわをつくろう！」参加者 26 人

8 月 3 日(土)13 人、8 月 4 日(日)14 人 各日程とも 13 時 30 分～14 時 30 分



対話の森のトーク風景



■団体案内

- 6月28日(金) 県立学校湖南B地区初任者研修受講者・31人
7月5日(金) 高島市マキノ町公民館陶芸教室・12人
7月9日(火) 試験場研修生・14人
7月25日(木) JICA国際機構関西センター研修員・20人
7月31日(水) 甲賀市無形文化財技術保持者認定検討委員・10人
8月27日(火) 試験場コトづくりセミナー：特別鑑賞会・29人

■紹介番組・掲載記事

(1)放送

- 5月13日(月) YouTubeチャンネル「びわモニ」
8月10日(土) BBCびわ湖放送「くらしがインフォメーション」

(2)新聞

- 6月18日(火) 朝日新聞 夕刊「美術館・博物館」
7月1日(月) 陶業時報 「美の探訪」
7月10日(金) 中日新聞 滋賀版「信楽焼の魅力、料理とともに」

(3)専門誌・雑誌・フリーペーパー





- 6月 ギャラリーステーション ギャラリー「スケジュール ミュージアム」
6月 びわ湖芸術文化財団 れいかる7・8月号「ズームアップコーナー」
6月 日本自動車連盟 JAF6月「美術館・博物館特集」
6月 中広 甲賀フリモ6月号「イベントニュース」
6月 JR西日 観光ガイド「電車&ウォーク」7月号「イベントカレンダー」
6月 旭商工 WE AREここにしかない情報を 2024vol.6「日和」
7月 滋賀県広報課 滋賀プラスワン夏号「県立施設イベントスケジュール」

(4)インターネット 抜粋

陶芸の森公式WEBサイト／陶芸の森公式Instagram・Facebook(5/28・6/12・6/15・6/18・6/20・6/23・6/25・6/26・6/28・7/2・7/4・7/5・7/7・7/10・7/18・7/21・7/27・7/28・8/17・8/18・8/23・8/27)／アリベ「新着情報 展覧会の料理・撮影に協力しました」／びわこビジターズビューロー「滋賀・びわ湖観光情報」／うつわ屋フランチパニ「つれづれ日記」／Hotel21「ブログお知らせ」／峰陶房「お知らせ」／甲賀市イベント情報集約サイト「グルメ・料理のイベント」／TOKYO ART BEAT「展覧会・イベント」／彩里陶材「お薦め陶芸企画展」／美術展ナビ「きょう開幕」／アイエム「展覧会」／ゆこゆこ「滋賀県・甲賀信楽のイベント」／京都新聞「ミュージアムガイド」／関西休日案内「文化施設・美術館・滋賀県」／Musca「全国のミュージアムカレンダー」／写真家齊藤文護オフィシャルサイト「陶芸の森に写真を展示いたします」／KOGEI STANDERD「EXHIBITION」／近江懐石清元「陶芸の森特別企画」／日本美術倶楽部「アートイベント情報」

■作品リスト (別紙)

■アンケート結果 (別紙)

プロローグ 食器は料理の着物		2件（2点）・ほか資料1件 6点							
No.	作者	作品	制作年	寸法（cm）	数量	作品	盛付	所蔵	料理・写真
1	北大路 魯山人	色絵葡萄文扇形鉢	c.1943	高8.0×幅28.5×奥行24.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 J-159	盛付・撮影=加納亜美子
2	北大路 魯山人	書 樂水樂山	1930-1939	高102.0×幅117.4（衝立=高118.0×幅133.0×奥行37.1）	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 J-395	
資料	北大路 魯山人	料理盛付帖（写）	不明	パネル	6			銀座 黒田陶苑	

22

セクション1 特別なひと時を愉しむ

18件（42点）

No.	作者	作品	制作年	寸法（cm）	数量	作品	盛付	所蔵	料理・写真
1	澤 克典	信楽アフビ向付	2022	高5.2×幅18.0×奥行13.4	3			個人蔵	写真提供=Galleryてとて
2	澤 克典	織部リム皿	2023	高1.6×口径18.2×底径13.8	5			個人蔵	写真提供=Galleryてとて
3	澤 克典	信楽鬼桶向付	2024	高6.3×口径9.7×底径6.7	5			個人蔵	料理=乃木坂しん 撮影=野村知也
4	神崎 秀策	信楽蛤形向付	2021	高6.3×幅16.3×奥行15.2	1			個人蔵	料理=近江懐石 清元 撮影=齊藤文護
5	神崎 秀策	信楽手付鉢	2021	高13.4×幅24.4×奥行20.7	1			個人蔵	料理=近江懐石 清元 撮影=齊藤文護
6	神崎 秀策	信楽重箱	2022	高13.0×幅20.1×奥行20.2	1			個人蔵	料理=近江懐石 清元 撮影=齊藤文護
7	杉本 貞光	信楽火色丸皿	c.1999	高3.0×径21.4	5			陶の辺料理 魚仙	料理=陶の辺料理 魚仙 撮影=杉本賢正
8	古谷 和也	信楽割山椒	2024	高8.5×幅10.5×奥行10.5	5			個人蔵	料理=近江懐石 清元 撮影=齊藤文護
9	古谷 和也	信楽手付鉢	2024	高13.5×幅25.3×奥行23.7	1			個人蔵	料理=近江懐石 清元 撮影=齊藤文護
10	古谷 和也	信楽陶片皿	2024	高4.5×幅20.0×奥行14.0	5			個人蔵	料理=近江懐石 清元 撮影=齊藤文護
11	古谷 宣幸	藁灰釉鉢	2023	高6.6×口径20.2×底径7.4	1			個人蔵	料理・写真提供=明治の森 筑面 音羽山荘 （料理：上野利幸、撮影：増田好郎）
12	鈴木 茂至	信楽色絵鉢	1980s	高8.0×口14.3・13.3×底径5.0／高8.0×口14.3・14.0×底径5.1	2			個人蔵	
13	鈴木 茂至	信楽緑釉扇面皿	1960s	高2.4×幅31.6×奥行23.6	1			個人蔵	料理・撮影=有方裕貴
14	奥田 章	蓮華皿	2024	高4.6×口径24.2×底径7.0	1			個人蔵	料理・写真=ひさご寿し
15	山田 浩之	平屋（箱物）	2000s	黒釉：高12.4（蓋無5.7）×幅26.6×奥行13.8／ 焼締め：高16.1（蓋無9.4）×幅32.4×奥行17.2	2			個人蔵	料理・撮影=有方裕貴
16	小川 記一	マンガン彩プレート	2019	高1.6×口径27.0×底径14.0	1			個人蔵	料理=ラ ローザネーラ
17	小川 記一	刷毛目角皿	2024	高2.0×幅22.0×奥行23.0	1			個人蔵	料理=ラ ローザネーラ
18	小川 記一	刷毛目掛分皿	2022	高2.0×口径22.4×底径16.0	1			個人蔵	

1842

セクション2 気軽に集い楽しむ時間





19件（34点）
























No.	作者	作品	制作年	寸法（cm）	数量	作品	盛付	所蔵	料理・写真
1	奥田 陶生	信楽四方盤 緋色／ビードロ／緑釉	2022	①高5.6×幅16.3×奥行16.0 ②高5.2×幅16.0×奥行15.7 ③高5.3×幅16.4×奥行16.4	3			個人蔵	料理=ふるさと
2	奥田 陶生	信楽四方盤	c.2020	高3.0×幅33.8×奥行33.6	1			個人蔵	菓子=若狭屋
3	奥田 陶生	信楽黒山茶碗	2022	①高4.8×口径15.2・15.5×底径7.0 ②高4.2×口径15.4・15.6×底径6.8 ③高5.3×口径15.9・16.0×底径6.6	3			個人蔵	
4	小川 顕三	格子隅切角皿	c.2005	高2.8×幅21.3×奥行21.4×底径9.3	1			個人蔵	料理・所蔵=山びこ
5	小川 顕三	灰釉五角形皿揃	2005	大皿=高3.2×幅36.6×奥行34.6／小皿=高2.8×幅19.0×奥行17.6	6			滋賀県立陶芸の森陶芸館 C-117	盛付・撮影=加納亜美子
6	加藤 喜代司	炭化窯変たわみ組鉢	2011	高8.0×幅25.0×奥行24.0	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 FSC-064	盛付・撮影=加納亜美子
7	広川 純	鍋セット	2004	高17.4×径36.0／高17.0×径22.0／高12.0×径26.5	2			滋賀県立陶芸の森陶芸館 C-113・個人蔵	料理=原敬子 写真提供=酒の器 Toyoda
8	デイリーライフ信楽 （デザイン=ナタリー・ラーデンマキ）	土鍋（PATA）	2008	高9.8（蓋無8.7）×幅30.0×奥行（口径）24.0×底径15.6	2			滋賀県立陶芸の森陶芸館 FC-022	料理=オステリア セーザモ 撮影=杉本賢正
9	鈴木 正彦	淡墨文丸台皿	2024	高3.2×径25.3	1			個人蔵	料理=ガロッパーレ
10	鈴木 正彦	淡墨文黒絵角皿	2024	高4.0×幅22.4×奥行22.6×底径11.6	1			個人蔵	料理=ガロッパーレ
11	鈴木 正彦	淡墨石垣文角小皿	2024	高2.9×幅16.2×奥行13.1×底11.5・8.9	1			個人蔵	料理=ガロッパーレ
12	古谷 朱里	グリーン縁反り二方皿	2023	高3.6×口径18.4・17.8×底径6.8	1			個人蔵	料理・撮影=Shun（料理家）
13	鈴木 工友	安南染付色絵角鉢	2024	高3.0×幅20.6×奥行20.5	1			個人蔵	料理・撮影=有方裕貴
14	鈴木 工友	安南染付色絵皿	2024	高2.4×口径22.7×底径13.0	1			個人蔵	料理・撮影=林香囃
15	鈴木 工友	安南染付色絵輪花鉢	2024	高5.5×口径20.0×底径10.2	1			個人蔵	
16	山本 雅則	縄目しのぎリム皿	2024	高5.1×口径24.0×底径9.6	1			個人蔵	料理・撮影 =三条猪熊 おおはし
17	山本 雅則	陶板皿	2024	高1.2×口径18.8×底径17.2	1			個人蔵	料理・撮影=三条猪熊 おおはし
18	山本 雅則	しのぎリム皿	2024	高3.9×口径15.0×底径6.2	1			個人蔵	料理・撮影=三条猪熊 おおはし
19	白道窯	角皿	2024	高4.8×幅・奥行22.6	1			個人蔵	料理=あわいさ

1934

セクション3 くつろぎの時間を彩る

15件（29点）















No.	作者	作品	制作年	寸法（cm）	数量	作品	盛付	所蔵	料理・写真
1	古谷製陶所	ケーキ・お菓子の器 皿・りんご皿・フラットプレート・クリーマー）（長	2024	長皿=高2.0×幅32.0×奥行10.5／りんご皿（グレー釉・サビ釉）=高2.0×幅12.5×奥行11.0／鉄散フラットプレート=高2.0×径29.5／鉄散クリーマー=高5.0×幅7.0×奥行6.0	5			個人蔵	盛付・撮影=petit-ticket 橋本 香子
2	安見工房	グレー×黄 角皿〈はなととり〉	2023	高2.3×幅21.1×奥行21.1	1			個人蔵	

3	安見工房	メルヘンシリーズ 輪花皿	2023	高2.5×口径14.9×底径8.5	1			個人蔵	
4	安見工房	オーバル皿	2023	高2.7×幅28.8×奥行21.4	1			個人蔵	
5	峡月窯（宇田康介・令奈）	モーニングセット（鍋柄円皿・カップ）	2024	鍋柄円皿＝高3.3×幅26.4×奥行21.4（底＝19.0・13.6）／カップ＝高6.3×幅12.2×奥行9.0（口径8.5・底径8.1）	2			個人蔵	写真提供＝うつわ屋フランジパニ
6	峡月窯（宇田康介・令奈）	お茶のひと時（ポット・カップ・敷板・輪花小皿）	2024	ポット＝高10.3（蓋無7.1）×幅16.9×奥行10.0（口径7.8・底径8.2）／カップ＝高6.4×幅12.4×奥行8.8（口径8.6・底径8.2）／敷板＝高0.6×幅19.1×奥行10.3／釉輪花小皿＝高3.1×口径14.2×底径6.6／粉引輪花小皿＝高2.8×口径13.8×底径6.3	5			個人蔵	写真提供＝うつわ屋フランジパニ
7	山田 洋次	ケーキ皿 ホワイト	2023	大＝高2.0×口径15.5×底径8.3／小＝高1.5×口径12.7×底径8.0	2			個人蔵	写真提供＝TORASARU
8	山田 洋次	ケーキ皿 ホワイト・ブルー	2023	大＝高1.9×口径15.0×底径8.6／小＝高1.7×口径12.6×底径7.7	3			個人蔵	写真提供＝TORASARU
9	廣川 みのり	色絵蓋物セット	2004	大＝高26.0×径20.0／中＝高12.0×幅15.0×奥行13.4／小＝高17.8×径12.4	3			滋賀県立陶芸の森陶芸館 C-114	盛付・撮影＝加納亜美子
10	小牧 あやこ	黒絵カップ（花柄）	c.2023	高8.5×幅11.1×奥行8.2（口径8.0・底径8.2）	1			個人蔵	
11	小牧 あやこ	青色耳付き四角皿（りんご）	c.2023	高1.9×幅14.7×奥行13.6	1			個人蔵	
12	小牧 あやこ	青色耳付き長方皿（りんご）	c.2023	高2.0×幅23.4×奥行13.8	1			個人蔵	
13	小牧 あやこ	青色耳付き丸鉢（花柄）	2020	高5.0×幅22.0×奥行20.3×底径8.8	1			個人蔵	
14	小牧 あやこ	青色マグカップ（クロス）	2019	高6.8×幅11.2×奥行8.2（口径8.2・底径8.1）	1			個人蔵	
15	小牧 あやこ	粉引き金彩波フチ小皿（水玉）	2024	高1.5×径14.3	1			個人蔵	





セクション4 暮らしを彩る“おうち時間” 17件（64点）

No.	作者	作品	制作年	寸法（cm）	数量	作品	盛付	所蔵	料理・写真
1	庄左エ門窯 松庄	simple土鍋（一合）	2024	高18.2（蓋無12.3）×口径22.8×底径11.5	1			個人蔵	料理・撮影＝土鍋ごはん & café 睦庵
2	古谷製陶所	鉄散線彫めしわん	2024	高6.4×口径12.8×底径4.7	1			個人蔵	料理・撮影＝土鍋ごはん & café 睦庵
3	しんによ陶器	オーバルプレート（大）	2018	高2.2×幅32.0×奥行26.0	1			銀俵	料理・撮影＝銀俵
4	窯元うつわ・白道窯・しんによ陶器・古谷製陶所	定食の取り合わせ	2024	飯茶碗（窯元うつわ）＝高7.5×口径11.8×底径5.0／ミツ足ソギ目たまり（白道窯）＝高3.0×口径9.5×底径5.0、楕円皿（白道窯）＝高2.1×幅9.3×奥行7.0／鉢（しんによ陶器）＝高4.8×口径12.2×底径3.8／八角プレート（古谷製陶所）＝高1.4×幅25.2×奥行16.5	5			銀俵	料理＝銀俵
5	sunny-craft（青木拳・寿美子）	オーバル皿	c.2023	高1.6×幅32.7×奥行23.2（底＝30.6・21.2）	1			個人蔵	料理＝カマートの森
6	sunny-craft（青木拳・寿美子）	オーバル鉢	c.2023	高3.6×幅14.2×奥行11.5（底＝9.4・7.3）	1			個人蔵	
7	sunny-craft（青木拳・寿美子）	花小皿	c.2023	高1.3×口径6.6×底径3.8（2種）	2			個人蔵	
8	古谷製陶所	日々の食卓を彩る（輪花皿・たて鉄線耳付スープボウル・八角プレート・花はじおき）	2024	輪花皿（グレー釉・サビ釉）＝高2.0×径22.0／たて鉄線耳付スープボウル＝高×幅×奥行／八角プレート＝高2.5×幅29.5×奥行19.5／花はじおき＝高0.7×径4.5	5			個人蔵	料理＝unmaumaid 撮影＝麻の実カメラ
9	峡月窯（宇田康介・令奈）	宇田家の食卓（鍋柄円皿・輪花小皿・輪花小鉢・輪花鉢・鍋八角皿）	2024	釉輪花小皿（四弁）＝高1.9×口径10.4×底径6.0／粉引輪花小皿（四弁）＝高1.9×口径10.4×底径6.0／釉輪花小鉢＝高5.0×口径12.6×底径6.3／粉引鍋柄円皿＝高2.0×幅10.7×奥行6.7（底＝8.3・5.3）／釉輪鍋八角皿＝高2.4×口径18.0×底径11.2／釉輪輪花鉢＝高5.0×口径18.4×底径6.4	6			個人蔵	
10	滋賀県立信楽窯業試験場（デザイン＝和田三千穂）	寿司鉢セット	1978	醤油差し＝高8.0×幅7.7／鉢大＝高4.4×径25.5／鉢中＝高4.1×径2.2／鉢小＝高2.4×径10.2	4			滋賀県立陶芸の森陶芸館 CI-031	盛付・撮影＝加納亜美子
11	都丸 俊夫	組鉢	2005	大鉢＝高7.0×径32.4／鉢＝高4.5×径15.0	6			滋賀県立陶芸の森陶芸館 C-120	盛付・撮影＝加納亜美子
12	神山 直彦	信楽灰釉柿目組鉢	2019	大鉢＝高7.5×口径35.1×底径12.8／鉢＝高6.2×口径20.0×底径7.3	6			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SC-293	盛付・撮影＝加納亜美子
13	神崎 継春	灰釉掛け分け組鉢	1997	大鉢＝高11.0×径44.0／鉢＝高4.5×径19.3	6			滋賀県立陶芸の森陶芸館 FSC-019	盛付・撮影＝加納亜美子
14	堂本 正樹	黒釉洋丸皿	2024	高1.8×口径20.0×底径14.0	1			個人蔵	料理・撮影＝福岡拓
15	堂本 正樹	緑青洋楕円皿	2024	高2.1×幅23.2×奥行15.5（底19.4・12.0）	1			個人蔵	料理・撮影＝福岡拓
16	堂本 正樹	輪花たわみ鉢 粉引／黒釉	2024	粉引＝高5.5×口径15.0・14.4×底径7.5・8.0／黒釉＝高5.8×口径15.0・14.3×底径8.3・8.6	2			個人蔵	料理・撮影＝福岡拓
17	藤原 純	蒼ノ器	2024	四方皿（中央）＝高4.0×幅23.5×奥行23.0、（上・下）＝高3.7×幅19.0×奥行18.5／楕円皿（左右）＝高3.2×幅20.0×奥行10.2／輪花鉢（左上・右下）＝高4.0×口径11.5×底径5.7／タンブラー（右上・左下）＝高12.3×口径5.5×胴径8.0×底径6.0	15			個人蔵	料理・撮影＝夏子

コラム 信楽の巨匠が愛した一品 7件（24点）

No.	作者	作品	制作年	寸法（cm）	数量	作品	盛付	所蔵	料理・写真
1	古谷 道生	信楽酒器	1990s	片口＝高10.2×幅11.4×奥行8.5×底径5.7／ぐい呑＝高5.6×口径5.8×底径3.0	2			個人蔵	盛付・撮影＝加納亜美子
2	古谷 道生	信楽半月皿揃	1997	高4.0×幅25.5×奥行22.5	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SC-077	盛付・撮影＝加納亜美子
3	滋賀県立信楽窯業試験場（デザイン＝日根野作三）	漬物セット	1960s	手付鉢＝高4.0×径19.0／醤油差し＝高8.7×径5.6／小皿＝高2.5×径11.0	7			滋賀県立陶芸の森陶芸館 CI-024	盛付・撮影＝加納亜美子
4	神山 清子	信楽自然釉角皿	2000	高3.1×幅・奥行14.0	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SC-177	撮影＝加納亜美子
5	大西 忠左	菓子鉢	1955	鶺鴒釉＝高5.8×口径18.0×底径9.6／伊羅保釉＝高5.5×口径18.3×底径9.3／黄釉＝高6.0×口径20.0×底径9.8	3			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SC-185	盛付・撮影＝加納亜美子
6	上田直方（五代）	前押大皿	1995	高6・6×最大径29・7×奥行26.7	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SC-150	盛付・撮影＝加納亜美子
7	高橋 春斎	彫文六角陶筥	c.1977	総高6.5×幅23.7×奥行20.7	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SC-208	盛付・撮影＝加納亜美子

エピソード シェフが挑む理想のうつわ 3件（3点）

No.	作者	作品	制作年	寸法（cm）	数量	作品	盛付		料理・写真
1	福田 憲一（リストランテイルバンビナッチョ）	鉢	2024	高11.6×口径15.4×底径4.5	1			個人蔵	
2	福田 憲一（リストランテイルバンビナッチョ）	カップ＆ソーサー	2024	カップA＝高8.2×幅13.2×口径9.3×底径3.7／カップB＝高8.2×幅13.9×口径9.2×底径3.7 ソーサー＝青＝高0.7×幅・奥行13.2／ソーサー＝白＝高0.8×幅20.5×奥行14.3	2			個人蔵	
3	福田 憲一（リストランテイルバンビナッチョ）	プレート	2024	A＝高0.8×径23.9 / B＝高0.8×径23.7	2			個人蔵	

特別企画展 シリーズ・やきもの×グルメⅠ シェフイチ推しの、Shigaraki Style
2024年6月15日(土)～9月1日(日) 68日間

■【アンケート集計結果】

入館者数	3,739 人		
回答者数	117人		
回 答 率	3.1%		
住 所	北海道・東北	0人	0%
	関東・甲信越	0人	0%
	首都圏	12人	11%
	北陸	0人	0%
	東海	10人	9%
	滋賀県	68人	60%
	京阪神	20人	18%
	奈良・和歌山	3人	3%
	中国	1人	1%
	四国	0人	0%
	九州・沖縄	0人	0%
	無回答	0人	0%
展覧会評価	大変満足	58人	51%
	満足	38人	34%
	普通	12人	11%
	やや不満	2人	2%
	不満	2人	2%
	無回答	1人	1%
再来館したいと 思いますか	思う	103人	95%
	思わない	5人	5%
	無回答	0人	0%
信楽に来た目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	54人	39%
	イベント(陶芸の森・町内)	6人	4%
	陶芸体験	12人	9%
	陶器の購入	9人	6%
	小旅行(ドライブ・ランチ)	27人	19%
	MIHO MUSEUM	5人	4%
	学校行事	6人	4%
	その他	20人	14%
	無回答	0人	0%

時を越えて、彩りの多文化に会う！
特別展「躍動するアジア陶磁―町田市立博物館所蔵の名品から―」

■趣 旨

1973年に開館した町田市立博物館（現在休館中、2027年に町田市立国際工芸美術館（仮称）として開館を予定）は、国内最大級の東南アジア陶磁と、優れた中国陶磁コレクションを所蔵しています。

本展では、そのコレクションから東南アジア陶磁器とそれに関連する中国陶磁器・ガラスなど選りすぐりの作品あわせて150点を紹介しました。多くの民族が盛衰を繰り返してきた東南アジア。中国とその影響のもとで、時代や地域ごとに多様な発展を遂げた東南アジア陶磁を、技法や色彩による横断的な視点から取り上げ、躍動するアジア工芸の魅力に迫りました。



■見どころ

- ① 国内最大級の東南アジア陶磁コレクションに触れる機会！
- ② 多様なアジアの文化をスタイルで紹介！
- ③ 巡回地の中で、中国ガラスの展示は当館のみ！

■会 期 2024年9月14日（土）～12月8日（日）74日間

※休館日 毎週月曜日

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■協 力 町田市立博物館、京セラ株式会社、一般社団法人 甲賀市国際交流協会
公益財団法人 滋賀県国際協会

■企画協力 A s H I

■後 援 滋賀県教育委員会、甲賀市、京都新聞、NHK 大津放送局

■観覧料 一 般 850 円（680 円）、大高生 640 円（510 円）
（ ）内は 20 名以上の団体、中学生以下無料

■入場者数 6,922 人（一日平均 93.5 人）

■展覧会図録『躍動するアジア陶磁ー町田市立博物館の名品からー』

〔サイズ／販売価格〕A4 版変形（横開き） 120 頁／2,400 円

〔内容〕ごあいさつ／「アジア陶磁の躍動する歴史」（新井 崇之）／目次／コラム
「森で生まれた東南アジアの美」（裊 洙淨）・「中国と東南アジアの文様について」
（内山 知恵）・「東南アジアの請来の茶陶ーベトナム・タイの陶磁器を中心に」（後藤
修）／カラー図版／関連地図／アジア諸国略年表／主要参考文献／作品リスト
〔販売実績〕9月14日（土）～12月8日（日） 74 日間・94 冊販売・225,600 円

■展示構成 作品：150 点

1 章 東南アジア陶磁の黎明

展示件数：ベトナム 5 点、中国 4 点、タイ 5 点、クメール 1 点、ラオス 1 点、計 16 点

2 章 淡緑と褐色の造形

展示件数：クメール 15 点、計 15 点

3 章 色の競演

展示件数：ベトナム 22 点、中国 2 点、計 24 点

4 章 多彩な青磁

展示件数：タイ 7 点、クメール 1 点、中国 9 点、ベトナム 4 点、ミャンマー 1 点計 22 点

5 章 黒の表現

展示件数：タイ 14 点、中国 6 点、ベトナム 4 点、ミャンマー 1 点、計 25 点

6 章 多彩の美

展示件数：中国 8 点、ベトナム 22 点、ミャンマー 3 点、計 33 点

※番外編 新たな輝きと色彩ー中国ガラス（当館のみ展示）

展示件数：色ガラスや多彩な鼻煙壺など 15 点

■同時開催 陶芸館ギャラリー企画展「森で生まれた東南アジアの美」

〔日 時〕 2024 年 9 月 14 日（土）～12 月 8 日（日）

〔入場料〕 無料 / 〔出品点数〕 約 12 点（参加作家：6 か国 10 人）

〔入場者数〕 15,885 人（214.6 人／日）

■関連企画

(1) 記念講演会「旅するアジアの文化、その魅力をせまる！」

〔日 時〕 2024 年 11 月 9 日（土）／14：00～15：30

〔講 師〕 町田市立博物館 学芸員 新井 崇之 氏

〔場 所〕 管理棟 視聴覚室

〔参加者〕 26 人

(2) 関連体験講座「～ちょっとした花あそび～どうぶつ花びんをつくろう！」

〔日 時〕 2024 年 9 月 21 日（土）／14：00～15：30

〔講 師〕 武 二香氏（愛知県豊田市）

〔共 催〕 世界にひとつの宝物づくり実行委員会

〔場 所〕 信楽産業展示館 創作スペース

〔参加料〕 2500 円

〔参加者〕 16 人

(3) ギャラリートーク 申込不要・要入場券

〔日時〕 2024年9月22日（日）10月13日（日）・11月17日（日）

〔参加者〕 10人・12人・17人

(4) ミュージアムショップ

本展の趣旨に沿って、多様な技法（青磁・染付・赤絵染付・鉄絵）の陶芸家、また滋賀県内のガラス作家、あわせて 5 人の作家作品、および東南アジアの少数民族の雑貨などを関連商品として販売した。

(5) 特別展示

本展にあわせて、当館所蔵の形象土器（インドネシア）7 点を陶芸館中庭で展示

■団体案内

9 月 13 日（金）近畿伝統工芸士会の特別内覧会 <参加者> 43 名

10 月 17 日（木）信楽窯業試験場試験場・研修生向け解説 <参加者> 11 人

11 月 19 日（火）信楽窯業試験場試験場・産地向け研修会（コトづくりセミナー）
<参加者> 15 人

■掲載記事・紹介番組等

(1) テレビ・ラジオ

9 月 14 日（土） びわ湖放送「しらしがインフォメーション」

10 月 30 日（水） びわ湖放送ニュース

11 月 14 日（木） あいこむこうか（地域放送）新コーナー「推し美ジュ」・躍動する
アジア陶磁展の「灰釉兎形壺」紹介「まちかど K O K A デイリー」

- 11 月 19 日（火） 生放送「躍動するアジア陶磁展」FM 花
 11 月 20 日（水） あいこむこうか（地域放送）新コーナー「押し美ジュ」・躍動する
 アジア陶磁展の「青花山水文皿」紹介「まちかど K O K A デイリー」

(2) 新聞関係

- 8 月 29 日（木） 京都新聞「躍動するアジア陶磁ー町田市立博物館所蔵の名品から」
 地域プラス・ミュージアムガイド欄
 9 月 10 日（火） 朝日新聞 大阪本社夕刊「美術館・博物館」欄、「躍動するアジア
 陶磁展」
 9 月 14 日（土） 朝日新聞 朝刊「つばや器に躍動感 甲賀・県立陶芸の森 アジア
 陶磁展きょう開幕」
 10 月 1 日（火） 陶業時報社 美の探訪 陶芸・工芸「躍動するアジア陶磁 滋賀県
 立陶芸の森陶芸館」

(3) 雑誌・情報誌など

- 10 月 4 日（金） 「Dynamism of Asian Ceramics」『Escape』MK タクシー車内冊子、
 2024 年秋号（英文）
 10 月 25 日（金） 「躍動するアジア陶磁展」甲賀・甲南フリモ情報誌
 11 月下旬 JR 西日本（陸風社）ガイドブック、観光ガイド「電車&ウォー
 ク」12 月号

(4) インターネット抜粋

京都新聞 Web／毎日新聞 Web／日本美術倶楽／奈良新聞デジタル／財經新聞／月刊
 ネットマガジン／Web 陶芸ネット 11 月号・12 月号／ニコニコニュース／@nifty ニュ
 ース／Dellows News／NEWS Collect／WOW Korea／Cube ニュース／antenna／Dtimes／
 イチオシ／エンタメポスト／EC ナビ／ノアドット／Pex POINT EXCHANGE／RBB TODAY
 ／サードニュース／LINE ニュース／NEWSCAST／トラベルスポット／Infosee ニュース
 ／NEWS Collect／excite. ニュース／Infoseek ニュース／SANSP0.COM／StartHome／徳
 島 新 聞 Web／NIKKEI COMPASS／30min／cinemacafe.net／Game*Spark／
 GameBusiness.jp／NewsCafe／NOM000／Push on! Mycar-life／Response／めしレポ／
 アニメ！アニメ！／インサイド／マナラボ／リセマム／超！アニメディア／東京ビュ
 ーティー／とれまがニュース／陶芸の森 HP・Instagram・Facebook・Twitter 他

■ その他 3D 映像の取り組み

クメール王国で作られた出品作品 3 点を 3D スキャナーで撮影。その VR 映像撮影を
 会期中に〇〇から「陶芸館 3D デジタルアーカイブ」で公開した。さらに、展示会場
 では QR コードを掲示し、読み取って自由に動かしながら、本物の鑑賞とともに作品の
 理解を深めた。

（〔技術協力〕滋賀県工業技術センター信楽窯業技術試験場）

■ 作品リスト （別紙）

■ アンケート集計（別紙）

特別展「躍動するアジア陶磁―町田市立博物館所蔵の名品から―」出品リスト

2024.9.14-12.8 / 滋賀県立陶芸の森 陶芸館



■第1章 東南アジア陶磁の黎明 Chapter 1 Dawn of Southeast Asian Ceramics

Cat.no.	作品名	Title	国名	Country	製作年	Data	寸法 高×幅・最大径 (cm)
1	加彩陶器一式	A Set of Earthenware with Painted Decoration	中国	China	前漢 紀元前2～1世紀	Western Han dynasty, B.C. 2nd - 1st century	耳杯：3.5×12.2
2	灰釉緑斑耳杯	Cup with Ear-Shaped Handles in Ash Glaze and Green Glaze Spots	ベトナム	Vietnam	漢代平行期 2～3世紀	Second Era of Northern Domination, 2nd - 3rd century	4.3×14.8
3	緑釉獣耳鍾	Zhong with Beast-Shaped Handles in Green Glaze	中国	China	後漢 1～3世紀	Eastern Han dynasty, 1st - 3rd century	43.5×34.0
4	灰釉櫛目文鍾	Zhong with Comb Pattern in Ash Glaze	中国	China	後漢 2～3世紀	Eastern Han dynasty, 2nd - 3rd century	32.2×24.3
5	灰釉緑斑鍾	Zhong in Ash Glaze and Green Glaze Spots	ベトナム	Vietnam	漢代平行期 2～3世紀	Second Era of Northern Domination, 2nd - 3rd century	28.8×18.8
6	青磁天鶏壺	Ewer with Chicken Head, Celadon	中国	China	南朝 5世紀	Southern Dynasties, 5th century	22.0×14.5
7	青磁龍口水注	Ewer with Dragon Head, Celadon	ベトナム	Vietnam	南朝平行期 5世紀	Second Era of Northern Domination, 5th century	22.2×17.0
8	青磁六耳壺	Jar with Six Lugs, Celadon	ベトナム	Vietnam	南朝平行期 5～6世紀	Second Era of Northern Domination, 5th - 6th century	25.1×27.0
9	黒陶刻文壺	Jar with Incised Design, Black Pottery	タイ	Thailand	バンチェン文化 紀元前2000年頃	Ban Chiang Culture, ca. B.C. 2000	19.2×28.0
10	焼締丸底盤口瓶	Round-Bottomed Bottle, Stoneware	クメール	Khmer	10世紀頃	ca. 10th century	24.0×24.9
11	紅陶白象嵌瓢形瓶	Bottle with White Inlaid Pattern, Red Pottery	タイ	Thailand	ラーナー王国 14～15世紀	Lan Na Kingdom, 14th - 15th century	19.0×15.3
12	焼締貼花壺	Jar with Appliqued Design, Stoneware	タイ	Thailand	スコタイ朝 13～15世紀	Sukhothai Kingdom, 13th - 15th century	26.4×20.4
13	叩文丸底壺	Round-Bottomed Jar with Stamped Pattern	タイ	Thailand	アユタヤ朝 16～17世紀	Ayutthaya Kingdom, 16th - 17th century	16.3×20.3
14	無釉焼締平壺	Flat-Bottomed Unglazed Jar, Stoneware	ベトナム	Vietnam	16～18世紀	16th - 18th century	8.9×13.2
15	黒陶堆線文瓶	Vase with Ribbed Pattern, Black Pottery	ラオス	Laos	年代不明	Data unknown	28.2×15.7
16	紅陶白化粧壺	Jar with White Slip, Red Pottery	タイ	Thailand	アユタヤ朝 16～18世紀	Ayutthaya Kingdom, 16th - 18th century	22.8×23.4

■第2章 淡緑と褐色の造形 Chapter 2 Form of Pale Green and Brown

17	灰釉盤口瓶	Bottle with Dish-Shaped Mouth in Ash Glaze	クメール	Khmer	10～11世紀	10th - 11th century	17.9×20.2
18	灰釉蓮弁文合子	Box with Carved Lotus Petal Design in Ash Glaze	クメール	Khmer	10～11世紀	10th - 11th century	11.7×11.2
19	灰釉鉢	Bowl in Ash Glaze	クメール	Khmer	11～12世紀	11th - 12th century	9.5×28.2
20	灰釉褐彩卵形容器	Egg-Shaped Box in Ash Glaze and Brown Spot	クメール	Khmer	11～12世紀	11th - 12th century	12.5×9.9
21	灰・黒褐釉鉢	Bowl in Ash Glaze and Dark Brown Glaze	クメール	Khmer	11～12世紀	11th - 12th century	6.4×15.8
22	灰・黒褐釉瓢形瓶	Gourd-Shaped Bottle in Ash Glaze and Dark Brown Glaze	クメール	Khmer	11～12世紀	11th - 12th century	10.6×10.2
23	灰・黒褐釉盤口瓶	Bottle with Dish-Shaped Mouth in Ash Glaze and Dark Brown Glaze	クメール	Khmer	11～12世紀	11th - 12th century	20.6×14.1
24	灰・黒褐釉人形水注	Figure Ewer in Ash Glaze and Dark Brown Glaze	クメール	Khmer	11～12世紀	11th - 12th century	26.8×15.5
25	黒褐釉盤口水注	Ewer with Dish-Shaped Mouth in Dark Brown Glaze	クメール	Khmer	12～13世紀	12th - 13th century	26.4×20.6
26	黒褐釉刻線文壺	Bottle with Incised Line Pattern in Dark Brown Glaze	クメール	Khmer	12～13世紀	12th - 13th century	11.2×14.1
27	黒褐釉象形壺	Elephant-Shaped Pot in Dark Brown Glaze	クメール	Khmer	12～13世紀	12th - 13th century	15.5×16.5
28	灰釉鳥形壺	Bird-Shaped Pot in Ash Glaze	クメール	Khmer	12～13世紀	12th - 13th century	8.5×8.7
29	黒褐釉鳥形壺	Bird-Shaped Pot in Dark Brown Glaze	クメール	Khmer	12～13世紀	12th - 13th century	8.3×8.8
30	灰釉兔形壺	Hare-Shaped Pot in Ash Glaze	クメール	Khmer	12～13世紀	12th - 13th century	11.2×13.3
31	黒褐釉兔形壺	Hare-Shaped Pot in Dark Brown Glaze	クメール	Khmer	12～13世紀	12th - 13th century	12.2×15.8

■第3章 色の競演 Chapter 3 Competition of Colours

32	白磁平碗	Flat Bowl, White Ware	ベトナム	Vietnam	李朝 11～12世紀	Ly dynasty, 11th - 12th century	4.5×18.5
33	白磁蓮弁文壺	Jar with Carved Lotus Petal Design, White Ware	ベトナム	Vietnam	李朝 11～12世紀	Ly dynasty, 11th - 12th century	22.0×19.4
34	白磁蓮花文器台	Pedestal with Carved Lotus Petal Design, White Ware	ベトナム	Vietnam	李朝 11～12世紀	Ly dynasty, 11th - 12th century	3.1×13.6
35	白釉褐彩鸚鵡形容器	Parrot-Shaped Vessel with Brown Glaze and White Glaze	ベトナム	Vietnam	李朝 11～12世紀	Ly dynasty, 11th - 12th century	12.5×16.5
36	青白磁唐子文鉢	Bowl with Chinese Children Design in Bluish White Glaze	中国	China	南宋 12～13世紀	Southern Song dynasty, 12th - 13th century	7.6×20.7
37	青磁唐草文鉢	Bowl with Arabesque Pattern, Celadon	ベトナム	Vietnam	陳朝 13世紀	Tran dynasty, 13th century	6.9×17.2
38	白釉掻落蓮花文碗	Bowl with Scraped Lotus Design, White Ware	中国	China	北宋 11世紀	Northern Song dynasty, 11th century	7.5×20.8
39	白磁蓮花文碗	Bowl with Scraped Lotus Design, White Ware	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	10.0×23.2

Cat.no.	作品名	Title	国名	Country	製作年	Data	寸法 高×幅・最大径 (cm)
40	白磁雲文碗	Bowl with Impressed Cloud Design, White Ware	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	5.9×16.8
41	白釉褐彩唐草文壺	Jar with Arabesque Design in Brown Glaze and White Glaze	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	39.0×27.7
42	白磁蝦耳水注	Ewer with a Scampi-Shaped Handle, White Ware	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	17.0×18.3
43	褐釉水注	Ewer in Brown Glaze	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	18.5×19.2
44	白磁蓮弁文碗	Bowl with Carved Lotus Petal Design, White Ware	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	8.4×11.1
45	青磁蓮弁文碗	Bowl with Carved Lotus Petal Design, Celadon	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	11.2×13.1
46	褐釉蓮弁文碗	Bowl with Carved Lotus Petal Design in Brown Glaze	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	10.0×12.4
47	白磁花文鉢	Bowl with Impressed Flower Design, White Ware	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	6.9×16.0
48	黄褐釉花文鉢	Bowl with Impressed Flower Design in Yellow-Brown Glaze	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	5.0×11.9
49	黒褐釉蓮花文鉢	Bowl with Impressed Lotus Design in Dark Brown Glaze	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	4.7×11.7
50	緑釉維宝文鉢	Bowl with Impressed Auspicious Treasures Design in Green Glaze	ベトナム	Vietnam	陳朝 14世紀	Tran dynasty, 14th century	5.0×11.6
51	緑釉唐草文碗	Bowl with Scraped Arabesque Design in Green Glaze	ベトナム	Vietnam	陳～黎朝 14～15世紀	Tran dynasty - Le dynasty, 14th - 15th century	12.7×13.5
52	緑釉瓶	Bottle in Green Glaze	ベトナム	Vietnam	陳朝 14世紀	Tran dynasty, 14th century	16.2×11.2
53	緑釉褐彩鳥形水注	Bird-Shaped Ewer in Green Glaze and Brown Glaze	ベトナム	Vietnam	黎朝 16～17世紀	Le dynasty, 16th - 17th century	13.4×18.4
54	白磁獅子形燭台	Candlestand with Figure of Lion, White Ware	ベトナム	Vietnam	黎朝 17世紀	Le dynasty, 17th century	35.3×16.7
55	緑・藍彩貼花文香炉	Incense Burner with Appliqued Design Decorated in Green Glaze and Blue Glaze	ベトナム	Vietnam	黎朝 17世紀	Le dynasty, 17th century	31.8×24.0

■第4章 多様な青磁 Chapter 4 Variety of Celadons

56	青磁鉄斑文碗	Bowl with Brown Glaze Spots, Celadon	中国	China	東晋 4世紀	Eastern Jin dynasty, 4th century	4.1×11.0
57	青磁蓮弁文盤	Plate with Carved Lotus Petal Design, Celadon	中国	China	南朝 5～6世紀	Southern Dynasties, 5th - 6th century	3.9×15.4
58	青磁蓮弁文盤	Dish with Carved Lotus Petal Design, Celadon	中国	China	五代～北宋 10世紀	Five Dynasties - Northern Song dynasty, 10th century	5.0×18.2
59	青磁双魚文鉢	Bowl with Twin Fish Appliques, Celadon	中国	China	南宋～元 13世紀	Southern Song dynasty - Yuan dynasty, 13th century	4.0×13.2
60	青磁牡丹唐草文盤	Plate with Peony Scroll Pattern, Celadon	中国	China	北宋 11～12世紀	Northern Song dynasty, 11th - 12th century	4.0×18.4
61	澱青釉盤	Plate in Bluish Opaque Glaze, Celadon	中国	China	金 12世紀	Jin dynasty, 12th century	2.9×16.0
62	青磁蓮弁文瓶	Bottle with Carved Lotus Petal Design, Celadon	中国	China	北宋 11～12世紀	Northern Song dynasty, 11th - 12th century	27.9×17.0
63	青磁八卦文香炉	Incense Burner with Eight Trigrams (Bagua) Design, Celadon	ベトナム	Vietnam	陳朝 14世紀	Tran dynasty, 14th century	14.5×18.7
64	青磁唐草文壺	Jar with Arabesque Pattern, Celadon	ベトナム	Vietnam	陳朝 13～14世紀	Tran dynasty, 13th - 14th century	24.1×22.2
65	青磁鉢	Bowl, Celadon	タイ	Thailand	スコータイ朝 13～14世紀	Sukhothai Kingdom, 13th - 14th century	6.0×18.2
66	青磁鳥形水注	Bird-Shaped Ewer, Celadon	タイ	Thailand	スコータイ～アユタヤ朝 15世紀	Sukhothai Kingdom - Ayutthaya Kingdom, 15th century	20.0×20.5
67	青磁花文碗	Bowl with Flower Design, Celadon	タイ	Thailand	スコータイ～アユタヤ朝 15世紀	Sukhothai Kingdom - Ayutthaya Kingdom, 15th century	7.0×12.9
68	灰釉碗	Bowl in Ash Glaze	クメール	Khmer	11～12世紀	11th - 12th century	5.0×12.7
69	青磁人形	Figurine (Female), Celadon	タイ	Thailand	スコータイ～アユタヤ朝 15世紀	Sukhothai Kingdom - Ayutthaya Kingdom, 15th century	14.1×7.2
70	青磁亀	Figurine (Turtle), Celadon	タイ	Thailand	ランナー王国 15世紀	Lan Na Kingdom, 15th century	3.2×5.8
71	青磁犬形容器	Dog-Shaped Vessel, Celadon	ベトナム	Vietnam	陳～黎朝 14～15世紀	Tran dynasty - Le dynasty, 14th - 15th century	5.5×5.6
72	青磁花文盤	Dish with Flower Design, Celadon	中国	China	元 13～14世紀	Yuan dynasty, 13th - 14th century	6.5×33.0
73	青磁白彩花文盤	Dish with Trailed White Slip Flower Design, Celadon	中国	China	明 16～17世紀	Ming dynasty, 16th - 17th century	8.2×32.0
74	青磁刻花花唐草文盤	Dish with Carved Flower Scroll Design, Celadon	タイ	Thailand	スコータイ～アユタヤ朝 15世紀	Sukhothai Kingdom - Ayutthaya Kingdom, 15th century	8.8×31.0
75	青磁鉄絵唐草文盤	Dish with Arabesque Design in Underglaze Black, Celadon	ベトナム	Vietnam	チャンパ王国 15世紀	Champa Kingdom, 15th century	9.1×29.8
76	青磁線文盤	Dish with Line Pattern, Celadon	タイ	Thailand	ランナー王国 15～16世紀	Lan Na Kingdom, 15th - 16th century	5.7×26.7
77	青磁刻線文盤	Dish with Incised Line Pattern, Celadon	ミャンマー	Myanmar	ペグー～タウンゲー朝 15～16世紀	Pegu Kingdom - Toungoo Kingdom, 15th - 16th century	6.4×29.1

■第5章 黒の表現 Chapter 5 Expression of Blacks

78	黒釉天鶏壺	Ewer with Chicken Head in Black Glaze	中国	China	東晋 4世紀	Eastern Jin dynasty, 4th century	19.4×15.1
79	鉄絵牡丹唐草文瓶	Vase with Peony Scroll Design Pattern in Underglaze Black	中国	China	遼 11～12世紀	Liao dynasty, 11th - 12th century	27.0×15.8

Cat.no.	作品名	Title	国名	Country	製作年	Data	寸法 高×幅・最大径 (cm)
80	黒釉梅枝文瓶	Bottle with Plum Blossom Design Black Glaze	中国	China	南宋 12～13世紀	Southern Song dynasty, 12th - 13th century	19.2×12.0
81	鉄絵草花文枕	Pillow with Flower Design in Underglaze Black	中国	China	金 12～13世紀	Jin dynasty, 12th - 13th century	12.3×26.6
82	黒釉唐草文壺	Jar with Scraped Arabesque Design in Black Glaze	中国	China	南宋～元 13～14世紀	Southern Song dynasty - Yuan dynasty, 13th - 14th century	20.7×23.2
83	鉄絵蓮唐草文壺	Jar with Lotus Scroll Pattern in Underglaze Black	ベトナム	Vietnam	陳朝 14世紀	Tran dynasty, 14th century	13.7×13.3
84	黒釉搔落文碗	Bowl with Scraped Pattern in Underglaze Black	ベトナム	Vietnam	陳朝 14世紀	Tran dynasty, 14th century	6.0×14.9
85	鉄絵龍鳳文壺	Jar with Dragon and Phoenix Design in Underglaze Black	中国	China	元 14世紀	Yuan dynasty, 14th century	26.0×29.5
86	鉄絵草花文盤	Dish with Flower Design in Underglaze Black	ベトナム	Vietnam	陳朝 14世紀	Tran dynasty, 14th century	5.2×28.7
87	鉄絵花文台鉢	Footed Dish with Flower Design in Underglaze Black	タイ	Thailand	スコータイ～アユタヤ朝 15世紀	Sukhothai Kingdom - Ayutthaya Kingdom, 15th century	10.7×21.8
88	鉄絵魚文盤	Dish with Fish Design in Underglaze Black	タイ	Thailand	スコータイ～アユタヤ朝 15世紀	Sukhothai Kingdom - Ayutthaya Kingdom, 15th century	7.4×26.2
89	鉄絵魚文盤	Dish with Fish Design in Underglaze Black	タイ	Thailand	スコータイ～アユタヤ朝 15世紀	Sukhothai Kingdom - Ayutthaya Kingdom, 15th century	7.5×27.8
90	鉄絵唐草文水注	Ewer with Arabesque Pattern in Underglaze Black	タイ	Thailand	スコータイ～アユタヤ朝 15世紀	Sukhothai Kingdom - Ayutthaya Kingdom, 15th century	15.8×17.0
91	鉄絵花唐草文盤	Dish with Flower Arabesque Design in Underglaze Black	タイ	Thailand	スコータイ～アユタヤ朝 15世紀	Sukhothai Kingdom - Ayutthaya Kingdom, 15th century	6.2×27.2
92	鉄絵唐草文合子	Box with Arabesque Design in Underglaze Black	タイ	Thailand	アユタヤ朝 16世紀	Ayutthaya Kingdom, 16th century	11.3×13.0
93	鉄絵花文合子	Box with Flower Design in Underglaze Black	タイ	Thailand	アユタヤ朝 16世紀	Ayutthaya Kingdom, 16th century	7.9×9.4
94	鉄絵鳥形合子	Bird-Shaped Box in Underglaze Black	タイ	Thailand	アユタヤ朝 16世紀	Ayutthaya Kingdom, 16th century	5.0×6.3
95	鉄絵花文水注	Ewer with Flower Design in Underglaze Black	タイ	Thailand	アユタヤ朝 15～16世紀	Ayutthaya Kingdom, 15th - 16th century	7.8×9.2
96	鉄絵花文水注	Ewer with Flower Design in Underglaze Brown	タイ	Thailand	アユタヤ朝 15～16世紀	Ayutthaya Kingdom, 15th - 16th century	5.4×5.3
97	白釉褐彩人形容器	Figure Vessel with Brown Glaze Decoration in White Glaze	タイ	Thailand	アユタヤ朝 16世紀	Ayutthaya Kingdom, 16th century	7.4×6.6
98	白釉褐彩双鳥形容器	Twin Bird-Shaped Vessel with Brown Glaze Decoration in White Glaze	タイ	Thailand	アユタヤ朝 16世紀	Ayutthaya Kingdom, 16th century	6.9×8.8
99	鉄絵犬形容器	Dog-Shaped Vessel with Underglaze Black Decoration	ベトナム	Vietnam	陳～黎朝 14～15世紀	Tran dynasty - Le dynasty, 14th - 15th century	9.0×6.3
100	鉄絵双魚文盤	Plate with Twin Fish Design in Underglaze Black	タイ	Thailand	ラーンナー王国 15世紀	Lan Na Kingdom, 15th century	5.0×19.0
101	鉄絵葉文盤	Plate with Leaves Design in Underglaze Black	タイ	Thailand	ラーンナー王国 15世紀	Lan Na Kingdom, 15th century	4.9×21.8
102	黒釉白堆線文四耳壺	Jar with Four Lugs and Trailed White Slip Decoration in Black Glaze	ミャンマー	Myanmar	15世紀～16世紀	15th - 16th century	42.4×43.6

■第6章 多彩の美 Chapter 6 Beauty of Various Colours

103	青花束蓮文盤	Dish with a Bunch of Lotus Flowers Design in Underglaze Blue	中国	China	明・永楽年間 (1403～24年)	Ming dynasty, Yongle period (1403 - 24)	6.3×34.3
104	青花花鳥文高足杯	Stem Cup with Birds and Flowers Design in Underglaze Blue	中国	China	明 15世紀後期	Ming dynasty, the latter half of the 15th century	12.7×16.7
105	藍釉麒麟文水注	Ewer with Qilin (Chinese sacred animal) Design in Cobalt Blue Glaze	中国	China	明 16世紀前期	Ming dynasty, first half of the 16th century	19.7×14.0
106	五彩雲龍文壺	Jar with Dragons and Clouds in Overglaze Enamels	中国	China	明・嘉靖年間 (1522～66年)	Ming dynasty, Jiajing period (1522 - 66)	28.3×24.7
107	豆彩団花文鉢	Bowl with Round Flower Design in Underglaze Blue and Overglaze Enamels (Doucai Ware)	中国	China	清・雍正年間 (1723～35年)	Qing dynasty, Yongzheng period (1723 - 35)	7.1×22.5
108	藍釉白彩花文盤	Dish with Trailed White Slip Flower Design in Cobalt Blue Glaze	中国	China	明 16～17世紀	Ming dynasty, 16th - 17th century	8.0×33.8
109	五彩人物文盤	Dish with a Figure Design in Overglaze Enamels	中国	China	明 16～17世紀	Ming dynasty, 16th - 17th century	10.3×40.0
110	法花蓮花文壺	Jar with Lotus Design in Cloisonné Style (Fahua Ware)	中国	China	明 16世紀	Ming dynasty, 16th century	15.2×16.2
111	青花蓮池文盤	Dish with Lotus Pond Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	陳～黎朝 14～15世紀	Tran dynasty - Le dynasty, 14th - 15th century	6.4×37.3
112	青花牡丹文盤	Dish with Peony Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15世紀	Le dynasty, 15th century	7.9×38.3
113	青花鳳凰文水注	Ewer with Phoenix Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15世紀	Le dynasty, 15th century	13.5×17.8
114	青花花唐草文瓶	Bottle with Flower Scroll Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15世紀	Le dynasty, 15th century	18.5×11.3
115	青花山水文盤	Dish with Landscape Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15世紀	Le dynasty, 15th century	6.9×33.6
116	青花窓絵花文瓶	Bottle with Windows and Flowers Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15世紀	Le dynasty, 15th century	23.6×11.8

Cat.no.	作品名	Title	国名	Country	製作年	Data	寸法 高×幅・最大径 (cm)
117	青花花鳥文瓢形瓶	Gourd-Shaped Bottle with Birds and Flowers Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15世紀	Le dynasty, 15th century	17.4×13.7
118	青花鳳凰文合子	Box with Phoenix Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15世紀	Le dynasty, 15th century	7.4×9.0
119	青花宝相華文合子	Box with Buddhist Flower Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15世紀	Le dynasty, 15th century	3.0×4.3
120	五彩合子	Box with Overglaze Enamel Decoration	ベトナム	Vietnam	黎朝 15～16世紀	Le dynasty, 15th - 16th century	5.2×6.7
121	五彩水禽文盤	Dish with Water Bird Design in Overglaze Enamels	ベトナム	Vietnam	黎朝 15世紀	Le dynasty, 15th century	7.0×34.2
122	青花菊唐草文碗	Bowl with Chrysanthemum Scroll Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15～16世紀	Le dynasty, 15th - 16th century	9.6×12.9
123	青花菊唐草文高足杯	Stem Cup with Chrysanthemum Scroll Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15～16世紀	Le dynasty, 15th - 16th century	13.3×13.3
124	青花象形水注	Elephant-Shaped Ewer in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15～16世紀	Le dynasty, 15th - 16th century	15.4×21.4
125	青花象形容器	Elephant-Shaped Vessel in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15～16世紀	Le dynasty, 15th - 16th century	5.6×9.8
126	青花犬形容器	Dog-Shaped Vessel in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15～16世紀	Le dynasty, 15th - 16th century	7.9×7.2
127	青花鳥形容器	Bird-Shaped Vessel in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15～16世紀	Le dynasty, 15th - 16th century	5.2×7.6
128	青花蛙形容器	Frog-Shaped Vessel in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15～16世紀	Le dynasty, 15th - 16th century	2.8×5.8
129	青花猫形容器	Cat-Shaped Vessel in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15～16世紀	Le dynasty, 15th - 16th century	4.7×5.7
130	青花茄子形容器	Aubergine-Shaped Vessel in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 15～16世紀	Le dynasty, 15th - 16th century	11.2×8.8
131	青花靈獸文壺	Jar with Sacred Animal Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 16世紀	Le dynasty, 16th century	52.5×34.5
132	青花魚文盤	Plate with Fish Design in Underglaze Blue	ベトナム	Vietnam	黎朝 16～17世紀	Le dynasty, 16th - 17th century	3.6×23.0
133	白釉緑彩鳥文盤	Dish with Birds Design in Green Pigment and White Tin Glaze	ミャンマー	Myanmar	ベグー～タウンゲー朝 15～16世紀	Pegu Kingdom - Toungoo Kingdom, 15th - 16th century	6.5×31.4
134	白釉緑彩花文盤	Dish with Flower Design in Green Pigment and White Tin Glaze	ミャンマー	Myanmar	ベグー～タウンゲー朝 15～16世紀	Pegu Kingdom - Toungoo Kingdom, 15th - 16th century	6.2×28.6
135	白釉緑彩鬼神像碑	Tile with Carved Warriors of Mara in Green Glaze and White Tin Glaze	ミャンマー	Myanmar	ベグー～タウンゲー朝 15～16世紀	Pegu Kingdom - Toungoo Kingdom, 15th - 16th century	43.2×31.1

■番外編 新たな輝きと色彩—中国ガラス Extra Chapter New Brilliance and Colours—Chinese Glass

G1	白地青被花鳥文瓶	Vase with Carved Flowers and Birds Design, Blue Glass Overlaid on Opaque White Glass Ground	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	23.8×12.7
G2	黄色花文瓶	Vase with Carved Flowers Design, Yellow Glass	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	25.1×12.6
G3	白地青被葡萄文瓶	Vase with Carved Grapevine and Squirrels Design, Blue Glass Overlaid on Opaque White Glass Ground	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	19.4×10.2
G4	褐色石目文瓶	Faux Stone Vase, Brown and Black Marbled Glass	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	10.6×7.5
G5	紫地多彩蝙蝠文壺	Jar with Carved Bat and Flowers Design, Multicolour Glass Applied on Whitish Purple Glass Ground	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	7.6×10.8
G6	白地多彩猫菊蝶文鼻煙壺	Snuff Bottle with Carved Cat, Chrysanthemum, and Butterfly Design, Multicolour Glass Applied on Opaque White Glass Ground	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	9.7×7.5
G7	白地茶被人物文鼻煙壺	Snuff Bottle with Carved Auspicious Motifs Design, Brown Glass Overlaid on Opaque White Glass Ground	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	6.2×4.2
G8	赤地鶴文把手付鼻煙壺	Snuff Bottle with Carved Crain Design and Bat-Shaped Handle, Red Glass	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	7.7×4.0
G9	雪片地赤被蟹文鼻煙壺	Snuff Bottle with Carved Crabs Design, Red Glass Overlaid on Snowflake Glass Ground	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	7.8×3.6
G10	雪片地多彩魚文鼻煙壺	Snuff Bottle with Carved Carp Design, Multicolour Glass Applied on Snowflake Glass Ground	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	7.5×5.0
G11	透地赤色騎馬武者文鉢	Bowl with Carved Equestrians Design, Red Glass	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	7.1×15.6
G12	透地紫色龍文鉢	Bowl with Carved Carps and Dragons Design, Purple Glass	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	7.2×16.6
G13	乳白桃色瓶	Bottle, Opaque Pink Glass	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	11.6×10.4
G14	透地赤被内絵花鳥文鼻煙壺	Snuff Bottle with Inside-painted Birds and Flowers Design, Red Glass Overlaid on Transparent Glass Ground	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	5.8×4.4
G15	白色桃色マーブルガラス鼻煙壺	Snuff Bottle, Opaque White and Pink Marbled Glass	中国	China	清 18～20世紀	Qing Dynasty, 18th - 20th century	6.1×4.3

特別展「躍動するアジア陶磁-町田市立博物館所蔵の名品から」
2024年9月14日(土)～12月8日(日)

■【アンケート集計結果】

入館者数	6,922 人		
回答者数	121人		
回 答 率	1.7%		
住 所	北海道・東北	0人	0%
	関東・甲信越	0人	0%
	首都圏	4人	4%
	北陸	2人	2%
	東海	10人	9%
	滋賀県	70人	61%
	京阪神	22人	19%
	奈良・和歌山	6人	5%
	中国	0人	0%
	四国	0人	0%
	九州・沖縄	0人	0%
	無回答	0人	0%
展覧会評価	大変満足	52人	45%
	満足	42人	36%
	普通	17人	15%
	やや不満	4人	3%
	不満	1人	1%
	無回答	0人	0%
再来館したいと 思いますか	思う	102人	92%
	思わない	9人	8%
	無回答	0人	0%
信楽に来た目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	51人	37%
	イベント(陶芸の森・町内)	6人	4%
	陶芸体験	10人	7%
	陶器の購入	6人	4%
	小旅行(ドライブ・ランチ)	32人	23%
	MIHO MUSEUM	5人	4%
	学校行事	5人	4%
	その他	23人	17%
	無回答	0人	0%

特別企画展シリーズ・やきもの×グルメⅡ
近江の古陶磁を味わう…湖国の料理とともに

■趣 旨

中央に琵琶湖を擁し、周囲の山野が四季折々に美しい景観をみせる湖国近江。かつての都、奈良や京都への玄関口となるこの地は、古くから“みち”がめぐる街道の国でもあります。人々の往来とともに文物が行き交い、特色ある街道文化が育まれてきました。先人たちから受け継がれ、親しまれてきたやきものと料理はその象徴といえるでしょう。

東海道・中山道をはじめ北国街道や西近江路などの交通網が整備され、城下・門前・宿場に町人文化が栄えた近世もとくに中期以降には、個性豊かな陶窯が各地に開かれています。同時に商品経済の発達で外食の大衆化が進み、宿場や街道筋に建ち並ぶ旅籠や料理屋、茶屋などの飲食店では湖魚や近江野菜を活かした郷土料理が旅人らに振舞われました。

こうした外食そして同時期に流行した社寺巡礼など旅の庶民化が、近江のやきものに与えた影響も少なくありません。近江八景や大津絵など近江の風物を題材にしたうつわも多く焼かれています。本展覧会では近江のやきものと料理を中心に、街道周辺の名所や見所などをあわせて紹介し、ちょっとした旅気分ですの湖国の魅力をお楽しみいただきました。

■内 容

近世近江の古陶磁 110 件 (29 窯) と湖魚・近江野菜を素材にした料理盛付作品パネル、また大阪・関西万博開催記念特別陳列として岡本太郎作品と関連資料 8 件を展示。

〈プロローグ〉 私たちのご案内します！

〈第Ⅰ部〉 東海道のやきもの一街道筋の名物と近江の食材を活かした料理

〈第Ⅱ部〉 中山道・朝鮮人街道やきもの一彦根藩ゆかりの料理と名物を中心に

〈第Ⅲ部〉 北国街道と御代参街道・信楽道のやきもの一戦国武将ゆかりの名産・料理など

〈第Ⅳ部〉 西近江路のやきもの一湖西の伝統野菜と湖魚を活かした伝統料理と創作料理

〈大阪・関西万博開催記念 特別陳列〉 岡本太郎の東海道五十三次

■会 期 令和 7 年 (2025 年) 3 月 15 日 (土) ～ 3 月 30 日 (日) 14 日間
* 令和 7 年度に継続 令和 7 年 (2025 年) 6 月 22 日 (日) まで

■主 催 滋賀県立陶芸の森

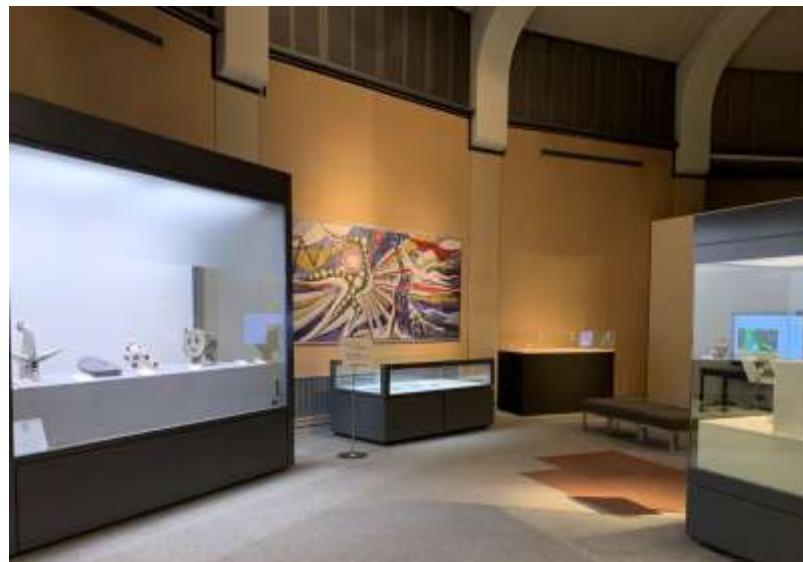
■後 援 滋賀県教育委員会 甲賀市 NHK 大津放送局 京都新聞

■協 力 京セラ株式会社

■観覧料 一般 750 円 (600 円) / 大学生 560 円 (450 円) / 高校生以下無料
* () 内は 20 人以上の団体料金

■入場者数 692 人 (49 人 / 日)





■紹介番組・掲載記事

(1)放送

3月26日(水) あいコムこうか「ニュース・近江の古陶磁を味わう企画展」

(2)新聞

2月27日(金) 毎日新聞 滋賀版 名品手鑑Ⅲ(32)

湖南焼・永楽保全 金襴手内染付雲鶴文鉢 1851-1854／嘉永4-7

3月25日(火) 中日新聞 滋賀版「陶磁器×料理で湖国を味わう」

3月25日(火) 朝日新聞 夕刊「美術館・博物館」

(3)専門誌・雑誌・フリーペーパー

2月 中広 甲賀フリモ2月号「イベントニュース」

(4)インターネット 抜粋

陶芸の森公式 WEB サイト／陶芸の森公式 Instagram・Facebook(12/10・2/8・3/15・3/20・3/22)／甲賀市イベント情報集約サイト「アート・デザイン」／びわこビジターズビューロ

ー「滋賀・びわ湖観光情報」／信楽町観光協会「陶芸の森・陶芸館 特別企画展のお知らせ」／美術手帳「展覧会・滋賀」／美術展ナビ「滋賀・滋賀県立陶芸の森」／TOKYO ART BEAT「展覧会・イベント」／駅探 LOCOL「滋賀県・甲賀市のイベント」／滋賀プラスワン「イベント」／京都新聞デジタル「特集ミュージアムガイド」／アイエム「展覧会」／Walkerplus「ゴールデンウィークイベントガイド」／BIGLOBE 旅行「全国のイベントカレンダー」／田中松太郎ブログ／dmenu「EventBank プレス」／わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ文化プログラム「甲賀市」／Musca「全国のミュージアムカレンダー」／goo ニュース「地域」／Hotel21「ブログお知らせ」

■ 作品リスト（別紙）

■ アンケート集計（別紙）
















No.	作者	作品・資料名	制作年	寸法（cm）	数量	作品画像	盛付画像	所蔵	料理・写真
1	北村 美音	色絵双六「近江狸と道中」	2007／平成19	双六版＝縦92.0×横118.5／約縁＝高5.0×幅5.2×奥行5.2／溝底＝高6.2×幅4.6×奥行4.8／溝正＝高5.1×幅4.4×奥行4.5／隅脚＝高5.4×幅4.6×奥行4.5／溝乙女＝高5.6×幅4.5×奥行4.2／龍草蛇＝高3.8×幅4.5×奥行4.2／商人＝高5.4×幅5.3×奥行4.3／芭蕉＝高5.0×幅4.5×奥行4.3／弁慶＝高4.4×幅4.5×奥行4.4／鬼の念仏＝高4.3×幅4.3×奥行4.3／番頭＝高4.8×幅4.5×奥行4.3／茶屋娘＝高4.2×幅4.3×奥行4.3／笑上げる狸＝高4.1×幅4.4×奥行4.4 狸（小）＝高3.5×幅4.5×底4.4／狸（大）＝高4.7×幅4.6×奥行4.4／約縁＝高5.0×幅5.2×奥行5.2	16			滋賀県立陶芸の森陶芸館 J-329	
2	滋賀県食のブランド推進課	滋賀の食材	2022／令和 4	食材解説パネル	1			滋賀県みらいの農業振興課	

2
16

第Ⅰ部
東海道のやきもの－街道筋の名物と近江の食材を活かした料理

51件（83点）うち 1 件は資料パネル

No.	窯・作者名	作品・資料名	制作代（年）	寸法（cm）	数量	作品画像	盛付画像	所蔵	料理・写真
1	膳所焼	鉄釉丸肩衝茶入	17C後半／江戸時代	高10.4（蓋付）×口径3.3×胴径6.0×底径3.9	1			寄託 FDSO-016	
2	膳所焼	丸肩衝茶入 銘 雲鶴	17C後半／江戸時代	高9.1×径4.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-034	
3	膳所焼	耳付茶入 銘 不問猿	18C／江戸時代	高7.4×胴径7.6×口径3.7×底径4.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-049	
4	膳所焼	耳付水指	18C／江戸時代	高18.4×径16.6	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-058	
5	膳所焼・国分窯	鉄釉茄子形香合	18C前半／江戸時代	高4.5×幅6.1×奥行3.1	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-105	
6	膳所焼・虎吉	鉄釉羅漢唐獅子文平鉢	c.1840／天保11年頃	高4.2×径15.4×底径8.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-106	走井 餅
7	膳所焼・虎吉	交趾釉盃	19C前半／江戸時代	高4.5×口径5.46×底径3.0	5			寄託 FDSO-017	
8	梅林焼	三彩手付鉢	18C後半－19C前半／江戸時代	高13.6×胴径17.4×口径17.0×底径9.7	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-104	ふなずし 盛付・撮影＝加納亜美子
9	梅林焼	三彩鮑形鉢	18C後半－19C前半／江戸時代	高6.7×幅22.2×奥行17.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-089	
10	梅林焼	三彩茄子形徳利	18C後半－19C前半／江戸時代	高16.0×径10.5	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-036	
11	梅林焼	三彩手付盃 * 蜜柑形ほか	18C後半－19C前半／江戸時代	高3.8×幅11.0×奥行5.9 ほか	7			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-052 ほか	
12	梅林焼	鉄絵蘭花文筒茶碗	18C後半－19C前半／江戸時代	高6.6×口径10.2・9.3×底径2.9	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-116	
13	梅林焼	三彩水指	18C後半－19C前半／江戸時代	高20.5×口径12.8×胴部16.2・15.8×底径11.6	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-299	
14	栗津焼	交趾釉手付扇形皿	18C後半－19C前半／江戸時代	高17.8×幅35.3×奥行19.8	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-281	諸子木の芽焼・万木蕪・大王松・黒豆金箔 料理・盛付＝近江懐石 清元 撮影＝齊藤文護
15	栗津焼	赤楽扇面足付皿	18C後半－19C前半／江戸時代	高4.6×幅20.0×奥行14.4	2			個人蔵	
16	伝・雀ヶ谷焼	染付秋草文鉢	19C／江戸時代	高5.0×口径12.8×底径5.3	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館	
17	復興膳所焼（陽炎園）	大江写茶入	1990年代／平成時代	高9.3×径6.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SC-047	
18	復興膳所焼（陽炎園）	壺形水指	1990年代／平成時代	高19.0×径16.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SC-048	
19	復興膳所焼（陽炎園）	オランダ写水指	20C前半／大正8-昭和時代	高13.9×口径19.4×底径15.8	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SCI-004	
20	復興膳所焼（陽炎園）・山元春挙絵付	白玉椿図筒茶碗	20C前半／大正8-昭和時代	高7.8×口径9.3×胴径10.1×底径5.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクションSC-282	
21	石山焼・樂弘入	赤樂藤隠文片口向付	20C前半／大正時代-昭和時代	高5.0×胴径8.9×9.3×口径8.5×底径4.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-134	
22	石山焼	黒楽茶碗	19C／江戸時代	高6.2×口径14.0×底径5.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-073	
23	石山焼	黒楽茶碗	19C後半-20C前半／江戸時代-明治時代	高6.2×幅15.4×奥行13.2×口径4.4	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクションSO-219	石 餅
24	石山焼	楽水指	19C前半／江戸時代	高15.8×胴径21.4×口径15.2×底径12.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-074	
25	石山焼	鉄釉盃	19C後半-20C前半／江戸時代-明治時代	高5.0×口径6.1×5.8×底径3.6	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-209	
26	瀬田門平焼	鉄絵近江八景文蛸形蓋物	19C後半-20C前半／明治時代-昭和時代	高6.0（蓋なし2.1）×幅23.2×奥行22.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-087	押しキャベツ・蛸・ビタミン大根・菜の花ほか 料理・盛付＝近江懐石 清元・撮影＝齊藤文護
27	瀬田門平焼	赤楽近江八景文蛸形三足向付	19C後半-20C前半／明治時代-昭和時代	高4.3×幅12.8×奥行11.4／高4.3×幅13.1×奥行12.6	2			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクションSO-202	近江食材の煮物（がんもどき・椎茸・人参・赤蒟蒻・木の芽） 盛付・撮影＝加納亜美子
28	瀬田門平焼	鉄絵瀬田唐橋文徳利	19C後半-20C前半／明治時代-昭和時代	高18.2×口径3.3×胴径8.1×底径7.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-277	
29	瀬田門平焼	色絵大津絵文蛸貝形盃	19C後半-20C前半／明治時代-昭和時代	高3.3×口径6.2×底径2.5	6			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-140	
30	瀬田門平焼	鉄絵堅田落雁文茶碗	19C後半-20C前半／明治時代-昭和時代	高7.5×口径12.3×底径4.8	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-088	
31	瀬田門平焼	鉄釉肩衝茶入	19C後半-20C前半／明治時代-昭和時代	高6.0×口径3.5×径5.8×底径4.8	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-132	
32	瀬田門平焼・郷松雲外、中島華風合筆	鉄絵匂入小土瓶	19C後半-20C前半／明治時代-昭和時代	総高15.7×幅13.1×奥行10.0×口径7.0×底径6.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-311	
33	瀬田門平焼・山元春挙絵付	鉄絵漁夫図葛屋形蓋物	20C前半／大正時代－昭和時代	高8.9×幅12.1×奥行11.1	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-206	
34	姥餅焼	布目菊押印文小皿	19C前半／江戸時代	高1.8×径13.0	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-038	うはがもち 写真提供＝兵主大社 撮影＝辻村耕司
35	姥餅焼	匂入茶碗	18C後半-19C前半／江戸時代	高6.0×口径10.6×底径5.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-280	
36	姥餅焼	鉄絵匂入り皿	19c後半／明治時代	高0.9×径17.7×底径7.1／白：高2.1×径16.8×底径6.4	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-078	
37	姥餅焼	唐津写茶碗	19C前半／江戸時代	高8.2×胴径12.8×11.7×底径5.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-131	
38	姥餅焼	信楽写耳付火入	19C前半／江戸時代	高9.5×口径10.2×胴径11.6×腰径10.7×底径7.5	1			寄託 FDSO-018	
39	姥餅焼	赤楽匂入火入	19C前半／江戸時代	高10.0×口径11.1×底径10.4	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-255	
40	石部焼	染付風月居詩文四方皿	19C前半／江戸時代	高4.7×幅22.2×奥行20.0×底径10.8	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-118	石部芋つぶし 撮影＝齊藤文護
41	石部焼	鉄釉印花花卉唐草文輪花平鉢	19C前半／江戸時代	高7.5×径30.0×底径16.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-033	

42	下田焼	鉄絵染付松に月図蓋付鉢	19C-20C前半／ 明治時代-昭和時代	高10.5×口径19.3×底径9.1	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-291	
43	下田焼	鉄絵おろし器	20C前半／ 明治時代-昭和時代	高4.7×口径19.2×底径8.3／高4.7×口径19.4×底径8.0	2			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SOI-008	田楽豆腐 撮影=齊藤文護
44	下田焼	緑釉花文鉢	20C前半／ 明治時代-大正時代	高6.4×口径19.2×底径9.2／高6.6×口径19.4×底径9.3	2			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-251	下田茄子
45	下田焼（近江下田焼）	瑠璃釉湯呑	1993-1994／平成5-6	高6.7×口径8.0×底径4.8	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SCI-007	ところてん
46	八田焼	染付草花文鉢	20C前半／明治時代	高6.4×径21.5×底径10.9	3			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-218	色餅
47	八田焼	鉄絵梅花文徳利	20C前半／ 大正時代-昭和時代	高24.5×口径4.5×4.0×胴径8.5×底径8.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-231	
48	八田焼	鉄絵宝珠文片口鉢	20C前半／ 明治時代-昭和時代	高8.0×幅16.5×口径14.5×底径7.1	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-230	
49	八田焼・武藤重生（佐兵衛窯十三代）	かわらけ	1990／平成2	高2.7×口径11.3×底径5.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SCI-002	
50	水口焼・光阿	赤楽宝珠形蓋物	18C前半／江戸時代	高23.5×径20.6	2			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-253	宇川ずし 料理・盛付=宇川寿司ファミリー
51	京都屋版	東海道五十三驛名物合	1817／文化14	縦×横（パネル資料）	1			栗東歴史民俗博物館蔵	

50

85

第Ⅱ部 中山道・朝鮮人街道やきもの 彦根藩ゆかりの料理と名物を中心に

19件（50点）










No.	窯・作者名	作品名	制作代（年）	寸法（cm）	数量	作品画像	盛付画像	所蔵	料理・写真
1	小富士焼	灰釉絵帯文蓋付碗	20C前半／ 明治時代-昭和時代	高13.0×口径10.0×底径4.6	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-246	しょいめし 撮影=齊藤文護
2	小富士焼	鉄絵蘭花文皿	20C前半／ 明治時代-昭和時代	高2.9×幅19.3×奥行14.4	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-201	おあえだんご
3	小富士焼	三上山絵菓子鉢	20C前半／ 明治時代-昭和時代	高8.2×口径18.2×底径8.3	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-174	
4	小富士焼	三上山絵徳利	20C前半／ 明治時代-昭和時代	高14.3×胴径8.0×口径2.8×底径4.4	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-173	
5	小富士焼	白釉割山椒向付	20C前半／ 明治時代-昭和時代	高7.3×口径12.4	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-176	ぜいたく煮
6	小富士焼	鉄絵蟹図雲芝形手付碗	20C前半／ 明治時代-昭和時代	高5.4×幅9.0×口径9.1×底径3.7	3			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-289	
7	小富士焼	象嵌雲龍文皿	20C前半／ 明治時代-昭和時代	高2.3×径16.2×底径10.4	2			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-175	
8	民窯赤絵湖東焼・自然斎	赤絵金彩群仙図亀足重	1864／元治元	高22.0×幅21.6×奥行22.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-096	秦莊芋蓴羹寄・多賀入参捻・耐寿し 手毬寿しほか 料理・盛付=近江懐 石 清元 撮影=齊藤文護
9	民窯赤絵湖東焼・赤水	赤絵金彩唐子遊戯図煎茶碗	19C前半／江戸時代	高4.6×径6.6×底径3.8	2			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-046	
10	民窯赤絵湖東焼・賢友	赤絵金彩唐人物文手塩皿	19C前半／江戸時代	高2.2×口径10.0×底径5.7	3			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-097	海老豆・諸子の佃煮 盛付・撮影=加納亜美子
11	民窯赤絵湖東焼・床山玉児	赤絵金彩山水図鉢	19C前半／江戸時代	高7.8×径24.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-028	糸切餅
12	湖東焼・鳴鳳絵付	色絵金銀彩葵神事図鉢	19C前半／江戸時代	高9.2×口径15.5×底径7.4	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-252	
13	湖東焼	染付狸桜花図手桶形鉢	19C前半／江戸時代	高15.4×幅24.0×奥行19.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-044	耐西京漬・赤蕨松葉刺しほか 料理・盛付=近江懐石 清元 撮影=齊藤文護
14	湖東焼	色絵蝶牡丹文鉢	19C前半／江戸時代	高7.8×口径17.6×底径7.4	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-100	近江牛の味噌漬
15	湖東焼	青磁陰刻牡丹唐草文耳付花入	19C前半／江戸時代	高28.0×口径9.4×胴径16.2×底径9.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-010	
16	湖東焼	色絵雲鶴文蓋付向付	19C前半／江戸時代	高9.4（蓋なし6.1）×口径12.9×底径5.5	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-085	兵主蕪蒸し 写真提供=兵主大社 撮影=辻村耕 司
17	湖東焼	染付蓮池水禽文菱形向付	19C前半／江戸時代	高3.8×幅17.9×奥行13.3（1点）	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-068	兵主蕪柿膳 写真提供=兵主大社 撮影=辻村耕 司
18	湖東焼	染付松竹梅図重箱	19C前半／江戸時代	高28.0×幅・奥行17.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-056	鯖の棒寿司 写真提供=兵主大社 撮影=辻村耕 司
19	湖東焼	染付丸紋散鉢	19C前半／江戸時代	高6.5×口径24.9×底径14.3	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-285	伊吹そば 撮影=齊藤文護
20	湖東焼	染付花唐草文蓬露酒徳利	19C前半／江戸時代	高25.6×口径5.3×幅15.7×奥行15.3×底径10.6	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-316	
21	圓山湖東焼	染付龍文煎茶器	1869-1873／明治2-4	急須 = 高6.0×幅10.5×奥行9.7×口径5.9×胴径8.3×底径5.1／茶碗 = 高5.2×口径6.0×底径3.2	6			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-288	
22	圓山湖東焼	染付祥瑞写茶心壺	1869／明治2	高12.5×口径2.6×胴径9.6×底径6.9	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-094	
23	圓山湖東焼	染付月に梅図鉢	1869-1873／明治2-4	高7.1×幅14.8×奥行15.4×底径6.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-296	焼鯖そうめん 撮影=齊藤文護
24	圓山湖東焼・耕堂絵付	染付梅牡丹菊花文建水	1869／明治2	高8.7×口径9.0×胴径10.7×底径6.3	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-302	
25	湖東焼・山口窯	黒釉金彩松図重箱	19C後半-20C前半／ 江戸時代-大正時代	高26.1×幅15.6×奥行15.6	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-256	近江野菜の天ぷら・車海老養場ほか



25

48

第Ⅲ部 北国街道と御代参街道・信楽道のやきもの 戦国武将ゆかりの名産・料理など

14件（23点）

No.	窯・作者名	作品名	制作年代	寸法（cm）	数量	作品画像	盛付画像	所蔵	料理・写真
1	長浜湖東焼	盛絵花貝紋文盃洗	19C後半／ 江戸時代-明治時代	高8.3×口径12.8×底径6.3	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館	ゴリの佃煮 撮影=齊藤文護
2	近世信楽焼・長野窯	青蘆焼耐瓶	19C-20C／ 江戸時代-明治時代	高48.4×口径13.5×胴径32.2×底径14.4	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館	
3	近世信楽焼・勅旨窯	小杉碗	19C前半／江戸時代	高4.7×口径8.7×底径3.2	3				茶粥 料理・盛付=陶の辺料理 魚仙 撮影=齊藤文護
4	近世信楽焼・小川得斎	扇面皿	19C前半／江戸時代	高1.7×幅13.8×奥行9.0	3				田代漬 料理・盛付=陶の辺料理 魚仙 撮影=齊藤文護
5	近世信楽焼・信開山	扇面形皿	19C後半-20C前半／ 江戸時代-大正時代	高2.0×幅17.8×奥行12.9	3			個人蔵	多羅尾こんにゃく 撮影=齊藤文護
6	高井明山	伊羅保胎袖掛分入隅形皿	20C前半／ 大正時代－昭和時代	高4.2×幅14.1×奥行13.1	2			滋賀県立陶芸の森陶芸館	くるみごぼう 料理・盛付=陶の辺料理 魚仙 撮影=齊藤文護
7	近世信楽焼・石野伊兵衛	蓋付碗（朝鮮通信使賣店用什器）	19C前半／江戸時代	高5.3×口径11.9×底径4.6／高5.0×口径9.9×底径4.3	2			個人蔵	煎鳥（鴨・葱） 写真提供=近江八幡市
8	近世信楽焼・長野窯	腰白茶壺	19C前半／江戸時代	高23.3×口径8.5×胴径18.2×底径12.4	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館	

9	近世信楽焼・神山窯	山水土瓶	19C後半-20C前半／明治時代-昭和時代	高13.6（把手付20.0）×口径9.3×幅19.3×奥行15.3×底径8.3	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館	
10	友斎焼	鉛釉手付鉢	19C中頃／江戸時代	高5.5×口径14.0×底径5.5+D107:D114	1			個人蔵	日野菜漬 撮影=齊藤文護
11	友斎焼	青織部匙形鉢	19C中頃／江戸時代	高7.5×幅16.0×奥行10.0	2			個人蔵	
12	友斎焼	鉛釉手付水指	19C中頃／江戸時代	高23.2×胴径15.0×底径8.6	1			個人蔵	
13	友斎焼	赤楽茶碗	19C中頃／江戸時代	高5.5×口径14.0×底径5.5	1			個人蔵	丁稚羊羹
14	友斎焼	鉛釉つぼ型花入	19C中頃／江戸時代	高17.5×口径16.0×胴径21.0×底径10.5	1			個人蔵	

14

23

第Ⅳ部 西近江路のやきもの 湖西の伝統野菜と湖魚を活かした伝統料理と創作料理

19件（35点）



No.	窯・作者名	作品名	制作代（年）	寸法（cm）	数量	作品画像	盛付画像	所蔵	料理・写真
1	仙山焼	伊羅保釉茶碗	19C前半／江戸時代	高7.0×口径11.4×底径5.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-051	しょいめし
2	仙山焼	松竹梅建水	19C前半／江戸時代	高9.7×口径13.4×14.2×底径12.6	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-103	
3	臨湖焼	色絵白髷神社絵茶碗	19C前半／江戸時代	高7.6×幅13.7×奥行12.6×底径4.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-122	公魚（わかさぎ） 踊り揚げほか 料理・盛付=近江懐石 清元 撮影=齊藤文護
4	通庵焼	手付一重切花生	18C／江戸時代	高20.9×口径5.8×底径5.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-121	
5	唐崎焼	染付老松図共蓋芋頭水指	19C前半／江戸時代	高14.2×胴径17.0×口径11.4×底径10.2	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-117	
6	比良焼	絵芦雁文小皿	17C後半-18C前半／江戸時代	高2.1×径9.5	8			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-061	煮物（赤蒟蒻・牛蒡・南瓜・椎茸・落・男爵芋・近江牛ほか）、栃餅 盛付・撮影=加納亜美子
7	比良焼	鉄絵芦文鉢	17C後半-18C前半／江戸時代	高5.0×径13.4×13.8×底径6.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-107	菊花近江赤蕪の坂本菊稻かけ 料理・盛付=近江懐石 清元 撮影=齊藤文護
8	比良焼	鉄絵桐文茶碗	17C後半-18C前半／江戸時代	高6.2×口径11.1×底径3.7	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-093	
9	比良焼	白釉流し茶碗	17C後半-18C前半／江戸時代	高6.0×口径11.0×底径4.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-166	
10	比良焼	鉄絵芦渡船文茶碗	17C後半-18C前半／江戸時代	高6.4×口径10.9×底径4.3	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-133	
11	湖南焼・永樂保全	染付写山水文扇形向付	1851-1854／嘉永4-7	高4.6×幅29.5×奥行13.1	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-170	ビワマス焼物・近江野菜の煮物 盛付・撮影=加納亜美子
12	湖南焼・永樂保全	染付祥瑞写輪花鉢	1854／嘉永7	高7.0×口径12.0×底径5.5	5			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-168	丁子麩のからしあえ
13	湖南焼・永樂保全	染付祥瑞写茶碗	1852／嘉永5	高5.7×口径10.2×底径6.0	1			寄託 FDSO-026	
14	湖南焼・永樂保全	金襴手内染付雲鶴文鉢	1851-1854／嘉永4-7	高9.1×口径12.2×底径4.7	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-102	鰻井 盛付・撮影=加納亜美子
15	湖南焼・永樂保全	金襴手内染付雲龍文馬上杯	1852／嘉永5	高7.8×口径5.9×底径3.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-080	
16	湖南焼・永樂保全（画=狩野永岳）	呉洲倭形鉢	1851-1854／嘉永4-7	高8.5×幅15.0×奥行14.2×底径7.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-317	力餅
17	三井御濱焼・永樂保全	色絵桜花文楊枝置	1851-1854／嘉永4-7	高3.1×幅8.9×奥行6.3	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-119	
18	三井御濱焼・永樂保全	色絵桜花文徳利	1851-1854／嘉永4-7	高15.5×口径3.6・4.0×胴径7.7×底径5.5	2			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-306	
19	河濱焼・永樂保全	白釉片口鉢	1851-1854／嘉永4-7	高8.6×胴径8.6×口径8.4×底径5.3	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-079	

19

35

◎ 大阪・関西万博開催記念 特別陳列 岡本太郎の東海道五十三次

8件（13点）

No.	作者	作品・資料名	制作年代（年）	寸法（cm）・内容	数量	作品	盛付	所蔵・出典	料理・写真
1	岡本 太郎	犬の植木鉢	1954／昭和29	高39.0×幅54.0×奥行14.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 J-351	
2	岡本太郎デザイン（製作=近江化学陶器）	歩み	c.1970／昭和45年頃	高27.0×幅30.0×奥行16.0	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 CA-01	
3	岡本太郎デザイン（製作=近江化学陶器）	太陽の顔（黒い太陽）	c.1970／昭和45年頃	縦30.8×横29.2×厚6.5	1			滋賀県立陶芸の森陶芸館 CA-02	
4	岡本太郎デザイン（製作=近江化学陶器）	太陽の塔（ミニチュア）	c.1970／昭和45年頃	高40.0×幅40.0×奥行11.5	1			個人層	
5	岡本太郎	個展図録（西武百貨店・東京画廊／大阪高島屋）	1964／昭和39	縦23.5×横23.8×厚0.4	2			個人層	
6	信楽町（現・甲賀市）	火と土の秘境 信楽	1968／昭和43		1			個人層	
7	岡本 太郎	躍進（タペストリー）			1			滋賀県立陶芸の森陶芸館	
8	岡本太郎	東海道五十三次（滋賀県内分抜粋）	1979／昭和54	土山：土山宿本陣・甲南：甲賀流忍術屋敷・水口：水口から三上山を望む・栗東：栗東インターチェンジ・大津：名神高速道路大津サービスエリア展望台から琵琶湖を望む	5			『岡本太郎著作集 第4巻 日本の伝統』講談社	写真提供=小川亭

8

13

特別企画展シリーズ・やきもの×グルメⅡー近江の古陶磁を味わう…湖国の料理とともに
令和7年3月15日(土)～令和7年3月30日(日) 14日間

■【アンケート集計結果】

入館者数	692 人		
回答者数	20人		
回 答 率	2.9%		
住 所	北海道・東北	0人	0%
	関東・甲信越	0人	0%
	首都圏	2人	11%
	北陸	0人	0%
	東海	5人	28%
	滋賀県	11人	61%
	京阪神	0人	0%
	奈良・和歌山	0人	0%
	中国	0人	0%
	四国	0人	0%
	九州・沖縄	0人	0%
	無回答	0人	0%
展覧会評価	大変満足	12人	60%
	満足	3人	15%
	普通	2人	10%
	やや不満	0人	0%
	不満	0人	0%
	無回答	3人	15%
再来館したいと 思いますか	思う	18人	90%
	思わない	0人	0%
	無回答	2人	10%
信楽に来た目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	10人	40%
	イベント(陶芸の森・町内)	0人	0%
	陶芸体験	2人	8%
	陶器の購入	0人	0%
	小旅行(ドライブ・ランチ)	7人	28%
	MIHO MUSEUM	2人	8%
	学校行事	0人	0%
	その他	3人	12%
	無回答	1人	4%

陶芸館ギャラリー企画

「ヨーロッパの風 結城美栄子」展

■趣 旨

結城美栄子は、1984年頃より本格的に陶芸を始めます。1960年代から活躍するテレビやドラマ、映画を中心に数多くの作品に出演し俳優業と並行して、作品制作を進めてきました。

弾けるような笑顔や語りかけてくるような子どもたちなど、生き生きとした人物や動物の優しい表情に仕上げる技は、人間を見つめ演じ続けてきた結城美栄子ならではの陶芸の魅力であるといえるでしょう。

結城は、父の仕事で6歳から16歳までスウェーデンやイギリス、トルコ、スリランカなど海外で過ごし、13歳からイギリスのロイヤル・バレエ団に入団し寄宿舎生活を送ります。少女時代からヨーロッパなど海外で学んだこれらの経験は、陶芸作品を通して個性豊かな世界観を映し出しているのかもしれません。

本展は、2002年より信楽大小屋のギャラリーRAVENで展示されてきた作品から、動物や人物を制作するリサ・ラーソン展に合わせて、躍動感溢あふれる結城美栄子の陶芸を紹介しました。

■会 期 4月6日（土）－4月21日（日） 14日間

※休館日 月曜日

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■協 力 大小屋

■出品点数 陶芸作品 19点、ドローイング 2点

■観 覧 料 無料

■入場者数 7,328人（523人／日）





■掲載記事

あいコムこうか

■作品リスト （別紙）



結城美栄子展出品作品一覧

No.	作品名		サイズ(cm)	制作年	画 像	所 蔵
			H=高さ、L=縦・長さ、W=幅、D=奥行、T=厚み、φ=直径			
1	花パーティー	Flower Party	D8×W14.5×H25	2010年		株式会社大小屋
2	タイガー 2 (黒)	Tiger 2	D18×W15×H11.5	2000年		株式会社大小屋
3	タイガー 2 (金茶)	Tiger 2	D19×W14×H12	2000年		株式会社大小屋
4	きれいでしょ	Hair Ornament	D12×W16×H27	2010年		株式会社大小屋
5	兎と私	Rabit and me	D22×W13.5×H26.5	2010年		株式会社大小屋
6	青猫	Blue Cat	D29×W22×H28	2010年		株式会社大小屋
7	ぼくの宝物	My Treasure	D20×W21×H34	2010年		株式会社大小屋
8	うさぎの耳	Rabbit ears	D17×W28×H24	2010年		株式会社大小屋
9	火の子	Fire kids	D17×W31×H12	2010年		株式会社大小屋
10	火の子	Fire kids	D20×W18×H26	2010年		株式会社大小屋
11	ヒョウ箱	Panther 's Box	φ17×H9	2000年		株式会社大小屋
12	私の小箱たち (ピエロ)	My Treasure	φ13×H20	2000年		株式会社大小屋
13	私の小箱たち (ピエロ)	My Smal Box	φ16×H23	2000年		株式会社大小屋
14	エンジェルショートヘア	Angel short Hair	D22×W21×H55	2000年		株式会社大小屋
15	バードエンジェル	Bird Angel	D×W×H	2000年		株式会社大小屋
16	火の精	Fire spirit	D28×W34×H28	2000年		株式会社大小屋
17	兎顔	Rabit Face	D23×W16×H15	2010年		株式会社大小屋
18	結城 美栄子 写真パネル					写真提供：株式会社大小屋

コレクション展 Part2 「華開く近代京都の陶芸―富本憲吉と河井寛次郎」展

■趣 旨

近代の窯業・工芸界は、明治政府による文化・経済の近代化が急速に進むなか、機械化による大量生産の普及に伴い、手仕事の地方文化が衰えていました。また、人道主義・個性尊重という時代思潮を背後に、「個人」作家が台頭する一方、東洋と西洋の再定義や美術と工芸などを取り巻く様々な思想・理論が芽生えた時代でした。

1924年に京都において民藝の重要メンバー、柳宗悦・河井寛次郎・濱田庄司の出会いと交流が始まります。彼らは無名の工人・民衆が手がけた日常のものに宿る美を「民衆的工藝」として評価し、「民藝」という思想を生み出しました。そして国内各地の民藝品の調査・収集する同時に、その美しさを広めるため、1926年に柳宗悦・河井寛次郎・濱田庄司、富本憲吉が連名で「日本民藝美術館設立趣意書」を発表しました。しかし、両者は民藝運動を展開していくなかで、個人作家としての「創作」に対する価値観の違いから袂を分かちます。そして、それぞれ独自の作風を確立し、近代陶芸の巨匠として大きな足跡を残しました。

本展は、近年当館に寄贈された逸品の中から、多様な陶芸表現が広がった日本の近代陶芸を、2パートに分けて紹介する企画です。パート2として、近代において非常に重要な人物で、信楽とも関係の深い河井寛次郎と富本憲吉の作品を通じて、華開いた近代を見つめ直しました。

■会 期 4月27日（土）―5月26日（日）26日間

※休館日 月曜日

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■出品点数 24件（富本憲吉10件、河井寛次郎11件、
資料2件）＊別添リストに記載

■観 覧 料 無料

■入場者数 19,699人（757.6人／日）

■掲載記事 あいこむこうか

■作品リスト（別紙）



陶芸館ギャラリー企画 コレクション展Part2
「華開く近代京都の陶芸―河井寛次郎と富本憲吉」展 出品リスト

2024年4月27日(土)～5月26日(日)

※所蔵はすべて滋賀県立陶芸の森陶芸館

	作者(窯・産地)名	作者等英名	作品名	作品英名	材料	銘／その他	制作年	サイズ(cm)	収蔵年度
1	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	呉須辰砂香合	Incense Cases, Pattern of <i>Shippo</i> , Cobalt Blue and Copper Red.	陶土	砂目跡あり	c.1930／昭和5年	高3.1×径4.2・3.7×底3.7・3.3	令和5年度 寄贈作品
2	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	呉須辰砂笹絵碗	Bowls, Pattern of Bamboo Grass, Cobalt Blue and Copper Red.	陶土	6客のうち、1客の底にラベル貼付「二八六」／共箱箱書「笹絵碗 河井寛」	1930s／昭和前期	1客:高6.3×口径9.9×底径5.0	令和5年度 寄贈作品
3	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	白地草花図壺	White Jar, Pattern of Grass and Flowers, Iron Brown and Cobalt Blue.	陶土	砂目跡あり	c.1932／昭和7年頃	高20.0×口径13.6×胴径19.8×底径9.2	令和5年度 寄贈作品
4	河井 寛次郎	KAWAI, Kanjiro	呉須筒描扁壺	Flat Jar, Slip Trailed Cobalt blue.	陶土	共箱箱書「扁壺 河井寛」、砂目跡あり	c.1934／昭和9年頃	高22.6×口5.3・6.0×幅17.0×奥行11.4×底9.3・9.3	令和5年度 寄贈作品
5	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	白地草花文壺	White Jar, Pattern of Grass and Flowers, Cobalt Blue and Copper Red.	陶土	砂目跡あり	c.1937／昭和7年頃	高16.0×口3.0・2.8×胴8.7・8.0×底5.4・5.0	令和5年度 寄贈作品
6	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	鉄絵草花文蓋物	Lidded Cases, Pattern of Grass and Flowers, Copper Red and Iron Brown.	陶土	砂目跡あり	c.1937／昭和12年頃	高7.3×幅11.0×奥行7.3	令和5年度 寄贈作品
7	河井 寛次郎	KAWAI, Kanjiro	白地草花図扁壺	White Flat Jar, Pattern of Grass and Flowers, Cobalt Blue and Copper Red.	陶土	共箱蓋裏「扁壺／草花圖／寛／朱印」	c.1939／昭和14年頃	高22.3×幅15.6×奥行11.2(×口7.6・6.5×底11.2・8.1)	令和4年度 寄贈作品
8	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	青葉抜蠟菱花扁壺	Flat Jar, Pattern of Water Caltrop, Bluish Green.	陶土	証紙貼付「日本陶磁器工業組合聯合會／2／合格」	1941―1944／昭和16―19	高19.9×口8.8・7.4×幅26.5×奥行11.8×底15.4・6.4	令和3年度／ 信楽窯業技術試験場より移管
9	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	呉須辰砂菱花蓋物	Casket, Pattern of Water Caltrop, Cobalt Blue and Copper Red.	陶土		1941―1944／昭和16―19	高9.8×口10.9・12.1×幅・奥行12.2・13.4×底7.1・7.6	令和3年度／ 信楽窯業技術試験場より移管
10	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	辰砂蓋物	Lidded Cases, Pattern of Water Caltrop, Copper Red.	陶土		1941―1944／昭和16―19	高10.0×幅12.5×奥行12.5×底8.8	令和4年度／ 信楽窯業技術試験場より移管
11	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	白地草花文隅切鉢	White Octagonal Bowl, Pattern of Grass and Flowers, Cobalt Blue and Copper Red.	陶土		1941―1944／昭和16―19	高7.6×幅20.3×奥行20.0×底17.4・17.6	令和3年度／ 信楽窯業技術試験場より移管
12	富本 憲吉	TOMIMOTO, kenkichi	鉄描銅彩野葡萄文壺	Jar, Pattern of Wild Grapevine, Iron Brown and Copper Green.	陶土	鉄絵銘「富」「信楽にて」	1929／昭和4年	高20.8×口径8.0×胴径17.4×底径10.0	令和3年度 寄贈作品
13	富本 憲吉	TOMIMOTO, kenkichi	土焼鉄描銅彩大和風景大皿	Large Plate, Pattern of Landscape of YAMATO, Iron Brown and Copper Green.	陶土／釉上彩	鉄釉銘「信楽にて」	1929／昭和4年	高7.3×径46.5	平成8年度 購入作品
14	富本 憲吉	TOMIMOTO, kenkichi	色絵丸紋玉露碗	Tea Cups, Characters for Circle and Thistle, Overglaze Enamels.	磁土	染付銘「富」	1943／昭和18年	1客(高4.2×径6.0)	平成13年度 購入作品
15	富本 憲吉	TOMIMOTO, kenkichi	鉄描銅彩竹林月夜文皿	Large Plate, Pattern of Bamboo Thickets Under The Moon, Iron Brown and Copper Green.	陶土	鉄絵銘「富」 側面「竹林月夜」高台「信楽にて」	1950／昭和26	高6.8×口径30.4×底径16.5	令和3年度 寄贈作品
16	富本 憲吉	TOMIMOTO, kenkichi	鉄絵「風花雪月」字皿	Palte, Pattern of characters for "Wind, Flower, Snow, Moon", Iron Brown and copper Green.	陶土	鉄絵銘「富」	1951／昭和26	高4.9×口径22.2×底径17.2	令和3年度 寄贈作品
17	富本 憲吉	TOMIMOTO, kenkichi	鉄絵「花」字皿	Three Plates, Pattern of characters for "Flower", Iron Brown and copper Green.	陶土	鉄絵銘「富」	1951／昭和26	高2.0×口径14.8×底径7.9	令和3年度 寄贈作品

	作者(窯・産地)名	作者等英名	作品名	作品英名	材料	銘／その他	制作年	サイズ(cm)	収蔵年度
18	富本 憲吉	TOMIMOTO, kenkichi	赤絵染付「花」字皿	Three Plates, Pattern of characters for "Flower", Overglazed Enamels.	磁土	染付銘「富」	1956／昭和31	高2.3×口径15.2×底径6.7	令和3年度 寄贈作品
19	富本 憲吉(デザイン)	TOMIMOTO, kenkichi (design)	色絵「花」字文角花瓶	Square Bottle, Pattern of character for "Flower", Overglaze Enamels.	磁土	染付銘「富泉」	1960s後半 (デザイン c.1957)	高19.8×口径3.6×肩径7.8×胴径8.0×底径6.1	令和4年度 寄贈作品
20	富本 憲吉(デザイン)	TOMIMOTO, kenkichi (design)	色絵染付角盒・陶管・蓋物	Three Lidded Cases, Pattern of "four-petaled flowers, five-petaled flowers, Sarasatic Lozenges ", Overglaze Enamels.	磁土	染付銘「富泉」	1960s後半 (デザイン c.1957)	角盒=高8.4×幅13.9×奥行10.3×底径10.8・7.3、陶管=高8.0×口径6.0×胴径9.0×底径5.0、蓋物=高13.2×口径7.1×幅・奥行9.3×底径8.1	令和4年度 寄贈作品
21	富本 憲吉(デザイン)	TOMIMOTO, kenkichi (design)	色絵竹文番茶器	Coarse tea container, Pattern of Bamboos, Overglaze Enamels.	磁土	染付銘「富泉」	1960s後半 (デザイン c.1957)	急須=高(本体)9.8×口径8.7×幅15.8×奥行13.8×底径7.6、茶碗=高5.5×口径8.9×底径4.5	令和4年度 寄贈作品
資料1	書「風花雪月」		写真パネルで展示	Letter, "Wind, Flower, Snow, Moon", hanging Scroll.		墨書「千九百五十一年三月／信楽にて／憲吉／朱印(憲)」	1951／昭和26	縦50.7×横56.0(軸装141.0×64.9)	令和3年度 寄贈作品
資料2	指導資料綴 (昭和16年9月28日以降河井寛次郎氏・濱田庄司氏)		写真パネルで展示	Spelling instruction file			c.1941／昭和16年		

※作品番号は会場での展示順とは一致していません。

「世界をみつめてーシンクロする信楽の感性」 “変貌する現代の陶表現”

※甲賀市市制施行 20 周年 甲賀市・滋賀県立陶芸の森連携企画展（甲賀市委託事業）

■趣 旨

中世古窯の系譜に連なる陶産地・信楽。この地では大物造りに適した陶土の特性や、京都・大阪という大消費地に隣接する立地条件を活かして、多種多彩なやきものが焼造されてきました。中世から近世初頭の侘茶の流行とともに和物道具として見出され、近代には昭和の古典復興や民藝運動のなかで、愛好家をはじめ多くの人々の注目を集めています。

そうした信楽の歴史や伝統は、この地を拠点に創作活動を展開している現代の陶芸家にも受け継がれています。彼らは産地のやきもの文化を独自の造形思考で読み解きながら、個性豊かな作品制作を繰り返しています。そして国際化や情報化とともに現代アートとの接点が広がりを見せるなかで、いま彼らの活動は大きな転換期を迎えようとしています。

信楽の陶芸家はこうした動向に、いかに向き合い自身の表現を探究しているのでしょうか。本企画では現代の多様性という視点から、独自の表現を探究している 40 歳代から 60 歳

の陶芸家の取り組みを紹介。変貌しつつある信楽の一側面をご覧ください。

■内 容 下記のテーマから信楽在住の陶芸家 10 人の作品 23 件を展示紹介

- (1) 土と炎の探求 荒川智、小牧鉄平、迫能弘、篠原希、谷穹
- (2) 空間とイメージ 青木拳、上田勇児、小松純、津守愛香、玄尚哲

■会 期

- (1) 令和 6 年(2024 年)6 月 15 日(土)～7 月 15 日(月祝) 27 日間

〔会場〕滋賀県立陶芸の森 陶芸館ギャラリー 毎週月曜日休館

- (2) 令和 6 年(2024 年)7 月 20 日(土)～8 月 12 日(月振) 21 日間

〔会場〕甲賀市信楽伝統産業会館(企画展示室) 毎週木曜日休館

■主 催 甲賀市 〔企画協力〕滋賀県立陶芸の森

■観覧料 無料(2 会場とも)

■入場者数 5,363 人(111 人／日)

- (1) 滋賀県立陶芸の森 陶芸館ギャラリー 2,860 人(106 人／日)
- (2) 甲賀市信楽伝統産業会館 2,503 人(119 人／日)

■団体案内

- 6 月 28 日(金) 県立学校湖南 B 地区初任者研修・31 人
- 7 月 5 日(金) 高島市マキノ町公民館陶芸教室・12 人
- 7 月 9 日(火) 信楽窯業技術試験場研修生ほか・14 人
- 7 月 31 日(水) 甲賀市指定無形文化財認定検討委員会・10 人
- 8 月 7 日(水) 甲賀市教育委員会委員協議会・15 人

■リーフレット(ポスター・チラシ兼用)

- (1) サイズ A2(縦位置・両面印刷)・4つ折り(仕上がりサイズA4)
 (2) 内 容 あいさつ・作者ポートレート・カラー作品画像
 作者略歴・作品解説(編集・執筆:滋賀県立陶芸の森専門学芸員鈎真一)

■紹介番組・掲載記事

- (1) 専門誌・雑誌・フリーペーパー

7月 滋賀県広報課 滋賀プラスワン Vol.208「県立施設イベントスケジュール」
 8月 甲賀市 広報こうか「8月開催の市制施行20周年記念事業」[No.395]

- (2) インターネット 抜粋

陶芸の森公式 WEB サイト／陶芸の森公式 Instagram・Facebook(6/15・7/9・7/10・7/11・7/12・7/13・7/19・7/20)／旅する、千年、六古窯「お知らせ」／全国文化財総覧「全国文化財イベントナビ」／ceramiclabo「展覧会・甲賀市市制施行20周年記念」／TOKYO ART BEAT「展覧会・イベント」



・リーフレット兼チラシ



陶芸館ギャラリー会場



甲賀市信楽伝統産業会館会場

(1) 土と炎の探求 荒川智、小牧鉄平、迫能弘、篠原希、谷穹

12件 (17点)

No.	作者名	作品名	制作年	数量	寸法 (cm)	出品会場	作品画像
1	荒川 智	信楽緑釉しのぎ器	2016	1	高26.0×口径50.6×底径10.0	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
2	荒川 智	焼ペ窯変しのぎ扁壺	2021	1	高40.0×幅57.5×奥行11.8	甲賀市信楽伝統産業会館	
3	小牧鉄平	炭化彩色鉢	2023	1	高10.1×径34.0	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
4	小牧鉄平	穴窯線文手付壺	2019	1	高18.8×口径5.3×幅11.8×奥行11.3×底径4.9	甲賀市信楽伝統産業会館	
5	小牧鉄平	炭化彩色香炉	2023	1	高11.8×径11.7	甲賀市信楽伝統産業会館	
6	迫 能弘	炭化たたき壺	2020	1	高27.7×口径13.8×胴径28.4×底径11.0	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
7	迫 能弘	非皿	2020	2	四角=高3.0×横28.0×奥行28.0/丸=高5.5×径29.0	甲賀市信楽伝統産業会館	
8	篠原 希	シノギ茶碗	2023	2	高9.5×径13.0/高10.0×径13.0	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
9	篠原 希	カタマリ	2011	3	高8.0×幅8.0×奥行8.0/高8.0×幅10.5×奥行8.0/ 高7.5×幅7.5×奥行7.5	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
10	篠原 希	シノギ花入	2023	2	高31.0×幅18.0×奥行10.5/高29.0×幅18.0×奥行11.0	甲賀市信楽伝統産業会館	
11	谷 穹	信楽 壺	2023	1	高52.0×胴径46.5	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
12	谷 穹	琵琶	2023	1	高27.0×幅80.0×奥行36.2	甲賀市信楽伝統産業会館	

12

17

(2) 空間とイメージ 青木拳、上田勇児、小松純、津守愛香、玄尚哲

11件 (63点)

No.	作者名	作品名	制作年	数量	寸法 (cm)	出品会場	作品画像
1	青木 拳	layer	2021	53	インスタレーション (1ピース=高1.5×幅3.2×奥行2.1)	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
2	青木 拳	在ルコト	2015	1	高40.0×幅64.0×奥行55.0	甲賀市信楽伝統産業会館	
3	上田勇児	無題	2024	1	高29.0×幅45.0×奥行33.5	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
4	上田勇児	無題	2022	1	高62.0×径85.0	甲賀市信楽伝統産業会館	
5	小松 純	NONFC.,2022 (無題)	2022	1	高72.5×幅54.2×奥行67.4/ドローイング縦30.0×横21.0×48 枚/ドローイングパネル=縦200.0×横100.0×2枚	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
6	小松 純	NONFC.,2023 (空を…)	2023	1	高57.0×幅33.0×奥行24.0/ドローイング縦30.0×横21.0×48 枚/ドローイングパネル=縦200.0×横100.0×1枚	甲賀市信楽伝統産業会館	
7	津守 愛香	うさぎの目	2024	1	高36.3×幅22.5×奥行28.0	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
8	津守 愛香	CAT	2024	1	高22.5×幅22.0×奥行23.3	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
9	津守 愛香	こどもの絵のやきもの マーメイドのえまねきちゃん	2024	1	マーメイド=高44.0×幅32.5×奥行32.0/ 魚=高28.3×幅15.5×奥行8.0cm	甲賀市信楽伝統産業会館	
10	玄 尚哲	Soliloquy-独白 (粒子と波動の二重性)	2024	1	高60.0×幅60.0×奥行30.0	滋賀県立陶芸の森・ 甲賀市信楽伝統産業会館	
11	玄 尚哲	Soliloquy-独白 (粒子と波動の二重性)	2022	1	高110.0×幅100.0×奥行100.0	甲賀市信楽伝統産業会館	

11

63

夏休み企画

「子どもたちの土の造形 - 本物との出会いから」展

■趣 旨

本年度は、陶芸館ギャラリーにて夏休み特別企画「子どもたちの土の造形 2024」展を開催。

1学期に実施したつつっこプログラムの来園制作や出張授業において生き生きと創作した子どもたちの作品や、活動のようすを紹介する制作風景を写真パネルで展示、創造性豊かな子どもたちの作品をとおして、やきものの素晴らしさを紹介しました。

甲賀市立雲井小学校は全校児童のうち5学年が来園制作を活用しています。6年生では大塚オーミ陶業株式会社による特別出張授業を実施。こちらの企業で製作された高精細複製国宝火焰型土器を実際に持ち上げ、その重量と質感を体感させていただく授業を経て、陶芸の森で令和土器を制作します。

文様の持つ意味などを工夫しながら思い思いに工夫を凝らした令和土器の他にも、土面やたぬき、シーサーなど、各学年の作品と合わせて全点が並びました。

また、令和6年度から講座内で随時上映している、信楽焼の歴史紹介動画「発見！信楽焼ってすごい」を活用した授業のようすを動画で紹介しました。

ギャラリートークでは、信楽と深いかわりのある岡本太郎氏の陶芸手びねり作品や大阪万博建造物、太陽の塔の「黒い太陽」の制作にたずさわっていた信楽三楽窯 15 代目奥田博士氏に貴重なパネル画像と共に岡本太郎氏に関わるお話をいただきました。



奥田博士氏によるギャラリートーク

- 会 期 7月20日(土)－9月1日(日)(38日間)
- 主 催 滋賀県立陶芸の森/世界にひとつの宝物づくり実行委員会
- 出品点数 小学校作 65点・写真パネル
- 観 覧 料 無料
- 入場者数 6,409人(168.6人／日)



甲賀市立雲井小学校6年生 令和土器



地域で創る土曜日夢の学習 ランタン



陶芸館ギャラリー入口
デジタル案内看板

「森で生まれた東南アジアの美」展

■趣 旨

特別展「躍動するアジア陶磁」の開催に併せて、併設展示として「森で生まれた東南アジアの美」と題した展覧会を開催した。「森で生まれた」というと、東南アジアの熱帯雨林を想像するかもしれないが、「滋賀県立陶芸の森」の“森”を指しています。とりわけ、当館を特色づける作家滞在型の制作プログラム「アーティスト・イン・レジデンス（以下、レジデンス）」事業で生まれた作品を通して、東南アジア出身の現代作家に焦点を当てました。

本展は、東南アジア出身で当館レジデンス作家 6 カ国の 10 名の作品を一堂に展示し、諸国の歴史と伝統を踏まえ、それぞれがどのような表現をしているのか、また信楽での創作活動がどのようなものだったのかを紹介しました。また、特別展では含まれてなかった、東南アジア・島嶼部のインドネシア、シンガポールの作家も紹介することで、日本ではあまり知られてない当地域の現在のアートシーンに触れる機会となりました。



- 会 期 9月14日（土）－12月8日（日）74日間 ※休館日 月曜日
- 主 催 滋賀県立陶芸の森
- 出品国家 カンボジア、タイ、ラオス、ミャンマー、インドネシア、シンガポール
- 出品点数 12点＊別添リストに記載
- 観 覧 料 無料
- 入場者数 15,885人（214.6人／日）
- 掲載記事 10月11日（金）「森で生まれた東南アジアの美展」あいこむこうか（地域放送）
11月27日（水）「推し美ジュ/botanical woman」あいこむこうか（地域放送）
12月5日（木）「推し美ジュ/Lamp」 あいこむこうか（地域放送）

■作品リスト （別紙）



陶芸館ギャラリー企画展「森で生まれた東南アジアの美」 出品リスト

The Southeast Asia Contemporary Arts Born From the Artist in Residence at SCCP

2024.9/14-12/18 滋賀県立陶芸の森 陶芸館ギャラリー

No.	国籍	country	作家名	Artist	作品名	Work name	制作年	サイズ(cm)	技法
1	シンガポール	Republic of Singapore	黄方玲	Wee Hong Ling	ともだち	Frinds	2007 (平成19)	H 42.0×W 31.4×D 20.0 H 45.4×W 35.0×D 26.0	陶土／轆轤
2	カンボジア	Cambodia	ウム・バンヌアン	Em Vannoeun	ランプ	Lamp	2008 (平成20)	H 29.5×W 22.6×D 14.8	陶土／轆轤・透かし彫り
3	ラオス	Laos	スバン トー・カン ピサイ	Souvantho Khamphixay	ラオスの龍	Lao Dragon	2008 (平成20)	H 96.5×D 50.5×W 37.2	陶土／手びねり
4	ミャンマー	Myanmar	ソーユー ヌウェ	Nwe Soe Yu	botanical woman	botanical woman	2024(令和6)	H 67.0×D 65.0×W 70.0	陶土／手びねり
5	インドネシア	Republic of Indonesia	アルベル ト・ヨナ タン・ス ティア アワン	Albert Yonathan Setyawan	人と梟	man and owl	2009 (平成21)	人：H 124.6 W37.8 D 21.4 総高133 梟：H60.3×29.4×25.8 総高101	陶土／手びねり
6	タイ	Thailand	クリチャ ナン・シ ーラキ ット	Kritchnun Srirakit	無題	Untitled	2009 (平成21)	左：H25.6 11.8×19.0中央：H25.6 最大径22.8D18.6 四方部分幅4.9黒い顔部分が左向き右：H25.0 11.8×18.8	陶土／型おこし
7	インドネシア	Republic of Indonesia	ヌルディ アン・イ ッサン	Nurdian Ichsan	無題	Untitled	2008 (平成20)	壁：H 36.5×W 91.0×D 10.5 人：H 22.5×W 10.3×D 18.2	陶土／手びねり
8	インドネシア	Republic of Indonesia	エンダン ・レス タリ	Endang Lestri	エレクトラ ロジー：私 と私をめぐ る「赤」	Electralogy : I and Those in 'Red '	2011 (平成23)	①赤 H50.8 W19.2 D14②白 H53.7 W17.8 D12③黒 H51.2 W11.4D14.0④黒左 H14.5 W10D11.4⑤黒右 H26.3 W10.5D10.0	陶土／手びねり・型
9	タイ	Thailand	アー・ソ ティップ ラーパ	Aor Sutthiprapha	INTERNAL DIALOG(Group)	INTERNAL DIALOG(Group)	2019 (令和元)	黄：H 18.0×φ24.0 赤：H 14.0×φ19.0 白：H 16.0×φ24.0	陶土／手びねり・掻き落とし
10	タイ	Thailand	アー・ソ ティップ ラーパ	Aor Sutthiprapha	ORIGINS	ORIGINS	2023 (令和5)	H 35.0×W 43.0×D 39.0	陶土／手びねり・掻き落とし
11	タイ	Thailand	アー・ソ ティップ ラーパ	Aor Sutthiprapha	BREATH WITH ME, I AM INSIDE YOU	BREATH WITH ME, I AM INSIDE YOU	2023 (令和5)	H 80.0×φ65.0	陶土／手びねり
12	シンガポール	Republic of Singapore	張蕙敏	Teo Huey Min	Abide	Abide	2017 (平成29)	W 21×H 66×D 3	陶土・磁土／型・鋳込み

※作品番号は会場での展示順とは一致していません。

アーティスト・イン・レジデンス企画展「李承熙：似是而非 Subtle difference」

■趣 旨

李承熙（イ・スンヒ Lee Seung-hee/1958-）は、絵画と陶芸/平面と立体の横断的な表現で「陶磁絵画・平面陶磁」といった新たな陶芸の道を切り開いた作家として、韓国国内より先に海外で注目されました。2006年に景德鎮で泥漿の反復作業を手掛け始めた「Clayzen シリーズ」、10年後平面陶磁の表現が確立し、より自身の信念を込めて名付けた「Tao シリーズ」、また立体造形の竹シリーズなど伝統的な要素を活かしながら「土の可能性」について常に研究し、独創的な作品を手掛けています。

本展は、2022年にゲスト・アーティストとして滞在制作を行った作品を中心に、信楽をはじめ、中国と韓国で展開した、新たなシリーズを一堂に紹介します。本シリーズは、シンプルな顔のような形をしています。信楽（日本）・清州（韓国）・景德鎮（中国）というそれぞれの地域の様々な素材の特性を活かした記録的な性格として展開しました。同展を通じて一見して同じにみえても、細かく見ると3カ国の土、釉薬、焼成によってそれぞれの特徴が異なる「似て非なるもの」の魅力に迫りました。

■会 期 3月15日（土）－3月30日（日）14日間 （次年度に続く）※休館日 月曜日

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■出品点数 約130点/日本（信楽）・清州（韓国）・景德鎮（中国）で制作した作品＊別添リストに記載

■観 覧 料 無料

■入場者数 1,824人（130.2人／日）

■作品リスト （別紙）





List of Works / 作品情報



G. Tao Jingdezhen_5
H. Tao Jingdezhen_6
I. Tao Jingdezhen_7
J. Tao Shigaraki_113

1. Tao Cheongju_1
2. Tao Shigaraki_56
3. Tao Shigaraki_3
4. Tao Shigaraki_2
5. Tao Shigaraki_1
6. Tao Shigaraki_59
7. Tao Shigaraki_49
8. Tao Shigaraki_65
9. Tao Shigaraki_74
10. Tao Jingdezhen_4
11. Tao Shigaraki_89
12. Tao Shigaraki_77
13. Tao Shigaraki_82
14. Tao Shigaraki_70

15. Tao Shigaraki_66
16. Tao Shigaraki_85
17. Tao Cheongju_2
18. Tao Shigaraki_46
19. Tao Shigaraki_47
20. Tao Shigaraki_45
21. Tao Shigaraki_51
22. Tao Jingdezhen_2
23. Tao Shigaraki_52
24. Tao Cheongju_4
25. Tao Shigaraki_61
26. Tao Shigaraki_54
27. Tao Shigaraki_72
28. Tao Shigaraki_84

29. Tao Shigaraki_80
30. Tao Cheongju_3
31. Tao Shigaraki_86
32. Tao Shigaraki_67
33. Tao Shigaraki_53
34. Tao Jingdezhen_1
35. Tao Shigaraki_78
36. Tao Shigaraki_79
37. Tao Shigaraki_55
38. Tao Shigaraki_81
39. Tao Shigaraki_64
40. Tao Shigaraki_29
41. Tao Shigaraki_48
42. Tao Shigaraki_69

43. Tao Shigaraki_60
44. Tao Shigaraki_71
45. Tao Shigaraki_62
46. Tao Shigaraki_50
47. Tao Shigaraki_76
48. Tao Shigaraki_83
49. Tao Shigaraki_75
50. Tao Jingdezhen_3
51. Tao Shigaraki_58
52. Tao Shigaraki_68
53. Tao Shigaraki_87
54. Tao Shigaraki_73
55. Tao Shigaraki_57
56. Tao Shigaraki_88

A. Tao Shigaraki_21
B. Tao Shigaraki_92
C. Tao Shigaraki_95
D. Tao Shigaraki_90
E. Tao Shigaraki_102
F. Tao Shigaraki_101

※全て2022年制作 / All Made in 2022.
※No.3,4,9 は、滋賀県立陶芸の森
陶芸館蔵。その以外は、全て個人蔵。



陶芸館ギャラリーの横
の中庭にも展示
「インスタレーショ
ン」2022年、信楽にて
制作、作家蔵

李 承熙 이승희 Lee Seung-hee

私は韓国人であり、中国にアトリエを持ちながら、日本でも活動しています。
もし韓国だけで暮らしていたならば、国のイデオロギーに忠実に生きていたことでしょう。
しかし今では、文化や芸術に国境はないと深く感じています。
時には発掘者のように、また時には収集者のように生きながら、人と人が出会い、歴史の中で相互に
影響し合ってきた文化を感じ取り、関わっています。これら無数の出会いや出来事が、私の個人的な
好奇心や嗜好に支えられ、新たな夢を生み出し、その夢の断片が作品の一部となっています。
信楽という場所もまた私の夢の断片であり、新しい風景を見せてくれる窓でもあります。

信楽での展示を考えながら、2024年12月19日

난 한국 사람이고 중국에 작업실이 있으며 일본에서도 활동을 하고 있다.
만일 내가 한국에서만 살았다면 국가적인 이념에 충실하게 살았을 것이다.
그러나 지금의 나는 문화와 예술에는 국경이 없다는 것을 스스로 느낀다. 사람과 사람이 만나고 긴 역사
속에서 서로 영향을 주고 받는 문화를 감지하며 발굴자처럼 때론 채집자처럼 산다. 그 많은 사건들은
나라는 개인적인 취향과 호기심으로 또 다른 꿈을 꾸며 그 꿈의 조각들도 작업을 하고 있다.
시가라키라는 곳 또한 나의 꿈의 한 조각이며 새로운 풍경을 보여주는 창문이기도 하다.

시가라키 전시를 생각하며... 2024. 12. 19

I am Korean, have a studio in China, and also work in Japan. If I had only lived in Korea, I would have
lived faithfully according to the country's ideologies. However, I now deeply feel that culture and art
have no borders.
Living like an excavator at times, or a gatherer at others, I sense and engage with cultures influenced
by people meeting and exchanging ideas throughout history. these countless encounters and events,
fueled by my personal tastes and curiosity, inspire me to dream new dreams, and fragments of those
dreams become part of my work.
Shigaraki is also one fragment of my dream and serves as a window to new landscapes.

Reflecting on the Shigaraki exhibition,
Lee seung-hee December 19, 2024.

略歴 Biography






清州大学校工芸専攻卒業/Bachelor of art, majored in craft, Cheongju University
2024 「Rituals of Repetition: Portals to Eternity」CAFA Museum (中国・北京/China・Beijing)
2024 「The Age of Human Wisdom」the 3th Jinan International Biennale(中国・済南/china・jinan)
2024 「Resonant Whites」Camao cheonan Musuem (韓国・天安/Korea・cheonan)
2023 「Bamboo's Odyssey: The Quest for Consilience」
Taoxichuan Art Museum (中国・景德镇/China・Jingdezhen)
「Lee Seunghee Solo Exhibition」Park Ryusook Gallery (韓国・済州/Korea・Jeju)
2022 「Static×Motion: Tracing the Spirit of Korea/静中動:韓国のスピリットをたどるー
開かれた陶のアート」滋賀県立陶芸の森/SCCP (日本・信楽/ Japan・Shigaraki)
2020 「李承熙:2020TAO」Clayarch Gimhae Museum (韓国/Korea)
2019 「TAO:KYOTO」Museum Rityô/李朝 (日本/Japan)
「Transfiguration」Waterfall Mansion&Gallery (America/アメリカ)
2018 「Infinite Grace」Waterfall Mansion&Gallery (America/アメリカ)
2017 「Contemporary Korean Cramics」V&A Museum/ヴィクトリア&
アルバート美術館 (ロンドン・英国/Lodon・UK)
2015 「物外物」フォースギャラリー (中国・北京)
2015 「韓国工芸の法古創新」ミラノトリエンナーレデザインミュージアム(イタリア・ミラノ)
その他、多数。













作家インスタ
@clay_zen











アーティスト・イン・レジデンス企画展「李承熙:似是而非 Subtle difference」出品リスト









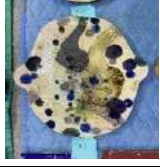

滋賀県立陶芸の森 2024.3.15-5.11





No.	作家名/Artist	作品名/Title	サイズ/Size(cm) 高さ(H)×縦(W)×奥行(D)	制作年/Date	制作地 /Production	所蔵 /Collection	作品写真(Photo)
1	李承熙 Lee seung hee	Tao_092502	6×58×58	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	中国・景德镇 /China(Jingdezhen)	
2	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_2	4×41×42	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	滋賀県立陶芸の森陶芸館	
3	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_2	4×39×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	滋賀県立陶芸の森陶芸館	
4	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_3	5×39×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	滋賀県立陶芸の森陶芸館	
5	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_4	6×36×27	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
6	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_5	8×37×28	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
7	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_6	4×43×33	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
8	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_7	4×45×36	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
9	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_8	4×45×36	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
10	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_9	4×45×32	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	

11	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_10	7×36×28	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
12	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_11	4×48×32	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
13	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_12	3×45×32	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
14	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_13	4×45×32	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
15	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_14	4×44×32	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
16	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_15	4×44×31	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
17	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_16	4×44×32	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
18	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_17	4×44×31	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
19	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_18	4×47×34	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
20	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_19	4×32×22	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	

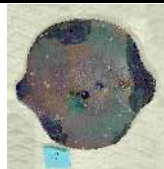




21	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_20	4×39×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
22	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_21	47×46×46	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
23	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_22	4×28×20	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
24	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_23	4×29×20	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
25	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_24	4×29×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
26	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_25	4×29×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
27	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_26	4×32×23	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
28	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_27	4×31×22	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
29	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_28	4×29×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
30	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_29	4×29×20	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	

31	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_30	4×29×20	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
32	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_31	4×30×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
33	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_32	4×29×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
34	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_33	4×30×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
35	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_34	4×30×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
36	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_35	4×29×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
37	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_36	4×29×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
38	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_37	4×29×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
39	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_38	4×29×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
40	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_39	4×30×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	

41	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_40	4×29×20	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
42	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_41	4×29×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
43	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_42	4×30×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
44	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_43	4×29×20	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
45	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_44	4×30×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
46	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_45	4×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
47	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_46	5×40×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
48	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_47	4×39×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
49	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_48	4×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
50	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_49	5×40×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	

51	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_50	4×40×41	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
52	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_51	5×40×41	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
53	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_52	4×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
54	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_53	5×40×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
55	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_54	5×40×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
56	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_55	5×41×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
57	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_56	5×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
58	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_57	4×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
59	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_58	5×39×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
60	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_59	5×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	

61	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_60	4×40×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
62	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_61	5×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
63	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_62	5×39×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
64	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_63	4×30×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
65	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_64	4×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
66	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_65	4×39×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
67	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_66	4×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
68	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_67	5×39×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
69	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_68	5×41×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
70	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_69	5×39×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	






71	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_70	5×40×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
72	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_71	4×39×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
73	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_72	5×41×41	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
74	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_73	5×39×38	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
75	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_74	4×40×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
76	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_75	4×40×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
77	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_76	4×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
78	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_77	5×40×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
79	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_78	5×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
80	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_79	5×40×38	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	

81	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_80	4×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
82	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_81	5×41×41	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
83	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_82	4×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
84	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_83	5×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
85	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_84	4×39×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
86	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_85	4×38×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
87	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_86	4×39×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
88	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_87	4×40×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
89	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_88	5×39×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	
90	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_89	4×40×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shig araki)	作家蔵	

91	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_90	4×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
92	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_91	4×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
93	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_92	4×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
94	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_93	4×40	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
95	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_94	5×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
96	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_95	4×39	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
97	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_96	1×30×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
98	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_97	1×32×33	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
99	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_98	1×28×22	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
100	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_99	1×32×22	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	

101	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_100	1×32×22	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
102	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_101	5×59×41	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
103	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_102	5×59×41	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
104	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_103	4×54×36	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
105	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_104	39×21×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
106	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_105	57×22×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
107	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_106	46×21×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
108	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_107	42×22×22	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
109	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_108	6×40×-	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
110	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_109	8×44×35	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	

111	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_110	4×30×21	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
112	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_111	40×41×-	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
113	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_112	28×48×38	2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
114	李承熙 Lee seung hee	Tao_Shigaraki_113		2022	日本・信楽 /Japan(Shigaraki)	作家蔵	
115	李承熙 Lee seung hee	Tao_Cheongju_1		2022	韓国・清川 /Korea(Cheongju)	作家蔵	
116	李承熙 Lee seung hee	Tao_Cheongju_2		2022	韓国・清川 /Korea(Cheongju)	作家蔵	
117	李承熙 Lee seung hee	Tao_Cheongju_3		2022	韓国・清川 /Korea(Cheongju)	作家蔵	
118	李承熙 Lee seung hee	Tao_Cheongju_4		2022	韓国・清川 /Korea(Cheongju)	作家蔵	
119	李承熙 Lee seung hee	Tao_Jingdezhen_1		2022	中国・景德镇 /China(Jingdezhen)	作家蔵	
120	李承熙 Lee seung hee	Tao_Jingdezhen_2		2022	中国・景德镇 /China(Jingdezhen)	作家蔵	

121	李承熙 Lee seung hee	Tao_Jingdezhen_3		2022	中国·景德镇 /China(Jing dezhen)	作家藏	
122	李承熙 Lee seung hee	Tao_Jingdezhen_4		2022	中国·景德镇 /China(Jing dezhen)	作家藏	
123	李承熙 Lee seung hee	Tao_Jingdezhen_5		2022	中国·景德镇 /China(Jing dezhen)	作家藏	
124	李承熙 Lee seung hee	Tao_Jingdezhen_6		2022	中国·景德镇 /China(Jing dezhen)	作家藏	
125	李承熙 Lee seung hee	Tao_Jingdezhen_7		2022	中国·景德镇 /China(Jing dezhen)	作家藏	

甲賀市歴史民俗資料館での陶芸の森コレクション展

連携企画展 シリーズ・近江のやきものⅠ－近世に花開いた湖国の陶窯と街道文化

■趣 旨

中央に琵琶湖を擁し、周囲の山野が四季折々に美しい景観をみせる湖国近江。かつての都、奈良や京への玄関口であったこの地は、古くから“みち”が縦横に巡る街道の国でもあります。人々の往来とともに文物が行き交い、特色ある街道文化が育まれてきました。

近江のやきもの文化も、そのひとつといえるでしょう。東海道の膳所焼・梅林焼・姥餅焼・石部焼、西近江路の湖南焼・比良焼・杣山焼、また中山道や朝鮮人街道の小富士焼・湖東焼など…。交通網が整備され商品経済が発達した近世には、城下町や門前町、宿場といった“まち”を中心に町人文化が発展し、各地に個性豊かな陶窯が開かれました。

また、他にも湖北から北陸に向かう北国街道には長浜湖東焼があり、伊勢神宮と多賀大社を結ぶ御代参街道には、近江(日野)商人ゆかりの友斎焼が存在しました。信楽では登窯の導入とともに施釉陶器の焼造がはじまり、壺・甕など大物に加えて神仏器・灯明具などの小物類や、土瓶・徳利などの袋物が焼造され信楽道を通して広く流通しました。

長く地域の人々の暮らしとともにあった、近江の街道とやきもの。本展では、近江の街道をキーワードに湖国のやきもの文化を見つめ直しながらそれぞれの魅力に迫りました。

■内 容 近江の街道と陶窯をテーマに下記の構成で当館のコレクション 80 件を紹介

〈第Ⅰ部〉東海道編 膳所焼・梅林焼・瀬田門平焼・姥餅焼・石部焼・水口光阿焼

〈第Ⅱ部〉中山道・朝鮮人街道編 小富士焼・湖東焼・圓山湖東焼

◇郷土玩具として親しまれたやきもの(土人形)－小幡人形

〈第Ⅲ部〉西近江路(北国海道)編 湖南焼・唐崎焼・比良焼・臨湖焼・通庵焼・杣山焼

〈第Ⅳ部〉北国街道と御代参街道・信楽道 近世信楽焼・長浜湖東焼・友斎焼

■会 期

(1) 令和 6 年(2024 年)6 月 29 日(土)～令和 7 年(2025 年)2 月 9 日(日) 157 日間

〔会場〕甲賀市土山歴史民俗資料館 毎週月曜日・火曜日、年末年始休館

(2) 令和 6 年(2024 年)6 月 29 日(土)～令和 7 年(2025 年)2 月 11 日(火祝) 158 日間

〔会場〕甲賀市水口歴史民俗資料館 毎週木曜日・金曜日、年末年始休館

■主 催 滋賀県立陶芸の森 〔協力〕甲賀市

■観覧料 甲賀市土山歴史民俗資料館：無料 甲賀市水口歴史民俗資料館：200 円

■入場者数 3,732 人

(1) 甲賀市土山歴史民俗資料館 2,338 人(15 人／日)

(2) 甲賀市水口歴史民俗資料館 1,394 人(24 人／日)

■団体案内

令和 6 年 7 月 25 日(木) なでしこ会(土山小学校同窓会主催新着任教職員研修)・21 人

令和 6 年 9 月 18 日 大阪青凌中学校 34 人

令和6年9月30日 レイカディア大学城郭探訪OB会団体見学 52人

令和6年10月16日 団体名不詳 11人

令和6年10月20日 クラブみんなの広場（滋賀県内の団体）21人

令和6年11月6日 小牧・城址散策の会 36人

令和6年11月9日 レイカディア大学城郭探訪会 31人

令和6年11月20日 団体名不詳 11人

令和6年12月2日 綾野小学校6年生 68人

令和7年1月8日 水口小学校3年1組 36人

令和7年1月14日 水口小学校3年2組 35人

令和7年1月20日 コミセンみかみ（湖南市の団体）27人

令和7年2月11日 団体名不詳 22人

■紹介番組・掲載記事

（1）放送

令和6年7月2日（火） テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」

令和6年8月6日（火） ～令和7年2月11日（火） あいコム音声放送

令和7年1月22日（水）・29日（水） あいコムこうか 私の推しの美術作品『推し美ジュ』

公開日不詳 データ放送「市からの情報」

（2）専門誌・雑誌・フリーペーパー

7月 甲賀市 広報こうか「情報のまど」[No.394]

（3）インターネット 抜粋

甲賀市歴史文化財課 SNS「甲賀の文化財」／陶芸の森公式 Instagram・Facebook(7/30・7/31)

甲賀市公式 Instagram・Facebook(7/31)／全国文化財総覧「全国文化財イベントナビ」／ガ

チャフェス 2024「地域イベント情報」／ガチャフェス 2024 Facebook(10/19)／SpotTour

「近江鉄道～わくわく新発見ツアー～」／no+e「2024年7月～9月に見られる関西の展示」






甲賀市土山歴史民俗資料館会場



甲賀市水口歴史民俗資料館会場

■作品リスト（別紙）

No.	窯・作者名	作品名	制作代（年）	寸法（cm）	数量	作品画像	所蔵
パネル1	膳所焼	耳付茶入 銘・丹霞	17C後半～18C前半／江戸時代	高4.5×口径4.0×胴径6.1×底径4.3	1		大津市歴史博物館 01-03-0008
1	膳所焼・国分窯	鉄釉茄子形香合	18C前半／江戸時代	高4.5×幅6.1×奥行3.1	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-105
2	膳所焼・虎吉	鉄釉羅漢唐獅子文平鉢	c.1840／天保11年頃	高4.2×径15.4×底径8.5	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-106
3	梅林焼	三彩蜜柑松茸薬味入	18C後半～19C前半／江戸時代	高8.8×幅19.6×奥行17.6	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-113
4	梅林焼	三彩茄子形徳利	18C後半～19C前半／江戸時代	高16.0×径10.5	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-036
5	梅林焼	三彩手付盃 * 蜜柑形ほか	18C後半～19C前半／江戸時代	高3.8×幅11.0×奥行5.9 ほか	7		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-052 ほか
6	梅林焼	三彩丸壺茶入	18C後半～19C前半／江戸時代	高6.7×胴径7.8×口径2.0×底径4.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-091
7	梅林焼	鉄絵蘭花文筒茶碗	18C後半～19C前半／江戸時代	高6.6×口径10.2・9.3×底径2.9	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-116
8	梅林焼	三彩水指	18C後半～19C前半／江戸時代	高20.5×口径12.8×胴部16.2・15.8×底径11.6	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-299
9	栗津焼	交趾釉手付扇形皿	18C後半～19C前半／江戸時代	高17.8×幅35.3×奥行19.8	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-281
10	石山焼	楽水指	19C前半／江戸時代	高15.8×胴径21.4×口径15.2×底径12.5	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-074
11	楽 弘入	赤楽藤娘文片口向付	20C前半／大正時代～昭和時代	高5.0×胴径8.9×9.3×口径8.5×底径4.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-134
12	復興膳所焼（陽炎圖）・岩崎新定	大江写茶入	1990年代／平成時代	高9.3×径6.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SC-047
13	復興膳所焼（陽炎圖）	オランダ写水指	20C前半／大正8～昭和時代	高13.9×口径19.4×底径15.8	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SCI-004
14	復興膳所焼（陽炎圖）・山元春拳絵付	白玉椿図筒茶碗	20C前半／大正8～昭和時代	高7.8×口径9.3×胴径10.1×底径5.0	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SC-282
15	瀬田門平焼	鉄絵桐文蓋付飯茶碗	19C後半～20C前半／明治時代～昭和時代	高6.6×口径11.6×底径4.3	3		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-063
16	瀬田門平焼	鉄絵瀬田唐橋文徳利	19C後半～20C／明治時代	高18.2×口径3.3×胴径8.1×底径7.0	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-277
17	瀬田門平焼	赤絵壽字文輪花皿	19C後半～20C前半／明治時代～昭和時代	高5.0×口径15.1×14.8×底径6.0	3		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-145
18	瀬田門平焼	鉄絵近江八景文蛸形蓋物	19C後半～20C前半／明治時代～昭和時代	高6.0（蓋なし2.1）×幅23.2×奥行22.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-087
19	瀬田門平焼	鉄絵堅田落雁文茶碗	19C後半～20C前半／明治時代～昭和時代	高7.5×口径12.3×底径4.8	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-088
20	瀬田門平焼	鉄釉肩衝茶入	19C後半～20C前半／明治時代～昭和時代	高6.0×口径3.5×径5.8×底径4.8	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-132
21	瀬田門平焼	色絵大津絵文煎茶器	c.1905／明治37年頃	高5.5×口径7.9×底径3.7	5		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-142
22	瀬田門平焼・邨松雲外、中島華鳳合筆	鉄絵匂入小土瓶	19C-20C前半／明治時代～昭和時代	高6.4×幅13.0×奥行11.6	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-311
23	瀬田門平焼・山元春拳絵付	鉄絵漁夫図葛屋形蓋物	20C前半／大正時代～昭和時代	高8.9×幅12.1×奥行11.1	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-206
24	姥餅焼	赤楽匂入茶碗	18C後半～19C前半／江戸時代	高6.0×口径10.6×底径5.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-280
25	姥餅焼	唐津写茶碗	19C前半／江戸時代	高8.2×胴径12.8×11.7×底径5.5	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-131
26	姥餅焼	赤楽匂入火入	19C前半／江戸時代	高10.0×口径11.1×底径10.4	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-255
27	姥餅焼	灰釉掛花入	19C前半／江戸時代	高11.6×口部9.5・8.4×胴部9.8・8.9×底径5.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-293
28	姥餅焼	黄瀬戸写菊押文小皿	19C前半／江戸時代	高1.6×径10.1	5		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-070
29	石部焼	染付風月居詩文四方皿	19C前半／江戸時代	高4.7×幅22.2×奥行20.0×底径10.8	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-118
30	下田焼	鉄絵おろし器	20C前半／明治時代～昭和時代	高4.7×口径19.2×底径8.3	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SOI-008
31	下田焼・扇吉	鉄絵笹文鉢	20C前半／明治時代～昭和時代	高6.1×口径9.2・9.4×底径9.8	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SOI-009
32	下田焼	鉄絵染付松に月図蓋付鉢	19C～20C前半／明治時代～昭和時代	高10.5×口径19.3×底径9.1	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-291
33	下田焼	緑釉花文鉢	20C前半／明治時代～大正時代	高6.4×口径19.2×底径9.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-251
34	下田焼（近江下田焼）	瑠璃釉湯呑	1993-1994／平成5-6	高6.7×口径8.0×底径4.8	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SCI-007
35	八田焼	鉄絵宝珠文片口鉢	20C前半／明治時代～昭和時代	高8.0×幅16.5×口径14.5×底径7.1	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-230
36	八田焼	鉄釉耳付花生	20C前半／大正時代～明治時代	高16.6×口径15.1×底径8.6	2		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-164
37	八田焼	鉄絵梅花文二ツ口土瓶	20C前半／昭和時代	高11.0×口径9.0×幅21.9×奥行12.9×底径7.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SOI-011









38	八田焼・武藤重生（佐兵衛窯十三代）	かわらけ	1990／平成 2	高2.7×口径11.3×底径5.5	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SCI-002
39	水口焼・光阿	赤楽宝珠形蓋物	18C後半／江戸時代	高23.5×径20.6	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-253
参考資料	下田焼・南星山画	鉄絵狸絵皿	20C後半／昭和時代	高6.3×口径24.2×底径10.8	1		甲賀市水口歴史民俗資料館

40

60

2. 中山道・北国街道編

21件36点＊パネル3件4点を含む

No.	窯・作者名	作品名	制作代（年）	寸法（cm）	数量	作品画像	所蔵
1	小富士焼	三上山絵菓子鉢	20C前半／ 明治時代－大正時代	高8.2×口径18.2×底径8.3	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-174
2	小富士焼	鉄絵蟹図霊芝形手付碗	20C前半／ 明治時代－昭和時代	高5.4×幅9.0×口径9.1×底径3.7	3		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-289
3	小富士焼	象嵌雲龍文皿	20C前半／ 明治時代－昭和時代	高2.3×径16.2×底径10.4	2		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-175
4	小富士焼	鉄絵蘭花文皿	20C前半／ 明治時代－昭和時代	高2.9×幅19.3×奥行14.4	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-201
5	湖東焼	染付鯉桜花図手桶形鉢	19C前半／江戸時代	高15.4×幅24.0×奥行19.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-044
6	湖東焼	赤絵金彩群仙文急須	19C前半／江戸時代	高7.2×幅12.8×奥行11.6×口径6.8×底径5.0	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-084
7	湖東焼	色絵菊花図平鉢	19C前半／江戸時代	高5.5×口径19.4×底径9.0	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-031
8	湖東焼	青磁陰刻牡丹唐草文耳付花入	19C前半／江戸時代	高28.0×口径9.4×胴径16.2×底径9.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-010
9	湖東焼・鳴鳳絵付	色絵金銀彩菱神事図鉢	19C前半／江戸時代	高9.2×口径15.5×底径7.4	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-252
10	民業赤絵湖東焼・赤水絵付	赤絵金彩六歌仙図徳利	19C前半／江戸時代	高17.6×径:5.5×口径3.4	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-047
11	民業赤絵湖東焼・自然斎絵付	赤絵金彩群仙図亀足重	1864／元治元	高22.0×幅21.6×奥行22.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-096
12	民業赤絵湖東焼・床山玉兎絵付	赤絵金彩群仙図煎茶碗	19C前半／江戸時代	高4.5×口径5.9×底径3.3	5		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-042
13	民業赤絵湖東焼・賢友絵付	赤絵金彩唐人物文手塩皿	19C前半／江戸時代	高8.6×口径21.2×底径9.1	3		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-097
14	圓山湖東焼	染付祥瑞写茶心壺	1869／明治 2 年	高12.5×口径2.6×胴径9.6×底径6.9	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-094
15	圓山湖東焼	染付龍文煎茶器	1869-1873／明治2-4	急須 = 高6.0×幅10.5×奥行9.7×口径5.9×胴径8.3×底径5.1／茶碗 = 高5.2×口径6.0×底径3.2	6		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-288
16	圓山湖東焼・耕堂絵付	染付梅牡丹菊花文建水	1869 / 明治 2	高8.7×口径9.0×胴径10.7×底径6.3	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-302
17	湖東焼・山口窯	黒釉金彩松図重箱	19C後半／明治時代	高26.1×幅15.6×奥行15.6	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-256
18	長浜湖東焼	盛絵花貝殻文盃洗	19C後半／ 江戸時代－明治時代	高8.3×口径12.8×底径6.3	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-197
パネル 2	小幡人形(細居源悟)	鍋冠り	c.1996／平成8年頃	高7.1×幅6.7×奥行4.8／高12.2×幅6.5×奥行4.6	2		東近江市
パネル 3	小幡人形(細居源悟)	清正と虎	c.1996／平成8年頃	高13.0×幅10.0×奥行5.8	1		東近江市
パネル 4	小幡人形(細居源悟)	天神	c.1996／平成8年頃	高18.9×幅17.5×奥行8.3	1		東近江市

21

36

3. 西近江路（北国海道）編

15件17点

No.	窯・作者名	作品名	制作代（年）	寸法（cm）	数量	作品画像	所蔵
1	杣山焼	伊羅保釉茶碗	19C前半／江戸時代	高7.0×口径11.4×底径5.0	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-051
2	杣山焼	松竹梅建水	19C前半／江戸時代	高9.7×口径13.4×14.2×底径12.6	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-103
3	臨湖焼	色絵白髷神社絵茶碗	19C前半／江戸時代	高7.6×幅13.7×奥行12.6×底径4.5	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-122
4	通庵焼	手付一重切花生	18C／江戸時代	高20.9×口径5.8×底径5.5	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-121
5	唐崎焼	染付老松図共蓋芋頭水指	19C前半／江戸時代	高14.2×胴径17.0×口径11.4×底径10.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-117
6	比良焼	鉄絵桐文茶碗	17C後半－18C前半／ 江戸時代	高6.2×口径11.1×底径3.7	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-093
7	比良焼	白釉流し茶碗	17C後半－18C前半／ 江戸時代	高6.0×口径11.0×底径4.5	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-166
8	比良焼	鉄絵芦文鉢	17C後半－18C前半／ 江戸時代	高5.0×径13.4×13.8×底径6.0	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 伊賀三男コレクション SO-107
9	湖南焼・永樂保全	金欄手龍文馬上杯	1851－1854／嘉永4-7	高8.8×口径7.9×底径4.5	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-169
10	湖南焼・永樂保全	染付祥瑞写輪花鉢	1854／嘉永 7	高7.0×口径12.0×底径5.5	2		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-168
11	湖南焼・永樂保全	染付写山水文馬上杯	1851－1854／嘉永4-7	高11.0×口径11.0×頸径9.0×底径5.8	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SOI-007
12	湖南焼・永樂保全（画＝狩野永岳）	呉洲俵形鉢	1851－1854／嘉永4-7	高8.5×幅15.0×奥行14.2×底径7.0	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-317

No.	窯・作者名	作品名	制作代（年）	寸法（cm）	数量	作品画像	所蔵
13	河濱焼・永樂保全	白釉片口鉢	1851－1854／嘉永4-7	高8.6×胴径8.6×口径8.4×底径5.3	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-079
14	三井御濱焼・永樂保全	色絵桜花文楊枝置	1851－1854／嘉永4-7	高3.1×幅8.9×奥行6.3	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-119
15	三井御濱焼・永樂保全	色絵桜花文徳利	1851－1854／嘉永4-7	高15.5×口径3.6・4.0×胴径7.7×底径5.5	2		滋賀県立陶芸の森陶芸館 SO-306

15

17

4. 信楽道・御代参街道編10件19点 ＊パネル2件2点を含む

No.	窯・作者名	作品名	制作代（年）	寸法（cm）	数量	作品画像	所蔵
1	信楽焼・勅旨窯	神仏器・灯明具	19C／江戸時代	花立=高12.8×口径7.5×頸径6.4・3.2×胴径6.1×底径5.1	6		個人蔵
2	信楽焼・勅旨窯	小杉碗	19C／江戸時代	高4.7×口径8.7×底径3.2	5		個人蔵
3	信楽焼・信斎（奥田紋左衛門）	焼締灰釉流掛壺	19C後半／江戸時代	高33.5×口径12.0×胴径26.0×底径14.4	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-272
4	信楽焼・長野窯	掛流茶壺	19C／明治時代	高27.6×口径12.0×胴径21.6×底径11.2	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-242
5	信楽焼・長野窯	腰白茶壺	19C／江戸時代	高23.3×口径8.5×胴径18.2×底径12.4	1		滋賀県立陶芸の森陶芸館 細川正廣コレクション SO-187
6	信楽焼・神山窯	山水土瓶	19C－20C／ 江戸時代－明治時代	高13.6×口径9.3×幅19.3×奥行15.3×底径8.3	1		個人蔵
7	信楽焼・神山窯	汽車土瓶（岡山）	20C前半／明治時代－昭和時代	高7.5×幅14.0×奥行10.4	1		個人蔵
8	信楽焼・神山窯	汽車土瓶（湯呑付）	20C中頃／昭和時代	高6.4×幅10.8×奥行8.2	1		個人蔵
パネル 5	友斎焼	飴釉手付水指	19C中頃／江戸時代	高23.2×胴径15.0×底径8.6	1		個人蔵
パネル 6	友斎焼	飴釉手付鉢	19C中頃／江戸時代	高10.2×幅21.2×奥行12.8	1		個人蔵

10

19

＊総件数86件（土山歴史民俗資料館75件、水口歴史民俗資料館11件）うち陶芸の森収蔵作品80件（土山歴史民俗資料館70件、水口歴史民俗資料館10件）

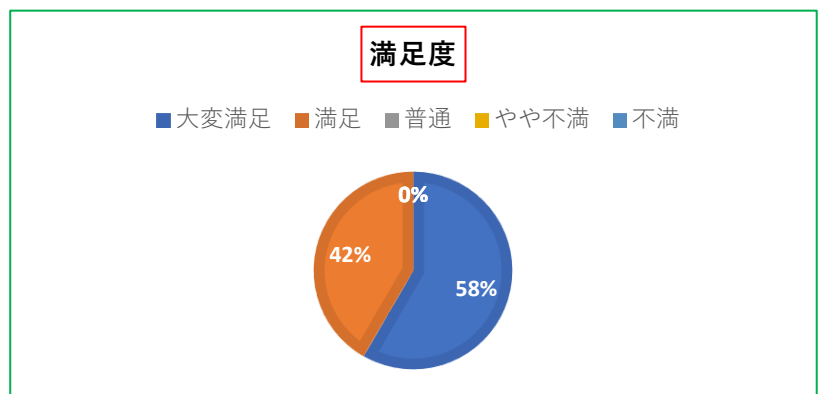
甲賀市・滋賀県立陶芸の森連携企画展

「世界を見つめてーシンクロする信楽の感性」 アンケート集計

【居住地】		【年齢（年代）】		【交通手段】	
甲賀市	2	10代	2	自家用車	8
甲賀市以外滋賀県	6	20代	2	公共交通	1
京都府	2	30代	1	未記入	3
三重県	1	40代	4		
未記入	1	50代	2		
		60代	1		

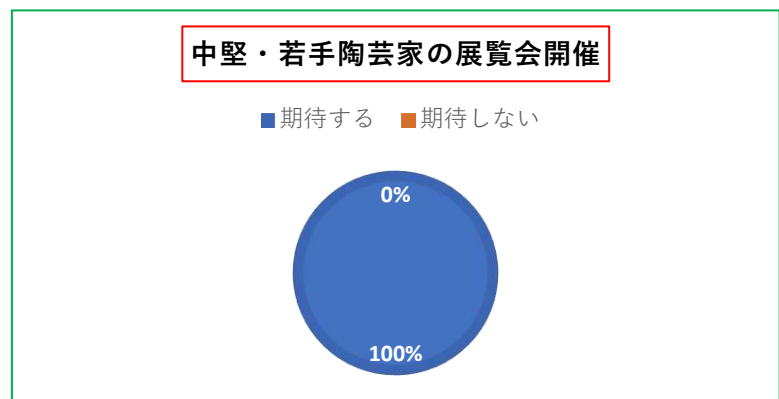
Q1 満足度

1	大変満足	7
2	満足	5
3	普通	0
4	やや不満	0
5	不満	0
	合計	12



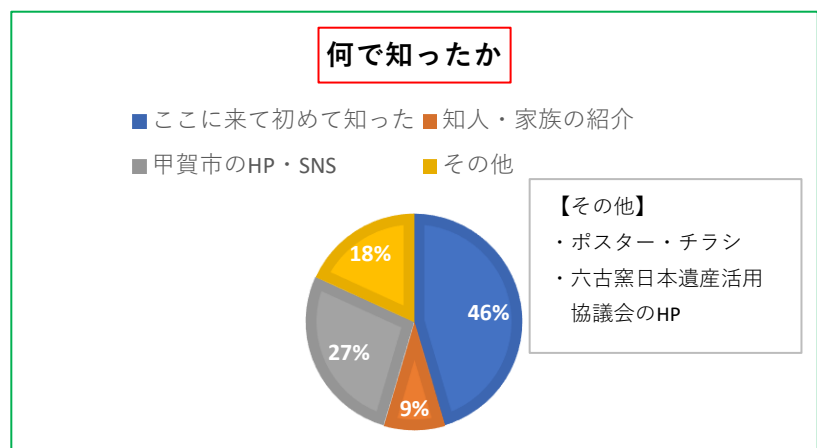
Q2 現在活躍中の中堅・若手陶芸家の展覧会開催を今後も期待するか

1	期待する	12
2	期待しない	0
	合計	12



Q3 何で知ったか(複数回答可)

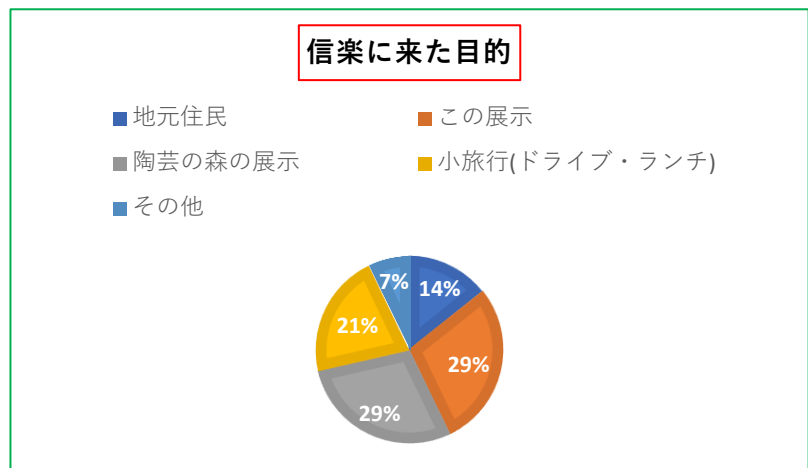
1	ここに来て初めて知った	5
2	知人・家族の紹介	1
3	甲賀市のHP・SNS	3
4	その他	2
	合計	11



Q4 信楽に来た目的(複数回答可)

1	地元住民	2
2	この展示	4
3	陶芸の森の展示	4
4	小旅行(ドライブ・ランチ)	3
5	その他	1
	合計	14

※その他：詳細記載なし



Q5 感想

1	すごく神秘的だった
2	いわゆる陶器らしくない質感の作品が多かった
3	動物やつばたくさんの芸術作品がありました
4	信楽焼の個性豊かな焼物の表現とアートな世界がとても魅力的でした
5	もっと多くの作品が見たいので、次の会場にも足を運びたい。
6	とてもよかった

Q6 ご意見・ご要望（今後の展覧会の企画や、施設の運営、その他お気づきの点について）

1	モンゴルのゲルのような展示室だと思った
2	貴重な展示品と映像がゆっくり見れて良かったです。子供と一緒に陶芸できたりするスペースがあれば楽しそうだと思います。
3	存続していてほしい

陶芸の森「陶芸館 3D デジタルアーカイブ」

■趣 旨

本年度は、秋の特別展「躍動するアジア陶磁―町田市立博物館所蔵の名品から―」展のページを追加し、出品作品の中で町田市立博物館の名品、クメールの「灰釉兎形壺」・「黒褐釉兎形壺」・「黒褐釉象形壺」を3D撮影しました。その3D映像を、会期中の2024年11月15日（木）より公開。展示室内で本物を鑑賞しながら、3D映像を通して作品の裏面や様々なアングルからご覧いただける機会を提供しました。

また、当館所蔵の近江のやきもの名品5点の高精細360°VR映像を撮影し、2025年3月30日（日）より公開しました。その中で2点は、春の特別企画展「やきもの×グルメⅡ 近江の古陶磁を味わう…湖国の料理とともに」の出品作品。各作品の「見込み」、「胴」、「底」の3方向から高精細撮影を行い、湖南焼や湖東焼の華やかな絵付けを360°回しながら鮮やかに大きくご覧いただけることで、作品の魅力について詳しく伝えることができました。

今後も信楽窯業技術試験場の協力のもと、デジタルコンテンツの充実を図り、収蔵品の活用と当館の魅力に努めていきます。

■内 容

1. 特別展「躍動するアジア陶磁―町田市立博物館所蔵の名品から―」ページと、出品作品3点の3D映像を追加
2. 当館所蔵の近江のやきもの名品5点の高精細360°VR映を新たに追加（特別企画展「やきもの×グルメⅡ 近江の古陶磁を味わう…湖国の料理とともに」に出品作品2点の映像を含む）

1

見逃し展覧会プレイバック VR of the Exhibition Work

図録で付録されている図録作品の各主要作品の3D映像をVRで高精細360°撮影して公開します。

特別展「躍動するアジア陶磁―町田市立博物館所蔵の名品から―」

特別展「岡本太郎 アートの夢」

特別展「やきもの×グルメⅡ 近江の古陶磁を味わう…湖国の料理とともに」

「灰釉兎形壺」クメール (12-13世紀)

「黒褐釉象壺」クメール (12-13世紀)

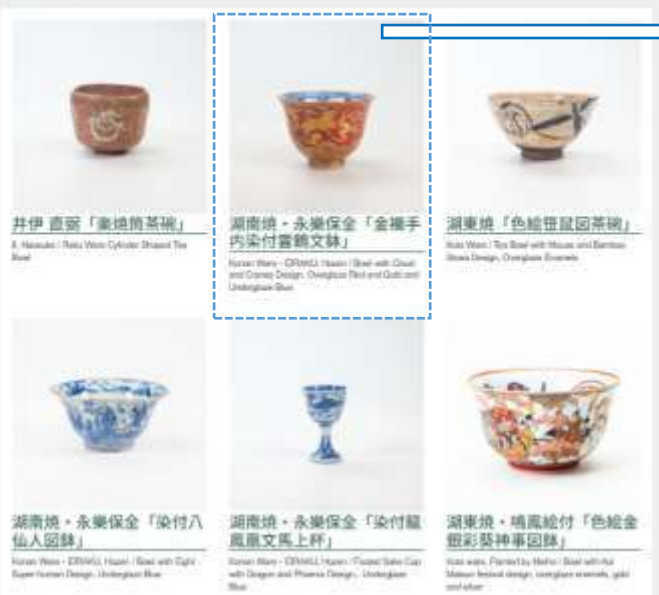
「黒褐釉象形壺」クメール (12-13世紀)



コレクション名品選 Collection VR Masterpieces

当館が所蔵する名品を3D・高精細VR映像で公開しています。
3D VRは作品を立体的に鑑賞でき、高精細VRは繊細な細部を顕微鏡に近く見ることができます。
また、解説では鑑賞できない部分の裏面まで、活動的な視点で観察できます。
ぜひ活用ください。

鑑賞方法はこちらをご覧ください



湖南焼・永樂保全「金襴手内染付雲鶴文鉢」

Hunan Ware - Yongle Baoquan / Bowl with Cloud and Crane Design, Overglaze Red and Gold and Underglaze Blue



湖南焼・永樂保全「金襴手内染付雲鶴文鉢」_胴
Body view



湖南焼・永樂保全「金襴手内染付雲鶴文鉢」_見込み
Inside view



湖南焼・永樂保全「金襴手内染付雲鶴文鉢」_底
Bottom view



- 会 期
1. 令和5（2024）年11月15日（木）より公開
 2. 令和6（2025）年3月30日（日）より公開

■公開場所 陶芸館3Dデジタルアーカイブ ➔ <https://digital-museum.sccp.jp>

■撮影・技術協力 滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場

■VR体験パネル 展示室内のパネルで掲示（QRコード形式）



収蔵品収集・管理事業

県の陶芸作品等収蔵品収集審査会の審議、収蔵品価格評価委員の評価を経て、令和 6 年度は新たに購入作品 2 件と寄付作品 49 件を収蔵、魅力あるコレクションの充実に努めました。

○作品貸出実績 5 館 15 件 ○調査協力 2 館 8 件

* 詳細は資料(収蔵品収集実績・作品リスト・収蔵品貸出実績・特別観覧実績)を参照

■陶芸作品等収集審査会委員（令和 5・6 年度：任期 2 年）

守屋 雅史 大阪市立東洋陶磁美術館館長 [4 期目]
畑中 章良 MIHO MUSEUM 学芸部長 [4 期目]
不動 美里 姫路市立美術館副館長 [3 期目]
橘 倫子 今日庵 茶道資料館 [3 期目]
大槻 倫子 愛知県陶磁美術館学芸課長 [1 期目]
大長 智広 京都国立近代美術館主任研究員 [1 期目]

■収蔵品価格評価委員（令和 6 年度）

花井素子 岐阜県現代陶芸美術館
宮田昌俊 横山美術館館長
野村恵子 ギャラリー恵風代表

博物館実習

当館では、平成 7 年度より博物館学芸員資格取得に必要な博物館実習を実施しています。令和 6 年度は近隣府県の大学から実習生 1 人を受け入れ、下記の実習を行いました。

- 内 容 8 月 22 日(火) 10 時～16 時
オリエンテーション／陶芸の森施設見学／特別企画展鑑賞／講義 1 教育普及事業について
8 月 23 日(水) 10 時～16 時
実習 2 作品の取り扱いおよび梱包・作品調書の作成
8 月 24 日(木) 10 時～16 時
講義 2 デジタルコンテンツの活用について／講義 3 SNS を利用した広報活動について／
実習 3 SNS を活用した広報案の検討（園内・野外作品と展覧会）
8 月 25 日(金) 10 時～16 時
講義 4 展覧会事業について／広報案の発表／総括

■期 間 令和 6 年（2024 年）8 月 20 日(火)～23 日(金) 4 日間

■会 場 滋賀県立陶芸の森 視聴覚室および陶芸館会議室

■受入大学 京都外国語大学 1名

陶磁ネットワーク会議の開催

陶磁ネットワーク会議は、陶芸・陶磁を専門とする、県立の博物館と美術館 8 館で 2008 年に結成された組織。

情報交換と相互連携を深め陶芸文化の発展と館活動の活性化をはかるとともに、共同企画展の開催をはじめ共同研究や所蔵品の相互利用、緊急時の協力体制の強化などをテーマに、毎年 1 回持ち回りで開催されています。

令和 6 年度は、茨城県陶芸美術館(笠間)で開催されました。

■日 程 令和 6 年(2024 年)11 月 6 日(水)～7 日(木) 2 日間

■出席者 8 館 19 人(うち幹事館 8 人)

■参加館(会員館)

愛知県陶磁美術館(瀬戸)、茨城県陶芸美術館(笠間)、岐阜県現代陶芸美術館(美濃)、佐賀県立九州陶磁文化館(有田)、滋賀県立陶芸の森陶芸館(信楽)、兵庫陶芸美術館(丹波)、福井県陶芸館(越前)、山口県立萩美術館浦上記念館(萩)

■議 題 産地・作家と美術館

幹事館館長あいさつ・出席者自己紹介・各館事例発表・質疑応答

■見 学 笠間市内関係先見学

GARAGE(ガラジ)・工房訪問(小林東洋氏・額賀章夫氏・小堤晶子氏)

調査研究活動

三浦 弘子

1. 委嘱

兵庫陶芸美術館 収蔵作品価格委員

愛知県陶磁美術館 収蔵作品価格委員

甲賀市伝統産業会館企画委員および館蔵品委員

甲賀市指定無形文化財陶芸保持者認定検討委員

2. 著作・文章執筆等

「リサ・ラーソンと信楽との関わり」『陶説』5月号、2024

「リサ・ラーソンの陶芸の魅力とは何か?」『WEB 美術手帖』5.12、2024

「安永正臣」『美術手帖』2025、1月号

鉤 真一

1. 調査活動

・滋賀県工業技術総合センター

信楽窯業技術試験場 試作品調査 令和 6 年 6 月－10 月

2. 著作執筆等

- ・甲賀市市制 20 周年記念 連携企画展 世界をみつめて－シンクロする信楽の感性リーフレット(作品解説) 令和 6 年 6 月 甲賀市
- ・試験場テーマ企画展 信楽の昭和モダン－試験場試作の洋食器(カップ&ソーサー)解説シート 滋賀県立窯業試験場試作の洋食器－日本趣味化と小物陶器研究－令和 6 年(2024 年)11 月 滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場
- ・名品手鑑Ⅲ(32) 湖南焼・永楽保全 金襴手内染付雲鶴文鉢 1851-1854／嘉永 4-7「滋賀の博物館・美術館探訪」『毎日新聞滋賀版』令和 7 年 2 月 27 日
- ・収蔵品紹介－カップ&ソーサー 20C 前半／昭和時代前期 滋賀県立窯業試験場『陶(No. 39)』令和 7 年(2025 年)3 月 信楽窯業技術試験場

3. 講義

- ・県立学校湖南 B 地区初任者研修 信楽焼の歴史について 令和 6 年 6 月 28 日

裵 洙淨 (ベ スジョン)

1. 出講・委嘱

「博物館・美術館における 3D データ活用－滋賀県立陶芸の森の取組に学ぶ－」
2025 年 12 月 25 日、京都市学校歴史博物館 講義室

2. 著作執筆等

- ・「森で生まれた東南アジアの美」『躍動するアジア陶磁－町田市立博物館所蔵の名品から－』展図録、ニューカラー写真印刷株式会社、2024 年 9 月、42～43 頁。
- ・「〈流れ〉のなかで生み出す造形 フォーカス・アイ 今野朋子」『炎芸術』161 号 阿部出版社、2025 年 2 月、97 頁。
- ・「尾花友久 無垢壺展 関西の陶芸展」単著 『陶説 No. 857』 公益財団法人 日本陶磁協会 2025 年 2 月 47～50 頁。
- ・「「移動」による壁画の公共性を問い直す：川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」展を振り返って」『阡陵：関西大学博物館彙報 第 90 号』2025 年 3 月、2～3 頁。

◎ 令和6年（2024年）度 収蔵品貸出実績

No.	作者名	作品名	分類番号	申請者	展覧会名	会期
1	宇野 三吾	土偶形花器	J-270	岡山県立美術館 菊池寛美記念 智美術館	前衛陶芸の誕生 走泥社とその時代－結成前夜から1973年まで－ 展	岡山県立美術館 2024年2月27日（火）～2024年4月7日（日） 菊池寛美記念 智美術館 2024年4月20日（土）～2024年9月1日（日）
2	宇野 三吾	ハニワ形花器	J-269			
3	宇野 三吾	黄釉花器	J-271			
4	岡本 素六	花器	J-286			
5	中西 美和	抽象形花器	J-287			
6	藤田 作	トルソ形花器	J-283			
7	鈴木 治	上を向く馬	J-105			
8	三島 喜美代	Package'74	J-115	練馬区立美術館	三島喜美代－未来への記憶	2024年5月19日（日）～2024年7月7日（日）
9	三島 喜美代	Package '78	J-116			
10	三島 喜美代	Column-2	J-158			
11	三島 喜美代	Comic Book '80	J-118			
12	宇野 三吾	土偶形花器	J-270	東京国立近代美術館 NHK展開センター NHKプロモーション 毎日新聞社	ハニワと土偶の近代 展	2024年10月1日（火）～2024年12月22日（日）
13	宇野 三吾	ハニワ形花器	J-269			
14	岡本 太郎	犬の描木鉢	J-351			
15	神山 清子	信楽鍋大筒噴	SC-069	甲賀市伝統産業会館	神山清子追想展	2024年11月28日（木）～2025年1月21日（火）

◎ 令和6年（2024年）度 特別観覧実績

No.	作者・窯名	作品名	分類番号	申請者	区分	目的	
1	古信楽	大壺	SO-035	株式会社 阪急交通社	熟覧	インバウンドツアー (スイス・リートベルク美術館関係者27人)	2024年4月13日
2	古信楽	大壺	SO-037				
3	石山焼	素水指	SO-074	株式会社 ネクス	原版使用	テレビ東京『開運！なんでも鑑定団』放送素材	2024年6月25日放送
4	古信楽	蹲花入	SO-075				
5	湖東焼	赤絵金彩群仙文亀足重	SO-096				
6	梅林焼	三彩薬味入	SO-113				
7	臨湖焼	色絵白髭神社文茶碗	SO-122				
8	水口光阿焼	赤染宝珠形蓋物	SO-253				
9	古信楽	鬼桶水指 銘 紅かのこ	SO-001	株式会社 眼の目	原版使用	『眼の目』2024年9月号「特集信楽」挿図	2024年8月16日発行
10	古信楽	樽垣文壺	SO-040	奥村印刷株式会社	原版使用	『伝統文化検定公式テキスト』に掲載	2024年10月2日発行
11	湖東焼	色絵笹鼠図茶碗	SO-008	Ulrich Lehmann	熟覧	デザイン関連書籍（MIT出版）執筆のため	2024年11月14日
12	湖東焼	籠形掛花入	SO-012				
13	湖東焼	染付草花文茶碗	SO-013				
14	湖東焼	染付鳳凰文水注	SO-025				
15	石部焼	鉄釉印花花卉唐草文輪花平鉢	SO-033				
16	膳所焼	丸肩衝茶入 銘 雲鶴	SO-034				
17	姥餅焼	黄釉布目菊押印文小皿	SO-038				
18	湖東焼	安南写染付鹿図火入	SO-041				
19	關山湖東焼	染付笹図小皿	SO-057				
20	石山焼	黒染茶碗	SO-073				
21	梅林焼	紫黄二彩火入	SO-111				
22	梅林焼	灰器	SO-114				
23	瀬田門平焼	鉄絵徳利	SO-135				
24	瀬田門平焼	褐釉俵形煎茶器揃	SO-139				
25	近世信楽焼	茶壺	SO-165				
26	河濱焼・永樂保全	鉄絵楊枝置	SO-171				
27	姥餅焼	布目染小皿	SO-200				
28	信楽焼・信光山（今井萬五郎）	あられ茶壺	SO-210				

◎ 令和6年（2024年）度 特別観覧実績

No.	作者・案名	作品名	分類番号	申請者	区分	目的	
29	熊倉 順吉	困却64-A	J-004	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	原版使用	『美術手帳』2025年1月号に掲載	2024年12月6日発行
30	秋山 陽	Oscillation II	J-057				
31	三島 喜美代	Comic Book '80	J-118				
32	宇野 三吾	ハニワ形花器	J-269				
33	グレイソン・ベリー	PR	W-114				
34	レイコ・イクムラ	うさぎ観音 2	FW-192				
35	湖東焼	籠形掛花入	SO-012	NHK大津放送局コンテンツセンター	原版使用	『ウィークエンド関西 西日本の旅』 「城下町に咲く 色とりどりの職人技 滋賀・彦根」 放送素材	2024年12月17日
36	湖東焼	色絵丸紋瓢形大徳利	SO-032				
37	湖東焼	織部釉三足手焙	SO-099				
38	湖東焼	鉄絵夕顔図緑釉掛分瓢箪形足瓶掛	SO-220				
39	岡本 太郎	犬の桶木鉢	J-351	株式会社 トスプランニング	撮影	NHK Eテレ『ザ・バックヤード』東京国立近代美術館 「ハニワと土偶の近代」閉幕後のオンデマンド配信	2024年12月23日
40	中村 錦平	日本趣味解題：時間ノ指揮者	J-043	パナソニック汐留美術館	熟覧	展覧会作品調査	2025年2月6日
41	中村 錦平	日本趣味解題：イコジニ玄イ石	J-044				
42	中村 錦平	日本趣味解題：夜ヲ願ウ石	J-045				
43	中村 錦平	日本趣味解題：枯レテシマイソウナ内部	J-046				
44	中村 錦平	日本趣味解題：割レ目ノ甕ノ中ニ	J-047				
45	中村 錦平	日本趣味解題：甘味ヲ夢想ノタメニ	J-048				
46	三島 喜美代	Comic Book '80	J-118	日本経済新聞社	原版使用	日本経済新聞 文化面連載「美の十選－現代陶芸の開拓者たち（5）」作品紹介挿図	2025年3月12日発行
47	滋賀県立信楽窯業試験場 （デザイン＝日根野作三）	汽車土瓶（3点）	CI-023	明治大学博物館	原版使用	進化する信楽焼の『伝統』展 解説パネル挿図	会期 2025年3月26日（水） ～5月20日（火）
48	古信楽	蹲	SO-232				

創 作 事 業

アーティスト・イン・レジデンス事業

やきものの産地である信楽でレジデンス事業を行っているメリットを最大限に活かし、世界中から来たアーティストに制作環境と宿泊施設を提供しています。海外からきたアーティストにとって日本・滋賀・信楽の文化芸術に触れる絶好の機会となります。国内の陶芸作家にとっても国内にしながら世界に触れる場であり、制作面でも挑戦ができる環境であるように努めています。本年度は新型コロナウイルス感染症前に計画を立てていたアーティストをほぼ受け入れ終わりました。主な滞在目的に「薪窯をするため、国際的に活躍しているアーティストの拠点のひとつとしての利用、以前滞在中に環境が気に入ったため」がありました。

■スタジオ・アーティストの受け入れ

アーティスト・イン・レジデンス事業の中核である「スタジオ・アーティストの受け入れ」では10カ国、延べ28人を受け入れました。

受入実績 総数 28人（延べ28人）（10カ国）

国内 10人（延べ10人）

うち滋賀県：2人

海外 18人（延べ18人）

（内訳）アメリカ合衆国－4人、イギリス－1人、オーストラリア－3人、カナダ－1人、タイ－1人、パキスタン－1人、フランス－4人、香港－1人、台湾－2人

受入名簿

<氏名> <英名> <応募時居住国・地域もしくは本拠地>

<滞在期間> <滞在日数> <備考>

ケイト・ストラカン Kate Strachan （日本）

2024年4月1日～2024年7月7日 98日間 《令和5年度からの継続》

アリエル・ゴート Ariel Gout （フランス）

2024年4月1日～2024年5月16日 46日間 《令和5年度からの継続》

木村 芳郎 KIMURA, Yoshiro （日本）

2024年4月1日～2024年7月3日 94日間 《令和5年度からの継続》

スーザン・ロバイ Susan Robey （オーストラリア）

2024年4月3日～2024年5月1日 29日間

ケイラ・スウィートーニューハウス Kayla Sweet-Newhouse (アメリカ合衆国)

2024年4月16日～2024年8月2日 109日間

パスワット・カモンチャノク Panuwed Kamonchanok (タイ)

2024年5月8日～2024年7月31日 85日間

ニコル・ラメール LaMere Nicolle (アメリカ合衆国)

2024年5月24日～2025年3月30日 311日間

アシュトン・キーン Ashton Keen (アメリカ合衆国)

2024年6月11日～2024年8月12日 63日間

アーマッド・ジャヴァリア Ahmad Javaria (パキスタン)

2024年6月25日～2024年8月21日 58日間

劉 致宏 (リュウ・ジーホン) Chihhung Liu (台湾)

2024年6月28日～2024年10月3日 98日間 《台湾文化センターより派遣》

ルイザ・メイゼル Luisa Maisel (フランス)

2024年7月13日～2024年9月18日 68日間

ジュリー・エスピアウ Julie Espiau (フランス)

2024年8月1日～2024年10月1日 62日間

清水 宏章 KIYOMIZU, Hiroaki (日本)

2024年9月3日～2024年12月25日 114日間

フローレンス・リチャード Florence Richard (フランス)

2024年9月4日～2024年11月19日 77日間

コリン・ホプキンス Colin Hopkins (オーストラリア)

2024年9月10日～2024年12月1日 83日間

ライ・ホー Lai Ho (香港)

2024年10月1日～2024年12月26日 87日間

ジョナサン・スチール Jonathan Steele (アメリカ合衆国)

2024年10月3日～2024年12月18日 77日間

イフン・リン Efen Lin (台湾)

2024年11月1日～2025年1月23日 84日間

諸角 拓海 MOROZUMI, Takumi (日本)

2024年11月1日～2025年3月31日 151日間 《令和7年度へ継続》

ジュリー・ペニンントン Julie Pennington (オーストラリア)

2024年11月6日～2024年12月21日 46日間

橋本 知成 HASHIMOTO, Tomonari (日本)

2024年11月16日～2025年2月28日 105日間

石井 佐枝 ISHII, Sae (日本)

2025年1月7日～2025年3月31日 84日間 《令和7年度へ継続》

李 寶那 LEE BONA (日本)

2025年1月19日～2025年3月31日 72日間 《令和7年度へ継続》

植田 麻由 UEDA, Mayu (日本)

2025年1月25日～2025年3月31日 66日間 《令和7年度へ継続》

松永 直 MATSUNAGA, Nao (イギリス)

2025年1月28日～2025年3月28日 60日間

谷口 明子 TANIGUCHI, Akiko (日本)

2025年1月31日～2025年3月28日 57日間

山村 幸則 YAMAMORA, Yukinori (日本)

2025年3月1日～2025年3月31日 31日間

キム・ジョンヒ Kim Joon Hee (カナダ)

2025年3月4日～2025年3月31日 28日間 《令和7年度へ継続》

■ゲスト・アーティストの招へい

受入実績 総数 10 人（延べ 12 人、うち 2 人が 1 組）

国内 3 人（延べ 3 人）

海外 7 人（延べ 9 人）※応募時居住国・地域もしくは本拠地

（内訳）ポーランドー1人、ドイツー2人、ミャンマーー1人、アメリカ合衆国 1 人、フィンランドー1人、オーストリア 1 人

受入名簿

・氏名 マチュー・マンシュ（日本）

＜滞在期間＞令和 6 年 4 月 1 日～令和 6 年 5 月 13 日（43 日間）

《令和 5 年度からの継続》

＜活動概略＞マンシュさんは機能性があるようでない、所属の曖昧なかたちを追求し制作しています。薪窯での焼成も試みるなど、普段の作家の環境ではできないことに挑戦しました。



・氏名 檜木野 淑子（日本）

＜滞在期間＞令和 6 年 4 月 1 日～令和 6 年 4 月 29 日（29 日間）

《令和 5 年度からの継続》

＜活動概略＞「華やかさや豊かさ生命力が溢れ出る歓び」をテーマに、大きいもので 1 m 角の立方体の作品を複数制作しました。



・氏名 ミアズヴェージェワ・ハンナ Miadzvedzeva Hanna

（ポーランド [ベラルーシ]）

＜滞在期間＞令和 6 年 4 月 1 日～令和 6 年 4 月 13 日（13 日間）

《令和 5 年度からの継続》

＜活動概略＞粘土を手びねりで細胞のような網目状に成形し、スポイトで粘土を搾りだし表面を装飾した作品を数点制作しました。ハンナさんは風景における自然の要因が観る人に与える影響について探求しています。



・氏名 広瀬 菜々、永谷 一馬（ドイツ）

＜滞在期間＞令和6年4月1日～令和6年7月27日（118日間）

《令和5年度からの継続》

＜活動概略＞食料品、果物、日用品など身近で見慣れたものを石膏で型取りし、磁器土の鋳込みで成形、焼成時に微妙に歪みが生じることを企図した作品を制作しました。



・氏名 ソー ユー ヌウェ Soe Yu Nwe（ミャンマー）

＜滞在期間＞令和6年6月11日～令和6年8月7日（58日間）

令和6年9月10日～令和6年11月26日（78日間）

令和7年1月24日～令和7年3月31日（67日間）

《令和7年度へ継続》

＜活動概略＞社会や文化における女性像に関心を持ち、神話や植物、動物などのモチーフを組み合わせた作品を制作しました。



・氏名 坂本紬野子（日本）

＜滞在期間＞令和6年5月18日～令和7年3月21日（308日間）

＜活動概略＞植物や建築など、これまで見てきた事物を抽象的なモニュメントとして造形する。特に、四角が積み重なった形状の高さ170cmほどの三対のモニュメントなど、大型作品の制作に取り組みました。



・氏名 ヤエル・ブラハ Yael Braha（アメリカ）

＜滞在期間＞令和6年8月14日～令和7年3月31日（230日間）

《令和7年度へ継続》

＜活動概略＞たたね成型に、化粧土をステンシルでパターン状に施したうつわを制作。本滞在中では、イッテコイ窯などの薪窯焼成に取り組みました。



・氏名 メルヤ・ニエミネン Merja Nieminen（フィンランド）

＜滞在期間＞令和6年9月12日～令和6年12月20日（100日間）

＜活動概略＞建築途中あるいは解体される構造物などに着想を得てワイヤ（カンタル線）と組み合わせたりしながら、原土を含め複数の種類の土や釉薬を用い作品を制作しました。



・氏名 青野千穂（オーストリア）

＜滞在期間＞令和7年1月19日～令和7年3月31日（72日間）

《令和4年度からの継続》 《令和7年度に継続》

＜活動概略＞自作のシルクスクリーンで作った転写紙で生地に下書きをし、彩色。髑髏やアコーディオンに流体が絡んだような作品を制作しました。



■オープンスタジオ等、陶芸館ギャラリー展覧会の開催

■アーティストトーク

開催日：令和6年4月6日（土）13：30～15：00

会 場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：ミアズヴェジェワ・ハンナ（ポーランド、R5 ゲスト・アーティスト）

内 容：これまで制作した作品の構造や制作方法、展覧会についての解説のほか、微細なものへの観察を通して作品を表現するミアズヴェジェワ氏が、日本滞在中に訪れた場所や興味を持った自然の景色や苔、日本庭園などについて話をしました。

開催日：令和6年4月23日（火） 13：30～16：30

会 場：信楽窯業技術試験場 ろくろ部屋

講 師：マチュー・マンシュ（日本／R5 ゲスト・アーティスト）

内 容：マンシュ氏の制作プロセスや作品についての理解を深めることを目的に、事前に制作した半乾きの器の生地に、参加者がそれぞれパーツを取り付け、使うことを目的としない陶の美術作品を制作しました。

開催日：令和6年10月12日（土） 13：30～15：00

会 場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：ソー ユー スウェ（ミャンマー／R6 ゲスト・アーティスト）

内 容：ソー ユー スウェ氏の作品を展示した展覧会「森で生まれた東南アジアの美」に合わせて開催しました。なかなか知る機会のないミャンマーの仏教文化やアジア各地のアートシーンについて語っていただきました。

開催日：令和6年12月6日（金） 13：30～15：00

会 場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：メルヤ・ニエミネン（フィンランド／R6 ゲスト・アーティスト）

内 容：建築を学び、メディア・アート制作や発酵レストランなど多彩な経歴を経て陶芸

にたどり着いたニエミネン氏のこれまでの活動をお話いただきました。また、あわせて創作研修館ギャラリーで展覧会も開催しました。

開催日：令和7年2月12日（水） 13：30～15：00

会 場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：坂本紬野子（日本／R6 ゲスト・アーティスト）

内 容：坂本氏の作品に特徴的な抽象的なフォルムがどのようなインスピレーションから生み出されているか、生まれ育ち現在も拠点にする長崎の環境や、イギリス留学時代、影響を受けたアーティストについてお話いただきました。

開催日：令和7年3月12日（水） 13：30～16：30

会 場：信楽窯業技術試験場 ろくろ部屋

講 師：青野千穂（オーストリア／R4 ゲスト・アーティスト）

内 容：陶芸顔料のシルクスクリーンを手作りの道具で行う青野氏から、専門的な知識がなくても身近な素材で作ることができる自作道具のアイデアを学びました。創作したいものに対して柔軟に対応していくための技術と知恵を得ました。

■アーティスト・イン・レジデンス展

アーティスト・イン・レジデンス企画展「李承熙：似是而非 Subtle difference」

【内 容】李承熙氏は、絵画と陶芸、平面と立体の横断的な表現で「陶磁絵画・平面陶磁」といった新たな陶芸の道を切り開きました。本展では、2002年に李がゲスト・アーティストとして滞在制作を行った作品を中心に、信楽（日本）・清州（韓国）・景德鎮（中国）に展開した、新たなシリーズを一堂に紹介しました。

会 期：令和5年3月15日（土）～5月11日（日）（58日間）

会 場：滋賀県立陶芸の森 陶芸館ギャラリー

後 援：駐日韓国大使館 韓国文化院

出品作家：李承熙（R4 ゲスト・アーティスト）

※再掲



■財団所有作品の貸し出し

県民に気軽に陶芸に親しんでもらえるよう、創作研修館で制作されたスタジオ・アーティストの研修作品やゲスト・アーティストの作品（財団所蔵作品）を、公共施設等に貸出しを行い、陶芸文化の普及向上に努めました。令和6年度は新規の貸し出し作品はありません。貸出実績 7箇所 計 29作品

■国内外のレジデンス機関との連携

I. 国外機関との連携

国外機関からスタジオ・アーティストとして受入れ

- ・台湾文化センター

受入者：劉 致宏（リュウ・ジーフン）

期 間：令和5年6月28日～令和5年10月3日

- ・フィンランド文化センター

担当者の交代等のため、本年度の受け入れは休止し次年度に向けて協議を行いました。

II. 国内機関との連携

- ・TOUCH! TOKONAME

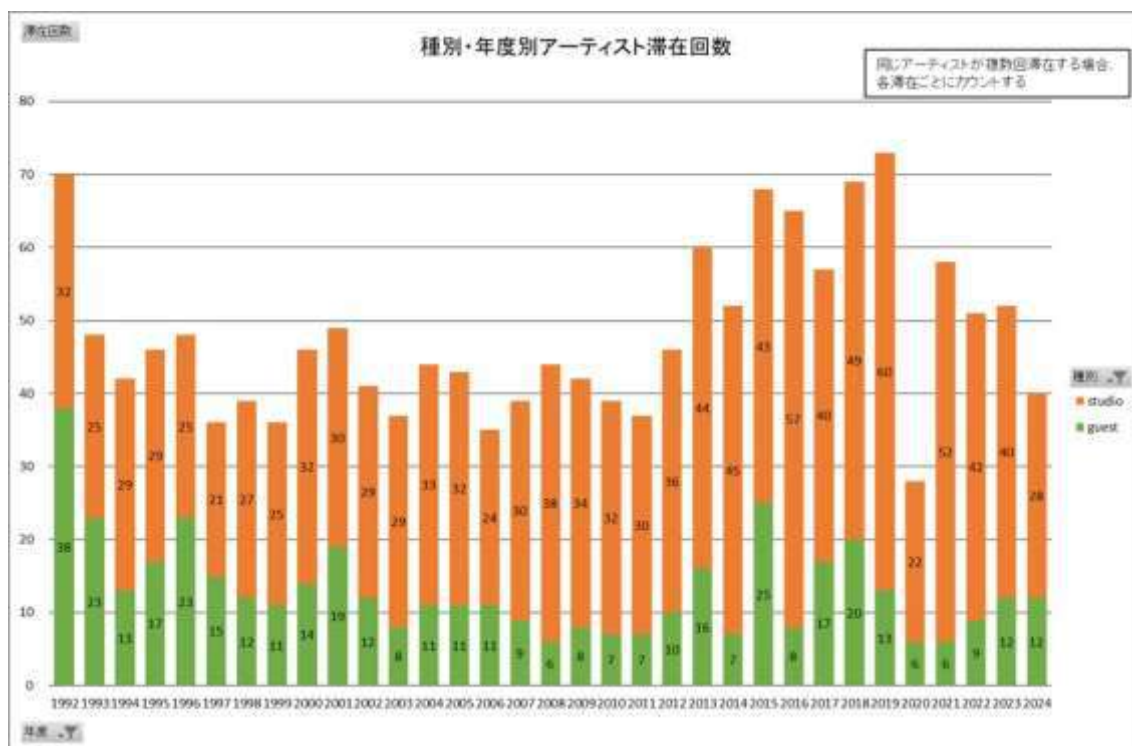
派遣者：ヤエル・ブラハ（R6 ゲスト・アーティスト）

期 間：令和5年9月26日～28日、令和5年10月13日～16日

Ⅲ. 国別・年度別アーティスト滞在回数

[illegible]

IV. 種別・年度別アーティスト滞在回数



滞在回数 年度 Y	種別 Y		総計
	guest	studio	
1992	38	32	70
1993	23	25	48
1994	13	29	42
1995	17	29	46
1996	23	25	48
1997	15	21	36
1998	12	27	39
1999	11	25	36
2000	14	32	46
2001	19	30	49
2002	12	29	41
2003	8	29	37
2004	11	33	44
2005	11	32	43
2006	11	24	35
2007	9	30	39

滞在回数 年度 Y	種別 Y		総計
	guest	studio	
2008	6	38	44
2009	8	34	42
2010	7	32	39
2011	7	30	37
2012	10	36	46
2013	16	44	60
2014	7	45	52
2015	25	43	68
2016	8	57	65
2017	17	40	57
2018	20	49	69
2019	13	60	73
2020	6	22	28
2021	6	52	58
2022	9	42	51
2023	12	40	52
2024	12	28	40
総計	436	1,144	1,580

一つちっこプログラムー子どもやきもの交流事業ー

「一つちっこプログラム」は、「子どもやきもの交流事業」と陶芸の森内で活動を行う「世界にひとつの宝物づくり事業」からなる体験事業で、本年度 22 年目を迎えました。古琵琶湖層からの贈り物である信楽の「土」を用い、地域の陶芸家やボランティア、学校などと協働して子どもたちにもものをつくる喜びや感動、本物の芸術を体感できる教育プログラムを提供することで、子どもたちの豊かな心を育むとともに、滋賀ならではの本物体験・感動体験を通して次代を担う人材育成に努めています。第 4 期滋賀県教育振興基本計画においても柱Ⅰ 夢と生きる力を育む（3）多様な学びの機会をつくる①滋賀に学ぶ体験活動等の推進の中で滋賀の豊かな自然・歴史・文化に親しむ学びの推進として「信楽焼の体験等を通じて陶芸文化に触れる『一つちっこプログラム』などの、滋賀ならではの多彩な体験学習に取り組みます」と位置づけられています。一つちっこプログラムは年間 12,000 人を超える児童・生徒の方々にご参加いただいています。

本年度はわた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025 炬火受皿用ピースを、一つちっこプログラムの協力で県内各市町 21 小学校および団体のべ約 850 名の小学生が制作。これまで活用の少なかった地域にも一つちっこプログラムを経験していただく機会となりました。

本物と出会うー総合学習プログラム 出張授業（連携事業）

小・中・高等学校を対象に学校へ出張授業を進めています。

【令和 6 年度 子どもやきもの交流事業 実績】

番号	講座形態	実施件数	参加者数	備考
1	出張授業	141件	7,305人	※すべて 県内小中高等学校等 このうち 美ココロ 6件 96人 特別支援学級 11件 198人 特別支援学校 10件 232人
2	ねんどと遊ぶ	4件	191人	一般の親子
3	研修会	1件	61人	連携授業関係者夏季美術館研修会 61人
合 計		146件	7,557人	幼児～高校生 6,688 人 大人(ねんどと遊ぶ・研修会) 70 人



河西小学校皿制作 絵付



国スポ・障スポ炬火受皿用ピース制作



ねんどと遊ぶ



世界にひとつの宝物づくり

[滋賀県負担金、参加者負担金、その他の収入より運営]

「世界にひとつの宝物づくり実行委員会」が行っているこの事業は、「つちっこプログラム」の中でも、より「滋賀ならではの」体験ができるプログラムです。ここ陶芸の森で、地元陶芸作家や地域ボランティアの協力により、地元の「土」という素材を用い、陶芸家の技に触れ、ものをつくることの喜びや感動が体感できます。特別支援学校生を含む幼児から大学生などの団体を随時受付し、鑑賞、見学、創作体験を組み合わせた活動を行いました。学校・美術館・文化ボランティア・陶芸家の四者連携プログラムです。

特徴的な取組として、甲賀市立雲井小学校6年生の子どもたちの社会科文時代の学習の一環として出張授業と来園制作を組み合わせたプログラムを実践しました。

事前学習では、陶芸家による縄文土器の話の後、地元企業大塚オーミ陶業株式会社製造の高精細複製「国宝火焰型土器」を子どもたちに触れてもらう授業を行い、翌日の来園制作では「世界にひとつの令和土器をつくろう！」というテーマで縄文から想像力を働かせ、現代の土器づくりに挑戦しました。

また、昨年度制作した学習ビデオ「発見！信楽焼ってすごい」を制作の導入として提案・実施しました。おおよそ10分のビデオは、低学年でも信楽焼の歴史や今の信楽がわかりやすいと好評です。制作場所（創作スペース）のモニターで視聴できるので移動もなく、そのままの場所で子どもたちが集中して制作に取り組んでいます。



国宝を復元した縄文土器に触れて学ぶ

【令和6年度 世界にひとつの宝物づくり事業 実績報告】

番号	講座形態	実施件数	参加者数	備考
1	来園制作 (学校)	46 件	2,109 人	内訳) 県内学校 41 件 1,930 人 県外学校 2 件 161 人 県内特別支援学校 3 件 18 人
	(団体)	12 件	179 人	内訳) 県内団体(放課後等デイ) 9 件 141 人 県外団体 3 件 38 人
2	来園見学	21 件	1,946 人	内訳) 県内学校 15 件 1,152 人 県外学校 5 件 767 人 海外美術館 1 件 27 人
3	出張授業	7 件	279 人	内訳) 雲井小 6 年生事前授業 1 件 24 人 ルシオール 1 件 79 人 滋賀キッズミュージアム 1 件 119 人 守山市教育委員会(市民講座) 3 件 29 人 草津市立玉川こども園 1 件 28 人
4	特別講座	4 件	61 人	一般の親子
5	信楽窯業技術試験場との連携講座	2 件	35 人	一般の親子
6	地元作家との協働講座	2 件	63 人	内訳) 大津市立木戸小学校 5 年生 41 人 近江八幡市立島小学校 4 年生 22 人
7	他館との連携講座	2 件	120 人	内訳) 県立美術館夏祭り 40 人 THE シガパークフェスタ 80 人
8	研修会、研究会など	10 件	144 人	つちっこプログラム陶芸家 1 件 11 人 夏期美術館研修会(教職員) 1 件 23 人 和歌山市図工美術研究会(教職員) 1 件 25 人

				県小学校長会	1 件	20 人
				守山市教育委員会(下之郷史跡公園)	4 件	55 人
				展覧会関連行事)ギャラリートーク	2 件	10 人
合計		106 件	4,936 人	幼児～大学生	4,743 人	
				大人	199 人	
				講座平均	46.5 人	



陶芸の森でのシーサー制作



穴窯に実際に入って内部を触ってみる



信楽焼ビデオを視聴する子どもたち

産業の振興に関する事業

信楽窯業技術試験場との連携事業

(1) 試験場ロビー常設展 テーマ企画展への企画協力

テーマ企画展「魅惑の昭和モダン―試験場試作のカップ&ソーサー」に企画協力。
戦前の試験場試作品から昭和モダンの薫り豊かなカップ&ソーサーを紹介しました。作品の組成分析や意匠デザインのデータ化など、試験場と産地による製品開発に協力しました。

(2) 試験場研修生に対する滞在アーティスト等による講座の開催

滞在アーティストのトークショーに試験場研修生等を招き、アートやデザイン感覚の向上を図る機会を提供するなど、相互交流の場を設けて連携を深めました。

- ・アーティストトーク・ワークショップ（詳細は前述）計6回 ＜試験場参加者＞ 延べ35人



- ・窯元見学等（試験場主催：計1回）＜陶芸の森参加者＞ 延べ 5人

- ・穴窯プロジェクト

土堀り体験

＜実施日＞ 7月17日（水） ＜参加者＞ 1人

作陶体験「西アフリカ発祥の打楽器、ウドゥドラム制作」

＜講師＞：劉致宏リュウ・ジーホン（台湾文化センター）

＜実施日＞ 8月12日（月祝）

＜参加者＞ 16人（うち4人はレジデンス・アーティスト、その他は工業組合員とその家族）、見学（保護者7名）計23名



穴窯焼成

＜実施日＞令和6年11月14日（木）～17日（日）

＜参加者＞信楽陶器工業協同組合青年部員 約20人、信楽窯業技術試験場研修生12名、職員8人、レジデンス・アーティスト9人

展示

「古琵琶湖層穴窯プロジェクト2024」

＜実施日＞令和7年1/17（金）～1/29（水）12日間

＜場所＞信楽伝統産業会館

＜来館者数＞941人

＜参加者＞信楽陶器工業協同組合青年部員 12人、信楽窯業技術試験場研修生約4名、レジデンス・アーティスト4人



人材育成事業

滋賀県立信楽高等学校への支援事業

信楽高等学校の各学年生徒に対し、陶芸の森で各種体験授業を行い、信楽高等学校地域支援協議会等の地域団体と連携して、地域での人材育成に努めました。

実施回数：4回 受講者数：80人

ア．作家指導によるやきもの制作

<実施日>令和6年9月19日（木）

<参加者>25人 セラミック系列2年

<講師>山中 勇人

講師が設定したテーマ（植木鉢）で、植木鉢の制作をおこないました。作家から造形、制作に関する考え方を学びました。



イ．野焼き体験実習

<実施日>令和6年10月17日（木）

<参加者>23人 セラミック系列2年

産業社会と人間で学んできた陶芸史の内容を実体験することで、陶芸に対する理解を深めました。作陶や造形、焼成作業をとおして野焼きについて学びました。



ウ. デザイン系列絵付け実習

＜実施日＞令和6年10月18日（金）

＜参加者＞11人 デザイン系列3年

＜講師＞津守 愛香

3年生デザイン系列を対象とした、作家の指導による陶椅子への絵付け実習をおこないました。



エ. 登り窯焼成実習

＜実施日＞令和6年10月31日（木）

＜参加者＞21人 セラミック系列2年

伝統的で大規模な登り窯の焼成を体験することで、陶芸作品に対する理解と作陶活動に対する意欲の向上を図りました。



若手陶器産業後継者への支援事業 （デザイン活性化事業）

陶芸館ミュージアムショップのがちゃがちゃの商品開発を目的に、作品の公募をおこないました。36点の応募があり、入賞3点を選びました。入賞作品は、陶芸の森ミュージアムショップのがちゃがちゃで販売しデザインの啓発の一環としました。

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■後 援 信楽陶器工業協同組合、信楽陶芸作家協会

■募集期間 令和6年10月1日～12月27日

■応募点数 63点

■審査結果 金賞 河南 杏子（京都府）、銀賞 和賀 さくら（岩手県）
銅賞 杉本 栄太郎（滋賀県）

金賞



銀賞



銅賞



信楽産業展示館運営事業

展示会の開催（甲賀市が信楽焼振興協議会に委託）

期 間	展示内容	担 当	入館者数
令和 6 年 4 月 2 日 令和 7 年 3 月 3 0 日	信楽焼産業総合展	信楽陶器卸商業協同組合	77,108 人
			77,108 人 (85,722 人)

※入場者数の（ ）書きはR 5 年度の実績

企画展 ギャラリー展示

期 間	テ ー マ	担 当
令和 6 年 4 月 1 日 令和 6 年 6 月 1 6 日	お酒やビールの器展	企画事業委員会
令和 6 年 7 月 2 0 日 令和 6 年 9 月 1 日	いまだき、しがらき、かやりき展	企画事業委員会
令和 6 年 9 月 7 日 令和 6 年 1 1 月 1 7 日	飯碗と茶の器展	企画事業委員会
令和 6 年 1 1 月 2 3 日 令和 7 年 1 月 1 2 日	令和 7 年干支（乙巳）展	企画事業委員会
令和 7 年 1 月 1 8 日 令和 7 年 3 月 1 6 日	信楽焼の動物展	企画事業委員会
令和 7 年 3 月 2 9 日 令和 7 年 3 月 3 0 日 (次年度継続)	お酒やビールの器展	企画事業委員会

その他の事業

陶芸の森ミュージアムショップ6センス

「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界」ではリサ・ラーソングッズをはじめ、リサ・ラーソンがデザインし、スウェーデンの工房で作られた陶器やヴィンテージ作品も次々と売れました。

「シリーズ・やきもの×グルメⅠーシェフ イチ推しの、Shigaraki Styleー」展では、信楽の人気作家による器を販売しました。「躍動するアジア陶磁」展では、東南アジアの少数民族による雑貨や、アジア陶磁の雰囲気を持つ日本の作家による器などが華やかに彩りました。

4回目となる「がちゃがちゃデザインコンペ 2023」の入賞作品のガチャガチャマシンでの販売は楽しみに待っているお客様も多く、SNSでの販売開始の通知もチェックしていただいているようです。

■特集企画内容

○「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界」(令和6年度会期 48日間)

売上合計 52,694,760円(1,097,807.5円/日)

・展覧会限定商品をはじめ、リサ・ラーソンによるヴィンテージ作品、陶器作品、様々なグッズを販売。

○「シリーズ・やきもの×グルメⅠーシェフ イチ推しの、Shigaraki Styleー」展(会期 68日間)

売上合計 1,180,637円(17,362.3円/日)

・信楽の作家による器、カトラリー、食品サンプル、滋賀県産の豆菓子など。

○「躍動するアジア陶磁」(会期 74日間) 売上合計 1,763,976円(23,837.5円/日)

・アジアを感じる作家の作品や書籍、東南アジアの少数民族による雑貨など。

○「シリーズ・やきもの×グルメⅡー近江の古陶磁を味わうー」(令和5年度会期 14日間)

売上合計 246,447円(17,603.4円/日)

・「近江の街道・郷土の味」をテーマに、大津絵、関連書籍、滋賀の食材を使った食品など。



「躍動するアジア陶磁」展のミュージアムショップ

資 料

収蔵品収集実績							
収蔵年度	区分	海外の現代 陶芸	日本の現代 陶芸	滋賀ゆかりの 陶芸	クラフトと陶磁 デザイン	陶芸の可能性 を広げるアート	計
平成元年～ 21年度	購 入	143	191	173	17		524
	寄 付	181	148	228	135		692
	計	324	339	401	152		1,216
平成23年度	購 入	0	0	0	0		0
	寄 付	22	6	63	0		91
	計	22	6	63	0		91
平成25年度	購 入	0	0	0	0		0
	寄 付	3	17	92	11		123
	計	3	17	92	11		123
平成26年度	購 入	0	1	0	0		1
	寄 付	0	0	0	0		0
	計	0	1	0	0		1
平成27年度	購 入	0	0	1	0		1
	寄 付	11	5	31	7		54
	計	11	5	32	7		55
平成29年度	購 入	0	0	1	0		1
	寄 付	23	10	42	0		75
	計	23	10	43	0		76
平成30年度	購 入	0	0	5	0		5
	寄 付	17	35	11	1		64
	計	17	35	16	1		69
令和元年度	購 入	0	0	8	0		8
	寄 付	3	2	10	1		16
	計	3	2	18	1		24
令和2年度	購 入	0	3	2	0		5
	寄 付	1	11	1	0		13
	計	1	14	3	0		18
令和3年度	購 入	0	0	5	0		5
	寄 付	0	16	8	3		27
	窯試(移管)	0	11	20	15		46
	計	0	27	33	18		78
令和4年度	購 入	0	0	3	0		3
	寄 付	2	9	0	6		17
	窯試(移管)	0	0	0	33		33
	計	2	9	3	39		53
令和5年度	購 入	1	0	1	0		2
	寄 付	9	16	5	0		30
	計	10	16	6	0		32
令和6年度	購 入	0	0	0	0	2	2
	寄 付	29	3	17	0	0	49
	計	29	3	17	0	2	51
合 計 (予定)	購入合計	144	195	199	17	2	557
	寄付合計	301	278	508	164	0	1,251
	窯試(移管)	0	11	20	48	0	79
総 計		445	484	727	229	2	1,887

◎ 令和6年（2024年）度 収集作品リスト

■購入 2件

No.	区分	分類番号	作者名	作品名	制作年（代）	寸法（cm）	数量（員数）	作品画像	特記事項（題サイン・複製品）
1	陶芸の可能性を広げるアート	CA-01	岡本太郎デザイン 製作：近江化学陶器株式会社	歩み	c.1970/昭和45年頃	高27.0×幅30.0×奥行16.0	1		複製「TARO」/スタンブ「太陽の魂/TARO」
2	陶芸の可能性を広げるアート	CA-02	岡本太郎デザイン 製作：近江化学陶器株式会社	太陽の魂（黒い太陽）	c.1970/昭和45年頃	高30.8×幅29.2×厚6.5	1		複製「TARO」 鉄箱・パンフレット・化粧箱/シリアル№a.2955

■寄付 49件

	区分	分類番号	作者名	作品名	制作年（代）	寸法（cm）	数量（員数）	作品画像	特記事項
1	海外の現代陶芸	W-184	ルーシー・リー	磁器鉢	c.1988	高9.5×幅18.75×奥行18.75	1		印刷銘「R」
2	海外の現代陶芸	W-185	ルーシー・リー	鉢	c.1980	高8.5×幅16.0×奥行15.0	1		印刷銘「R」
3	海外の現代陶芸	W-186	ハンス・コバー	花生	1950s	高23.0×幅7.5×奥行8.0	1		印刷銘「HC」
4	海外の現代陶芸	W-187	オットー&グルトラウト・ナツラー	洗器磁鉢	1950s-1960s	高11.5×幅15.0×奥行15.0	1		色紙銘「Natter」
5	海外の現代陶芸	W-188	ポール・スタイン	鉢	1991	高13.5×幅13.75×奥行13.0	1		銘紙「Manchester / Paul Stein / 1991」
6	海外の現代陶芸	W-189	クリフ・リー	黄釉器	1996	高24.0×幅17.0×奥行17.0	1		銘紙「Criff Lee '96」
7	海外の現代陶芸	W-190	アキオ・タカモリ	青と黒牛と文	1980年代中頃	高50.5×幅53.0×奥行18.0cm	1		色紙銘「Akio」
8	海外の現代陶芸	W-191	アキオ・タカモリ	青と天鹿	1980	高29.3×幅25.5×奥行18.5	1		
9	海外の現代陶芸	W-192	アキオ・タカモリ	青と鳥	1980s	高22.8×幅17.0×奥行15.0	1		色紙銘「Akio」
10	海外の現代陶芸	W-193	アキオ・タカモリ	青をもった人	1980s	高24.0×幅15.0×奥行7.7	1		色紙銘「Akio」
11	海外の現代陶芸	W-194	アキオ・タカモリ	蛇	1980s	高18.2×幅14.8×奥行7.6	1		色紙銘「Akio」
12	海外の現代陶芸	W-195	アキオ・タカモリ	2匹の犬の花器	1980s	高35.5×幅27.6×奥行17.5	1		色紙銘「Akio」
13	海外の現代陶芸	W-196	アキオ・タカモリ	鳥の花器	1982	高23.0×幅40.0×奥行15.7	1		色紙銘「Akio」
14	海外の現代陶芸	W-197	アキオ・タカモリ	熊の器	1990s	高9.0×幅15.8×奥行19.5	1		色紙銘「Akio」
15	海外の現代陶芸	W-198	アキオ・タカモリ	熊の花器	1984	高25.7×幅10.7×奥行10.9	1		色紙銘「Akio」
16	海外の現代陶芸	W-199	アキオ・タカモリ	皿	1976	高5.0×径28.8	1		
17	海外の現代陶芸	W-200	アキオ・タカモリ	鳥のピッチャー	1980s	高26.2×幅17.4×奥行13.9	1		
18	海外の現代陶芸	W-201	アキオ・タカモリ	熊のカップ	1990s	高8.5×幅8.0×奥行7.7	1		色紙銘「Akio」「父さんのお漬物」
19	海外の現代陶芸	W-202	アキオ・タカモリ	熊子の漬物	2010	高9.5×径9.2	1		色紙銘「Akio」
20	海外の現代陶芸	W-203	アキオ・タカモリ	芋粥	1990s	高9.0×径13.0	1		色紙銘「Akio」
21	海外の現代陶芸	W-204	河 明美	Magic Tanuki	2022	高60.0×幅36.0×奥行36.0	1		本体側面：未来へおくりもの 2022. 8 「wms」 / 背面：未来へおくりもの 2022. 8 「wms」 shigasaki 提供
22	近賞ゆかりの陶芸	SC-304	神山 清子	信楽自然釉一葉香合	1980/昭和55	高4.0×幅6.4×奥行5.7/高3.6×幅4.8×奥行5.0	2		印刷銘「き」
23	近賞ゆかりの陶芸	SC-305	神山 清子	信楽自然釉香合書	2001/平成13	高4.2×径4.8	1		印刷銘「清子」
24	近賞ゆかりの陶芸	SC-306	神山 清子	信楽自然釉香合書（三徳）	1985/昭和60	高5.3×幅4.4×奥行4.8/高5.7×幅4.8×奥行5.7/高5.6×幅4.1×奥行4.8	3		印刷銘「き」
25	近賞ゆかりの陶芸	SC-307	神山 清子	高麗青磁香合（二徳）	1978/昭和53	左：高4.8×径6.8/右：高5.0×径6.4	2		黄色テープ「（53年3月口開製作）、シール「53年3月」シール「清子」
26	近賞ゆかりの陶芸	SC-308	神山 清子	信楽自然釉獅子香罐	2000/平成12	高14.3×幅8.8×奥行6.8	1		印刷銘「き」
27	近賞ゆかりの陶芸	SC-309	神山 清子	信楽自然釉花蓋物	2001/平成13	高6.5×幅7.5×奥行7.4	1		印刷銘「き」
28	近賞ゆかりの陶芸	SC-310	神山 清子	信楽自然釉花蓋物	1993/平成5	高15.5×幅15.8×奥行15.8	1		印刷銘「き」
29	近賞ゆかりの陶芸	SC-311	神山 清子	信楽自然釉茶入	2000/平成12	高8.0×幅6.3×奥行6.2	1		印刷銘「き」/片箱・仕置
30	近賞ゆかりの陶芸	SC-312	神山 清子	信楽自然釉七角瓶水瓶	1980年代	高17.2×幅15.6×奥行16.0	1		印刷銘「清」
31	近賞ゆかりの陶芸	SC-313	神山 清子	信楽自然釉透花入	1991/平成3	高22.0×幅26.0×奥行27.0（内部花高→高15.0×幅11.0×奥行11.3）	1		印刷銘「き」
32	近賞ゆかりの陶芸	SC-314	神山 清子	信楽自然釉両面彫花入	2001/平成13	高21.5×幅19.0×奥行18.8	1		印刷銘「2001/き」
33	近賞ゆかりの陶芸	SC-315	神山 清子	信楽自然釉手標花入	2000/平成12	高25.2×幅23.0×奥行20.0	1		印刷銘「き」
34	近賞ゆかりの陶芸	SC-316	神山 清子	信楽自然釉増福文大香	2000s	高33.0×径29.0	1		印刷銘「き」
35	近賞ゆかりの陶芸	SC-317	神山 清子	自然釉古鉄鉢香	1985/昭和60	高33.0×幅34.0×D 33.0	1		印刷銘「き」
36	近賞ゆかりの陶芸	SC-318	神山 清子	信楽自然釉豆形手付鉢	2004/平成16	高11.0×幅27.0×奥行20.8	1		印刷銘「き」
37	近賞ゆかりの陶芸	SC-319	鈴木 茂実	信楽自然釉圓皿	1960年代後半	高2.4×幅31.6×奥行23.6	1		
38	近賞ゆかりの陶芸	SC-320	鈴木 茂実	信楽色紙鉢	1980年代後半	左：高8.0×口径14.3-13.3×底径5.0 右：高8.0×口径14.3-14.0×底径5.1	2		印刷銘「シ」
39	日本の現代陶芸	J-436	藤原智子・藤原智子	①マツタチ ②イングリッド ③アビスノ ④メース ⑤ベッカ 彩ガラス ⑥レーナ ⑦エダバ ⑧エーロ 会期違費料	2011/平成23	①高14.5×径22.5 ②高11.0×径25.0 ③高10.0×径25.5 ④高10.0×径18.5 ⑤高25.5 ⑥高11.0×径31.5 ⑦高21.0×径27.0 ⑧高21.0×径27.0 ⑨高21.0×径27.0 ⑩高21.0×径27.0 ⑪高21.0×径27.0 ⑫高21.0×径27.0 ⑬高21.0×径27.0 ⑭高21.0×径27.0 ⑮高21.0×径27.0 ⑯高21.0×径27.0 ⑰高21.0×径27.0 ⑱高21.0×径27.0 ⑲高21.0×径27.0 ⑳高21.0×径27.0 ㉑高21.0×径27.0 ㉒高21.0×径27.0 ㉓高21.0×径27.0 ㉔高21.0×径27.0 ㉕高21.0×径27.0 ㉖高21.0×径27.0 ㉗高21.0×径27.0 ㉘高21.0×径27.0 ㉙高21.0×径27.0 ㉚高21.0×径27.0 ㉛高21.0×径27.0 ㉜高21.0×径27.0 ㉝高21.0×径27.0 ㉞高21.0×径27.0 ㉟高21.0×径27.0 ㊱高21.0×径27.0 ㊲高21.0×径27.0 ㊳高21.0×径27.0 ㊴高21.0×径27.0 ㊵高21.0×径27.0 ㊶高21.0×径27.0 ㊷高21.0×径27.0 ㊸高21.0×径27.0 ㊹高21.0×径27.0 ㊺高21.0×径27.0 ㊻高21.0×径27.0 ㊼高21.0×径27.0 ㊽高21.0×径27.0 ㊾高21.0×径27.0 ㊿高21.0×径27.0	10	印刷「Toku 2011 Satsuko Sai + Tomoko Kurahara」 +作品画像=①マツタチ	
40	海外の現代陶芸	FW-243	ブリア・サンダバリ	Flowers for Meenakshi	2023/令和5	高25.0×幅15.0×奥行15.0/高24.0×幅15.0×奥行15.0/高14.0×幅25.0×奥行18.0/高1.0×幅2.0×奥行2.0（140個）	1		2023年度ゲスト・アーティスト 創作研修局にて制作
41	海外の現代陶芸	FW-244	ブリア・サンダバリ	Winter Pond	2023/令和5	高3.0×径38.0	1		2023年度ゲスト・アーティスト 創作研修局にて制作
42	海外の現代陶芸	FW-245	ブリア・サンダバリ	Memories of LaModera	2023/令和5	高5.0×径50.0	1		2023年度ゲスト・アーティスト 創作研修局にて制作
43	海外の現代陶芸	FW-246	マチュ・マンシュ	S_323	2023/令和5	高43.0×幅24.0×奥行24.0	1		2023年度ゲスト・アーティスト 創作研修局にて制作
44	海外の現代陶芸	FW-247	マチュ・マンシュ	S_267, S_268, S_269	2023/令和5	左=高20.0×幅20.0×奥行20.0/中央=高22.0×幅22.0×奥行22.0/右=高20.0×幅28.0×奥行28.0	3		2023年度ゲスト・アーティスト 創作研修局にて制作
45	海外の現代陶芸	FW-248	ミズブグジュ・ハンナ	Landscape N14	2024/令和6	高12.0×径11.0	1		2023年度ゲスト・アーティスト 創作研修局にて制作
46	海外の現代陶芸	FW-249	ミズブグジュ・ハンナ	Golden Autumn	2024/令和6	高23.0×幅28.0×奥行27.0	1		2023年度ゲスト・アーティスト 創作研修局にて制作
47	日本の現代陶芸	FT-136	橋本野 涼子	山のトーン	2024/令和6	高54.0×幅48.0×奥行26.0	1		創作研修局にて制作
48	日本の現代陶芸	FT-137	広瀬 菜々&永谷 一馬	Still Life(No.119)	2023/令和5	高16.5×幅30.0×奥行33.0	1		創作研修局にて制作 サイン「HNgtr23」
49	日本の現代陶芸	FT-138	広瀬 菜々&永谷 一馬	Still Life(たれたガラス)	2024/令和6	高7.0×幅11.0×奥行11.0	1		2022年度ゲスト・アーティスト 創作研修局にて制作

施設利用実績

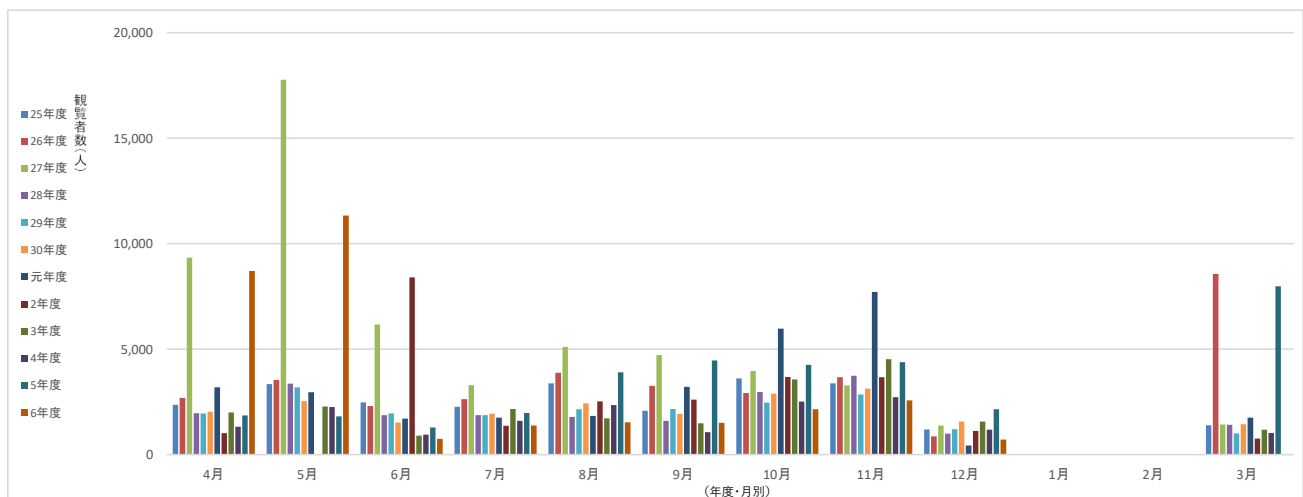
陶芸の森 年度別・月別入園者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヶ月平均
平成15～24年度	301,362	396,388	217,043	215,974	237,922	292,359	546,013	346,617	148,354	113,196	159,737	204,976	3,179,941	26,500
25年度	31,090	51,404	26,371	21,131	25,777	28,047	55,580	36,874	17,039	12,052	13,247	19,779	338,391	28,199
26年度	27,903	52,863	21,987	21,522	23,390	28,955	48,100	40,276	12,544	11,406	15,256	32,188	336,390	28,033
27年度	39,836	73,243	29,028	25,346	27,845	37,850	58,307	35,315	17,601	13,201	17,855	24,811	400,238	33,353
28年度	28,390	58,906	22,453	24,009	33,151	32,853	63,790	42,067	20,890	13,885	18,182	28,485	387,061	32,255
29年度	32,741	56,846	26,342	24,921	29,880	27,222	46,184	35,737	18,851	13,312	16,511	25,234	353,781	29,482
30年度	31,960	54,517	24,324	20,129	27,459	23,614	49,910	36,170	19,258	14,468	17,476	26,879	346,164	28,847
令和元年度	33,588	67,724	23,730	22,173	24,597	47,034	48,296	69,062	26,434	28,992	36,528	20,399	448,557	37,380
2年度	16,552	10,075	34,672	26,676	29,955	56,347	39,741	42,579	20,092	15,960	22,400	24,843	339,892	28,324
3年度	29,720	31,126	24,564	44,035	21,200	26,815	37,754	61,861	18,746	15,072	16,716	24,550	352,159	29,347
4年度	29,638	65,025	25,335	24,817	25,698	26,987	40,440	47,370	17,598	0	16,189	27,057	346,154	28,846
5年度	31,746	69,704	23,052	25,721	26,761	45,767	34,446	40,651	19,085	13,912	17,587	34,142	382,574	31,881
6年度	37,549	80,633	22,819	21,109	25,961	27,066	42,693	30,652	16,398	13,157	12,612	21,863	352,512	29,376
合 計	672,075	1,068,454	521,720	517,563	559,596	700,916	1,111,254	865,231	372,890	278,613	380,296	515,206	7,563,814	

※合計は入園者の計測開始年度（平成15年度）以降の計

陶芸館 年度別・月別観覧者数

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
平成3～24年度	入場者数	79,251	119,274	85,007	88,647	119,653	98,906	119,414	125,753	37,492	22,253	29,200	57,301	1,012,329	171
	開催日数	536	539	506	525	574	495	571	545	361	274	286	462	5,909	
25年度	入場者数	2,356	3,343	2,481	2,268	3,371	2,083	3,605	3,380	1,194	0	0	1,385	25,466	109
	開催日数	26	27	20	26	28	19	28	26	13	0	0	20	233	
26年度	入場者数	2,687	3,535	2,305	2,634	3,882	3,258	2,917	3,674	868	0	0	8,562	34,322	146
	開催日数	26	28	20	27	27	24	23	26	13	0	0	21	235	
27年度	入場者数	9,336	17,767	6,172	3,292	5,110	4,715	3,955	3,284	1,375	0	0	1,425	56,431	251
	開催日数	26	27	20	27	26	21	24	25	12	0	0	17	225	
28年度	入場者数	1,958	3,365	1,865	1,864	1,790	1,596	2,969	3,741	994	0	0	1,414	21,556	94
	開催日数	26	26	21	27	26	20	29	26	10	0	0	18	229	
29年度	入場者数	1,954	3,187	1,951	1,866	2,154	2,161	2,470	2,848	1,199	0	0	1,003	20,793	90
	開催日数	26	26	20	26	27	21	26	26	15	0	0	19	232	
30年度	入場者数	2,032	2,539	1,519	1,940	2,428	1,930	2,889	3,130	1,569	0	0	1,437	21,413	93
	開催日数	26	26	21	26	27	21	22	26	17	0	0	18	230	
令和	入場者数	3,192	2,961	1,710	1,748	1,836	3,208	5,972	7,706	431	0	0	1,747	30,511	150
	開催日数	26	27	20	26	26	19	26	26	1	0	0	6	203	
2年度	入場者数	1,017	0	8,397	1,367	2,529	2,600	3,683	3,665	1,116	0	0	764	25,138	154
	開催日数	9	0	24	12	26	20	25	25	12	0	0	10	163	
3年度	入場者数	1,994	2,281	901	2,162	1,717	1,488	3,563	4,521	1,561	0	0	1,182	21,370	98
	開催日数	26	26	8	27	24	16	27	25	17	0	0	23	219	
4年度	入場者数	1,318	2,255	946	1,596	2,346	1,067	2,508	2,726	1,186	0	0	1,024	16,972	78
	開催日数	26	26	13	27	26	15	26	26	16	0	0	18	219	
5年度	入場者数	1,855	1,812	1,290	1,974	3,900	4,466	4,258	4,376	2,155	0	0	7,975	34,061	149
	開催日数	26	26	22	14	27	22	26	26	14	0	0	26	229	
6年度	入場者数	8,703	11,329	747	1,376	1,533	1,555	2,142	2,569	708	0	0	692	31,354	154
	開催日数	25	23	14	26	27	14	27	26	7	0	0	14	203	
合 計	入場者数	117,653	171,836	114,001	110,760	148,349	124,567	156,087	166,997	49,693	22,253	29,200	77,936	1,317,655	
	開催日数	830	801	707	802	864	705	854	828	494	274	286	646	8,300	



陶芸館展覧会別観覧者数

収蔵品展・特別企画展

年 度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
平成 3 年度	世界の現代陶芸展	H3.7.20～12.15	128	41,006	320
	世界の現代陶芸展Ⅱ	H4.2.12～3.19	32	6,179	193
	世界の現代陶芸展Ⅲ	H4.5.12～9.30	121	35,717	295
4 年度	世界の現代陶芸展	H4.9.18～9.30	11	4,141	376
	世界の現代陶芸展	H4.12.1～H5.3.19	78	9,785	125
	(森で生まれた作品展)	(H5.3.2～3.14)			
5 年度	世界の現代陶芸展	H5.6.1～9.3	82	20,043	244
	世界の現代陶芸展	H5.11.3～H6.2.27	104	17,072	164
	(森で生まれた作品展)	(H6.3.1～3.13)			
6 年度	世界の現代陶芸展	H6.6.12～9.15	83	18,667	225
	世界の現代陶芸展	H6.12.3～H7.3.10	75	7,141	95
	特別企画展(森で生まれた作品展)	(H7.2.25～3.10)			
7 年度	世界の現代陶芸展	H7.6.3～7.13	35	7,353	210
	バブアニューギニアの土器展	H7.7.18～10.15	78	23,407	300
	世界の現代陶芸展	H7.11.25～H8.3.17	90	11,377	126
8 年度	(森で生まれた作品展)	(H8.3.5～3.17)			
	陶芸の森新館蔵品展	H8.5.25～7.7	38	9,803	258
	陶芸の森館蔵品展	H8.7.11～9.23	65	21,652	333
9 年度	陶芸の森 館蔵品展	H8.11.30～H9.3.7	74	6,955	94
	(森で生まれた作品展)	(H9.2.5～3.7)			
	新・収蔵品展	H9.5.31～7.9	34	6,332	186
10 年度	変貌する陶芸展	H9.7.13～9.14	55	14,185	258
	陶の表現展	H9.11.1～H10.3.15	108	16,585	154
	(森で生まれた作品展)	(H10.2.4～3.15)			
11 年度	新・収蔵品展	H10.6.6～7.4	25	3,766	151
	滋賀やきもの探訪・やきもの動物の森展	H10.9.12～12.23	88	17,597	200
	陶芸の美展	H11.1.5～H12.3.14	59	5,817	99
12 年度	(森で生まれた作品展)	(H11.2.3～3.14)			
	美の所産展	H11.5.29～7.4	32	5,612	175
	陶芸...使うこと・味わうこと展	H11.7.10～9.26	68	13,483	198
13 年度	アーティスト・イン・レジデンス90年代の歩み展	H11.12.5～H12.3.11	77	5,835	76
	滋賀やきもの探訪「信楽焼－伝統の技」	H12.5.20～7.9	44	7,356	167
	滋賀やきもの探訪「陶芸の森コレクションから」	H12.7.15～9.17	56	10,257	183
14 年度	「陶芸－最前線」	H12.12.23～H13.3.11	61	3,868	63
	陶芸の森10年の歩みⅠ－世界の現代陶芸	H13.7.14～9.24	63	10,074	160
	女性たちの陶芸展-女流陶芸と欧米作家たちとの競演	H13.12.1～H14.1.27	43	4,361	101
15 年度	陶芸の森10年の歩みⅡ－滋賀ゆかりのやきもの・日本の現代陶芸	H14.2.2～3.31	44	4,542	103
	特別企画展「ルーシー・リー展 ～静寂の美～」	H14.4.6～6.30	74	12,189	165
	収蔵品によるテーマ展「古くて、新しい表現...陶の可能性」	H14.12.3～H15.3.30	96	6,123	64
16 年度	企画展「まぼろしのやきもの－滋賀の郷黨」	H15.4.4～8.22	121	20,270	168
	特別企画展「神々の形象 バブアニューギニアの土器」	H16.3.20～3.31	10	1,122	112
	特別企画展「神々の形象 バブアニューギニアの土器」	H16.4.1～7.30	104	13,161	127
17 年度	特別企画展「信楽のやきものとともに－寒六窯と遊陶人」	H16.11.23～12.15	20	3,106	155
	特別企画「日本の現代陶芸・海外の現代陶芸－迫力の時代」	H17.6.19～9.25	85	10,038	118
	18年度 特別企画「信楽を訪れた594人の陶芸家たち－アーティスト・イン・レジデンスの軌跡」	H18.7.4～9.24	72	7,924	110
18 年度	19年度 特別企画「魅せられる...今、注目される日本の陶芸」	H19.6.10～9.24	92	10,771	117
	20年度 特別企画「やきもの動物パラダイス」&「滋賀のやきもの」展	H20.9.21～3.31	95	15,935	168
	特別企画「やきもの動物パラダイス」&「滋賀のやきもの」展	H21.4.1～4.12	11	1,561	142
21 年度	特別企画展「陶の“うつわ”と“かたち”」	H21.4.19～6.28	62	8,694	140
	Part 1 使ってみたい 愉しみの“うつわ”／心を潤す 癒しの“かたち”				
	特別企画展「陶の“うつわ”と“かたち”」	H21.7.5～9.12	60	7,812	130
22 年度	Part 2 華やかと味わいの“うつわ”／驚きと発見！ユニークな“かたち”				
	特別企画展「わくわくミュージアム－ちょっと不思議で楽しい“やきもの”」	H22.6.26～9.10	66	8,053	122
	特別企画展「近江に花開いたやきもの－街道とともに...」	H23.3.1～3.31	27	1,889	70
23 年度	特別企画展「近江に花開いたやきもの－街道とともに...」	H23.4.1～4.17	15	1,307	87
	特別企画展「陶芸を楽しむ “グ・ル・メ” な、やきものたち」	H23.6.30～12.11	142	20,019	141
	特別企画展「あれもやきもの これもやきもの」				
25 年度	—陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス20年のあゆみ—	H25.6.18～9.23	85	8,947	105
	特別企画展「現代イギリスの陶芸～バーナード・リーチから若手作家まで」				
	/特別企画展「信楽焼の美—炎がつくり出す野趣溢れる肌合い」	H25.3.8～3.30	20	1,385	69
26 年度	特別企画展「現代イギリスの陶芸～バーナード・リーチから若手作家まで」				
	/特別企画展「信楽焼の美—炎がつくり出す野趣溢れる肌合い」	H26.4.1～6.22	73	8,323	114
	特別企画展「集まれ！ 奇想天外な “やきもの” たち」	H26.6.29～9.28	78	9,978	128
27 年度	特別企画「土・祈り・イマジネーション...岡本太郎の言葉とともに」展	H27.6.14～9.23	88	14,974	170
	特別企画展「インサイド×アウトサイド—陶芸の森アート・クルーズ」	H28.6.19～9.23	83	6,314	76
	特別企画「“うつわ” ドラマチック」展	H29.3.11～3.31	18	1,414	79
28 年度	特別企画「“うつわ” ドラマチック」展	H28.4.1～6.11	62	6,217	100
	特別企画「十人陶色—豊かな色の世界」展	H29.6.20～9.24	84	7,056	84
	特別企画「ジャズ・スピリットを感じて...熊倉順吉の陶芸×21世紀の陶芸家たち」展	H30.3.10～3.31	19	1,003	53
29 年度	特別企画「ジャズ・スピリットを感じて...熊倉順吉の陶芸×21世紀の陶芸家たち」展				
	特別企画「世界の形象土器」展	H30.4.1～6.17	67	5,773	86
	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H30.6.24～9.24	77	6,615	86
30 年度	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H31.3.12～3.31	18	1,437	80
	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H31.3.12～R元.6.9	78	8,645	110
	特別企画「交流と実験－新時代の〈やきもの〉をめざして」展	R元.6.18～9.6	69	4,552	66
令和 元年度	2 年度 特別企画「湖国・滋賀の陶芸－風土と伝統そして交流のなかで」展	R2.7.18～9.22	58	6,496	112
3 年度	信楽窯業技術試験場移転記念展「ジャパン・スタイルーやきものXデザインX生活」	R4.3.5～3.31	23	1,182	51
	信楽窯業技術試験場移転記念展「ジャパン・スタイルーやきものXデザインX生活」	R4.4.1～6.9	60	4,181	70
	特別企画「静中動：韓国のスピリットをたどる－開かれた陶のアート」	R4.9.17～12.18	79	7,159	91
4 年度	特別企画「湯呑茶碗－日本人がこよなく愛したやきもの」	R5.3.11～3.31	18	1,024	57
	特別企画「湯呑茶碗－日本人がこよなく愛したやきもの」	R5.4.1～6.25	74	4,957	67
	特別企画「シリーズ×グルメⅠ－シェフイチ推しの、Shigaraki Style－」	R6.6.15～9.1	68	3,739	55
5 年度	特別企画展「シリーズ×グルメⅡ－近江の古陶磁を味わう...湖国の料理とともに－」	R7.3.15～3.30	14	692	49
	合 計		4,416	642,005	145

陶芸館展覧会別観覧者数

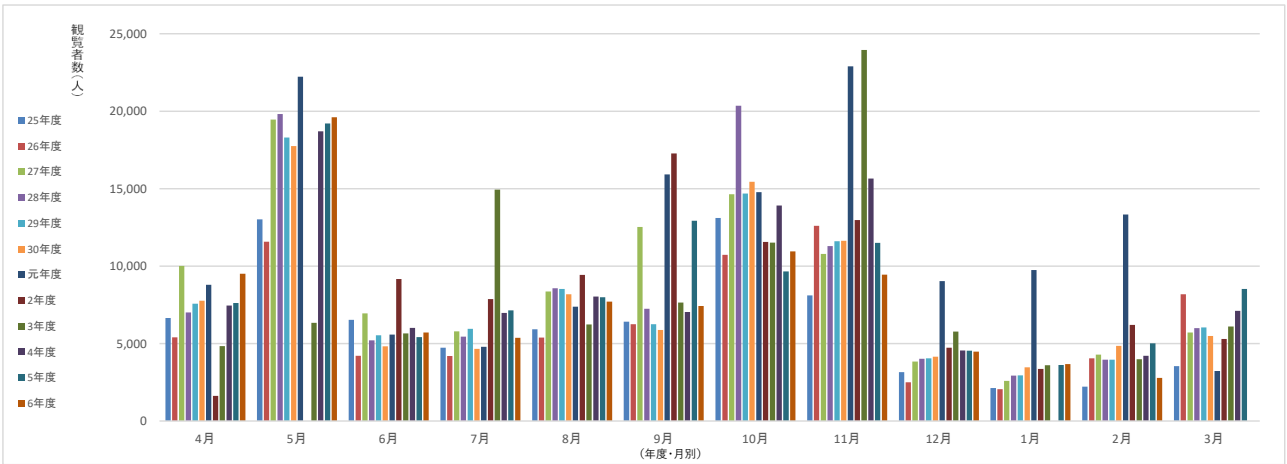
特別展・公募展

年 度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
平成	おしゃべりなティポット展	H4.1.5～2.11	32	4,265	133
3 年度	近江のやきもの展	H4.3.20～3.31	10	2,786	279
4 年度	近江のやきもの展	H4.4.1～5.10	35	10,943	313
	現代イタリア陶芸展	H4.10.10～11.23	39	8,389	215
	熊倉順吉とその仲間たち	H5.3.20～3.31	10	1,355	136
5 年度	熊倉順吉とその仲間たち	H5.4.1～5.30	52	9,058	174
	八木一夫が出会った子供たち	H5.9.4～10.31	50	7,840	157
	エイドリアン・サククス展	H6.3.20～3.31	10	1,180	118
6 年度	エイドリアン・サククス展	H6.4.1～6.5	57	6,724	118
	近江のやきもの展	H6.9.20～11.27	60	12,094	202
	現代イギリス陶芸展	H7.3.19～3.31	11	1,300	118
7 年度	現代イギリス陶芸展	H7.4.1～5.28	50	7,494	150
	トブカブ宮殿の名品展	H7.10.21～11.19	26	10,650	410
	凜－現代の陶芸美	H8.3.23～3.31	8	1,774	222
8 年度	凜－現代の陶芸美	H8.4.1～5.19	42	12,445	296
	明治のやきもの	H8.9.29～11.24	49	14,794	302
	画家たちのやきもの	H9.3.15～3.31	14	2,580	184
9 年度	画家たちのやきもの	H9.4.1～5.25	48	11,053	230
	バーナード・リーチ展	H9.9.20～10.26	32	11,125	348
	つくり手たちの原像展	H10.3.21～3.31	9	1,918	213
10年度	つくり手たちの原像展	H10.4.1～5.31	53	10,782	203
	セーブル名品展	H10.7.11～9.6	50	11,407	228
	なんてき・れ・いなんて不思議展	H11.3.20～3.31	10	1,892	189
11年度	なんてき・れ・いなんて不思議展	H11.4.1～5.23	46	12,417	270
	やきものの2 0 世紀	H11.10.2～11.28	50	14,147	283
	アール・ヌーヴォーとアール・デコの陶芸展	H12.3.19～3.31	11	1,866	170
12年度	アール・ヌーヴォーとアール・デコの陶芸展	H12.4.1～5.14	38	8,514	224
	「熊倉順吉ジャズの響きをやきものにした作家」	H12.9.23～12.17	74	9,155	124
	「イタリア陶磁器の伝統と革新－ジノリ展」	H13.3.18～3.31	12	1,418	118
13年度	「イタリア陶磁器の伝統と革新－ジノリ展」	H13.4.1～5.20	43	10,730	250
	「ドイツ陶芸の100年－アール・ヌーヴォーから現代作家まで」	H13.5.27～7.8	37	6,234	168
	「大信楽展～焼締めの美への憧れとその軌跡～」	H13.10.2～11.25	48	11,195	233
14年度	特別展「スイスの陶芸－ールネッサンスから現代まで－」	H14.7.9～9.8	54	8,005	148
	特別展「暮らして美を求めて－陶磁器試験場の技術とデザイン」	H14.9.15～11.24	61	8,552	140
15年度	特別展「桃山陶に魅せられた七人の陶芸家－陶片に学んだ技と美」	H15.8.30～10.13	39	7,698	197
	特別展「ロシア・アヴァンギャルドの陶芸－モダンデザインの実験」	H15.10.21～11.30	37	6,514	176
16年度	特別展「デンマーク王室の陶磁コレクション－ロイヤル・コペンハーゲン」	H16.8.8～11.14	85	15,261	180
	特別展「北欧のスタイリッシュ・デザイン－フィンランドのアラビア窯」	H17.3.19～3.31	11	1,706	155
17年度	特別展「北欧のスタイリッシュ・デザイン－フィンランドのアラビア窯」	H17.4. 1～6.12	63	13,586	216
	特別展「湖国を彩るやきもの－滋賀の陶芸家たち」	H17.10.2～12.18	67	10,330	154
	特別展「人のかたち－もうひとつの陶芸美」	H18.3.18～3.31	12	1,104	92
18年度	特別展「人のかたち－もうひとつの陶芸美」	H18.4.1～6.25	75	8,431	112
	特別展「近江やきものがたり」	H18.10.1～12.17	67	9,737	145
	特別展「ようこそ！たぬき御殿へ－おもしろき日本の狸表現」	H19. 3.17～3.31	12	2,482	207
19年度	特別展「ようこそ！たぬき御殿へ－おもしろき日本の狸表現」	H19.4.1～6.3	56	13,301	238
	特別展「ジャポニズムのテーブルウェア－西洋の食卓を彩った“日本”－」	H19.10.2～12.24	73	9,025	124
	特別展「近江の商家のくらしとやきもの」	H20/3.15～3.30	14	1,960	140
20年度	特別展「近江の商家のくらしとやきもの」	H20.4.1～6.29	80	12,935	162
	特別展「世界に誇る和製テーブルウェア－オールドノリタケと懐かしの洋食器」	H20.7.6～9.15	62	10,141	164
21年度	特別展「没後50年 北大路魯山人」	H21.9.19～12.13	75	23,496	313
	特別展「ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新－」	H21.3.13～3.31	16	1,340	84
22年度	特別展「ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新－」	H22.4.1～6.17	68	8,389	123
	特別展「しがらきやき－直方の茶陶 春斎の壺－」	H22.9.18～12.12	82	14,004	171
23年度	特別展「ウィリアム・ド・モーガン－楽しい生活を彩るタイルと陶器」	H23.4.23～6.19	50	6,501	130
	特別展「陶芸の魅力×アートのドキドキ」	H24.3.3～3.31	25	2,192	88
24年度	特別展「陶芸の魅力×アートのドキドキ」	H24.4.1～7.6	84	11,222	133
	特別展「明治・大正時代の日本陶磁－産業と工芸美術－」	H24.7.14～8.26	43	5,511	128
	特別展「しがらきやきII－大西忠左と勅旨の名工たち－」	H24.9.6～12.16	88	12,055	137
	特別展「フランス印象派の陶磁器1866-1886ジャポニズムの成熟」	H25.3.9～3.31	20	1,390	69
25年度	特別展「フランス印象派の陶磁器1866-1886ジャポニズムの成熟」	H25.4.1～6.9	61	6,955	114
	特別展「酒器の玉手箱」	H25.10.2～12.15	66	8,179	124
26年度	特別展「やきものって何ダ？－陶芸美術館 8 館の名品に学ぶ」	H26.10.5～12.14	61	7,459	122
	特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン展」	H27.3.7～3.31	21	8,562	408
27年度	特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン展」	H27.4.1～6.7	59	31,418	533
	特別展「信楽への眼差し」	H27.10.4～12.13	61	8,614	141
	公募展「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今－伝統と革新」	H28.3.12～3.31	17	1,425	84
28年度	公募展「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今－伝統と革新」	H28.4.1～6.12	63	6,124	97
	特別展「珠玉の湖東焼」	H28.10.1～12.11	65	7,704	119
29年度	特別展「粋な古伊万里－江戸好みの器デザイン」	H29.10.1～12.17	67	6,517	97
30年度	特別展「信楽に魅せられた美の巨匠たち」	H30.10.6～12.20	65	7,588	117
令和	特別展「北大路魯山人 古典復興－現代陶芸をひらく」	R元.9.14～12.1	67	17,004	254
元年度	特別展「リサ・ラーソン－創作と出会いをめぐる旅」	R2.3.25～3.31	6	1,747	291
	特別展「リサ・ラーソン－創作と出会いをめぐる旅」	R2.4.1～6.28	33	9,414	285
2 年度	特別展「奇跡の土－信楽焼をめぐる三つの景色」	R2.10.3～12.13	62	8,464	137
	特別展「神楽ニッポン 明治のやきもの－幻の横浜焼・東京焼」	R3.3.20～3.31	10	764	76

年度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
3 年度	特別展「神業ニッポン 明治のやきものー幻の横浜焼・東京焼」	R3.4.1～6.6	58	5,097	88
	特別展「Human and Animal 土に吹きこまれた命 21世紀陶芸の最先端」Part1 子どもたちとともに	R3.6.29～9.5	58	4,276	74
	特別展「Human and Animal 土に吹きこまれた命 21世紀陶芸の最先端」Part2 アーティストたちに迫る	R3.9.18～12.19	80	10,815	135
4 年度	特別展「土に託されたきらめきー子どもたち×アーティスト／セラミックス最先端」	R4.6.25～9.4	62	4,608	74
5 年度	特別展「岡本太郎 アートの夢ー陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」パート1	R5.7.15～9.24	61	10,177	167
	特別展「岡本太郎 アートの夢ー陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」パート2	R5.9.30～12.17	68	10,952	161
	特別展「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界ークラシックな名作とともに」	R6.3.2～3.31	26	7,975	307
6 年度	特別展「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界ークラシックな名作とともに」	R6.4.2～5.26	48	20,030	417
	特別展「躍動するアジア陶磁ー町田市立博物館所蔵の名品からー」	R6.9.14～12.8	74	6,922	94
合 計			3,854	685,182	178

信楽産業展示館 年度別・月別観覧者数

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
平成3～24年度	入場者数	177,132	14,371	5,938	5,899	8,004	5,774	12,219	11,661	3,428	2,063	3,726	4,739	86,015	304
	開催日数	26	27	26	28	30	26	26	26	23	23	24	27	312	
25年度	入場者数	6,655	13,025	6,536	4,727	5,920	6,409	13,111	8,103	3,154	2,125	2,216	3,540	75,521	245
	開催日数	26	27	26	26	28	24	29	26	23	23	24	26	308	
26年度	入場者数	5,406	11,578	4,217	4,200	5,390	6,245	10,722	12,601	2,501	2,049	4,043	8,181	77,133	251
	開催日数	26	28	25	27	27	25	27	26	23	23	24	26	307	
27年度	入場者数	10,018	19,459	6,955	5,794	8,364	12,527	14,636	10,784	3,839	2,596	4,279	5,717	104,968	341
	開催日数	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308	
28年度	入場者数	7,009	19,817	5,201	5,448	8,573	7,245	20,346	11,295	4,017	2,924	3,956	5,994	101,825	330
	開催日数	26	26	26	27	26	26	29	26	23	23	24	27	309	
29年度	入場者数	7,566	18,303	5,534	5,952	8,528	6,243	14,683	11,606	4,054	2,948	3,953	6,034	95,404	312
	開催日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	
30年度	入場者数	7,763	17,752	4,825	4,655	8,186	5,876	15,441	11,639	4,152	3,463	4,844	5,492	94,088	307
	開催日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	
令和元年度	入場者数	8,795	22,227	5,586	4,792	7,374	15,917	14,767	22,901	9,033	9,740	13,330	3,230	137,692	481
	開催日数	26	27	26	26	27	25	27	26	23	23	24	6	286	
2年度	入場者数	1,619	0	9,166	7,876	9,438	17,279	11,561	12,969	4,729	3,363	6,208	5,299	89,507	346
	開催日数	5	0	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	259	
3年度	入場者数	4,832	6,334	5,660	14,944	6,236	7,650	11,516	23,953	5,767	3,600	3,982	6,101	100,575	331
	開催日数	26	26	26	27	24	26	27	25	23	23	24	27	304	
4年度	入場者数	7,452	18,699	6,004	6,980	8,037	7,043	13,914	15,656	4,552	0	4,206	7,113	99,656	356
	開催日数	26	26	26	27	26	25	26	26	23	0	22	27	280	
5年度	入場者数	7,613	19,209	5,411	7,137	7,985	12,922	9,653	11,504	4,534	3,615	5,007	8,518	103,108	337
	開催日数	26	26	26	26	26	26	26	26	23	23	25	27	306	
6年度	入場者数	9,511	20,250	5,715	5,375	7,702	7,429	10,944	9,442	4,476	3,673	2,780	5,511	92,808	304
	開催日数	25	27	26	26	27	25	27	26	23	23	24	26	305	
合 計	入場者数	261,371	201,024	76,748	83,779	99,737	118,559	173,513	174,114	58,236	42,159	62,530	75,469	1,258,300	323
	開催日数	316	319	335	346	347	332	350	335	301	278	311	326	3,896	



信楽ホール・会議室利用件数

(単位：回)

催 事 内 容	平成3～24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
式典・総会等	178	2	3	4	3	7	3	4	1	5	3	5	4	222
芸能・音楽発表会等	495	15	10	14	13	10	5	9	5	9	11	16	16	628
講演会・シンポジウム等	88	2	3	3	2	9	3	4	1	0	3	1	0	119
研修・映画会等	140	5	7	4	1	2	2	4	1	1	3	1	3	174
計	901	24	23	25	19	28	13	21	8	15	20	23	23	1,143

沿革と記録

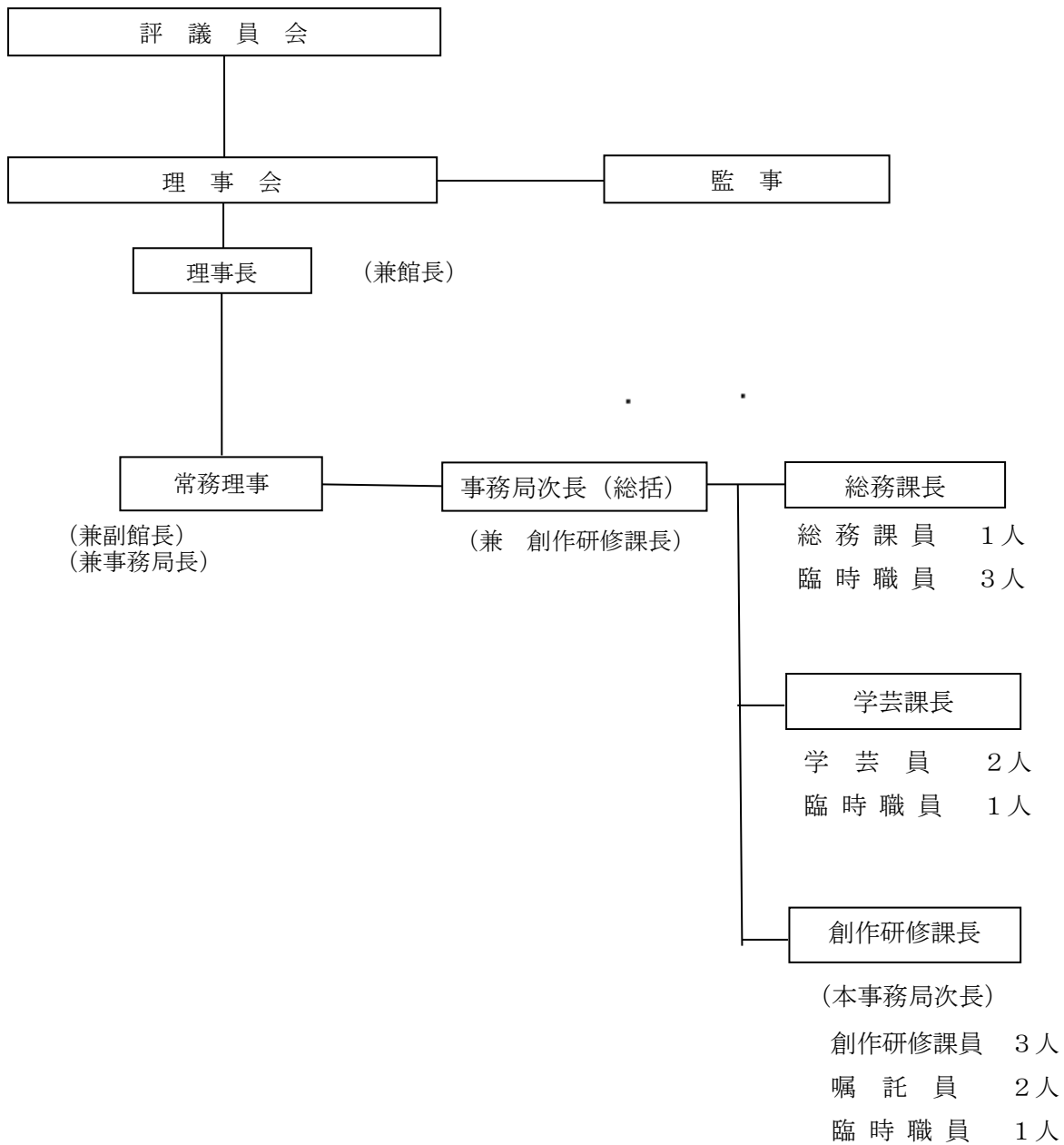
昭和 60 年（1985 年）	4 月	陶芸の森設置の検討（商工労働部商工課経済対策係）
昭和 61 年（1986 年）	3 月	滋賀県立陶芸の森整備基金条例の公布（基金 10 億円）
平成元年（1989 年）	3 月	建築工事着手
	7 月	公園工事着手
平成 2 年（1990 年）	4 月	財団法人滋賀県陶芸の森設立
	6 月	竣工・プレ世界陶芸祭開催（6 月 2 日～6 日）
平成 3 年（1991 年）	4 月	世界陶芸祭開催（4 月 20 日開幕）
	5 月	世界陶芸祭中止（5 月 15 日閉場）
	7 月	平常業務再開（7 月 20 日）
平成 4 年（1992 年）	7 月	創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業開始
平成 7 年（1995 年）	10 月	開設 5 周年記念シンポジウム「今日のうつわを考えるー用と美の対立を超えて」開催
平成 11 年（1999 年）		オランダのフェンロ市立美術館で初めて海外での陶芸の森のコレクション「日本の現代陶芸ー前衛の動向ー」展を開催
平成 13 年（2001 年）	10 月	・開設 10 周年記念イベント鼎談「土と炎と創作とー21 世紀の陶芸を見すえてー」開催 ・10 周年記念展として陶芸館で特別展「第信楽焼展ー焼締めの美への憧れとその軌跡」を開催
平成 14 年（2002 年）	1 月	・陶芸館入館者数 60 万人記録 ・創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が 500 人を超える ・信楽産業展示館入館者数 100 万人記録
平成 16 年（2004 年）	10 月	文部科学省「子どもの居場所づくり」キャンペーン事業「本物と出合うー森・もり！やきもの大作戦」開始
平成 17 年（2005 年）	3 月	中世穴窯／金山遺跡の再現事業で「金山再現窯」完成
平成 18 年（2006 年）	4 月	指定管理者制度に基づき財団法人滋賀県陶芸の森が滋賀県立陶芸の森の指定管理者となる
	6 月	創立 15 周年記念特別企画展「信楽を訪れた 594 人の陶芸家たち展」を開催

平成 19 年（2007 年）	7 月	『近江やきものがたり』京都新聞出版センターより出版
	11 月	天皇皇后両陛下を御迎えする
平成 22 年（2010 年）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設 20 周年記念特別展「しがらきやき一直方の茶陶 春斎の壺」を開催 ・ 開設 20 周年記念シンポジウム「芸術・産業・観光から 活力あるしがらきの未来を考える—やきものが信楽を創造する—」を開催 ・ 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が 800 人を超える
平成 24 年（2012 年）	4 月	公益法人制度改革により公益財団法人滋賀県陶芸の森に移行
平成 25 年（2013 年）		陶芸館累計入館者数 100 万人達成
平成 27 年（2015 年）	10 月	開設 25 周年事業として、「25 周年記念事業—国際陶芸ワークショップ・シンポジウム アーティスト・イン・レジデンスを視点として「信楽から世界を見る 世界から信楽を見る」を開催。 ・ 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が 1,000 人を超える
平成 28 年（2016 年）		文化庁補助事業として、海外のレジデンス機関への陶芸家の派遣をはじめ
平成 29 年（2017 年）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶芸館累計入館者数 120 万人達成 ・ つちっこプログラム累計参加者数 10 万人達成 ・ 信楽長野地区の商店街の中に陶芸の森地域連携拠点として、「FUJIKI」をオープン
平成 30 年（2018 年）		信楽産業展示館累計入館者数 240 万人達成
令和元年（2019 年）		年間入園者数が 448,557 人となり、入園者の計測を開始した平成 15 年以降で最大となる
令和 2 年（2020 年）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設 30 周年記念事業として「薪窯の魅力を語る会×薪窯ワークショップ」、特別展「奇跡の土—信楽焼をめぐる三つの景色」を開催 ・ 新型コロナウイルス感染症流行による緊急事態宣言の発令に伴い、休園や陶芸館の臨時休館をおこなう
令和 3 年（2021 年）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理第 4 期（5 年間）の初年度として、新たに第 4 期中期経営計画を策定 ・ 信楽窯業技術試験場の令和 4 年度の隣接移転を見据えて、記念展「JAPAN STYLE—信楽クラフトデザインのあゆみ」を開催

- 令和4年（2022年）
- ・令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の流行も年度半ばから収束傾向が見られ、入園者は概ねコロナ禍前に回復。
 - ・施設修繕工事で1か月間の臨時休園があったものの、入園者数は、目標値の35万人に迫る346,154人を達成。
- 令和5年（2023年）
- ・5月からコロナ5類に移行したこともあり、ゴールデンウィーク中の作家市にも多数の来園があった（4日間45,296人）。
 - ・展覧会（特別展「岡本太郎アートの夢～陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」や特別展「リサ・ラーソン展」）が好評だったこともあり、入園者数は、目標値の35万人を上回る382,274人を達成した。
- 令和6年度（2024年）
- ・令和5年4月から施行された改正博物館法において、博物館登録制度が見直されたことを受け、陶芸の森として、今回の法改正による新たな手続きを行い、令和6年12月19日付（記号番号第19号）で、滋賀県内の美術館等では第1号となる「新登録博物館」として文化庁により登録された。
 - ・県内の美術館・博物館の5館連携ネットワークとして、初めて5館の館長が一堂に会して、令和7年度の展示内容や各館のコンセプトなどを発表する「合同記者会見」を行い、ミュージアムとしてのPRを行った。

組 織・名 簿 (R6年度)

組 織



公益財団法人滋賀県陶芸の森評議員名簿

令和6年6月4日現在

役職	現職名	氏 名	備 考
評議員	滋賀県商工観光労働部長	林 毅	
評議員	甲賀市産業経済部長	近藤 直人	
評議員	姫路市立美術館副館長	不動 美里	
評議員	大阪市立東洋陶磁美術館長	守屋 雅史	
評議員	日本工芸会理事	神農 巖	
評議員	信楽陶器工業協同組合理事長	高原 誠治	
評議員	信楽陶器卸商業協同組合理事長	奥田 訓久	
評議員	甲賀市商工会信楽支部長	村木 均	
評議員	株式会社京都新聞社滋賀本社代表	石川 一郎	
評議員	文筆家・編集者	成実(村松)美賀子	

任期 令和6年6月4日～令和10年6月まで

公益財団法人滋賀県陶芸の森理事および監事名簿

令和6年6月4日現在

役職	現職名	氏 名	備 考
理 事	滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課長	八代 章	
理 事	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場長	高畑 宏亮	
理 事	甲賀市産業経済部商工労政課長	桶井 幸一	
理 事	滋賀県立美術館館長	保坂 健二郎	
理 事	滋賀県立安土城考古博物館館長	青木 幸一	
理 事	陶芸作家（六代 上田直方）・日本工芸会会員	上田 光春	
理 事	京都芸術大学教授	服部 滋樹	
理 事	滋賀県立陶芸の森館長	松井 利夫	
理 事	同 副館長	青田 朋恵	
監 事	滋賀銀行信楽支店長	竹川 清貴	
監 事	中小企業診断士	三宅 裕之	

任期 令和6年6月14日～令和8年6月



陶芸の森
The Shigaraki Ceramic
Cultural Park